海風の国

海風の国

Guide for Sasebo & Ojika meister

海風の国トリセツ

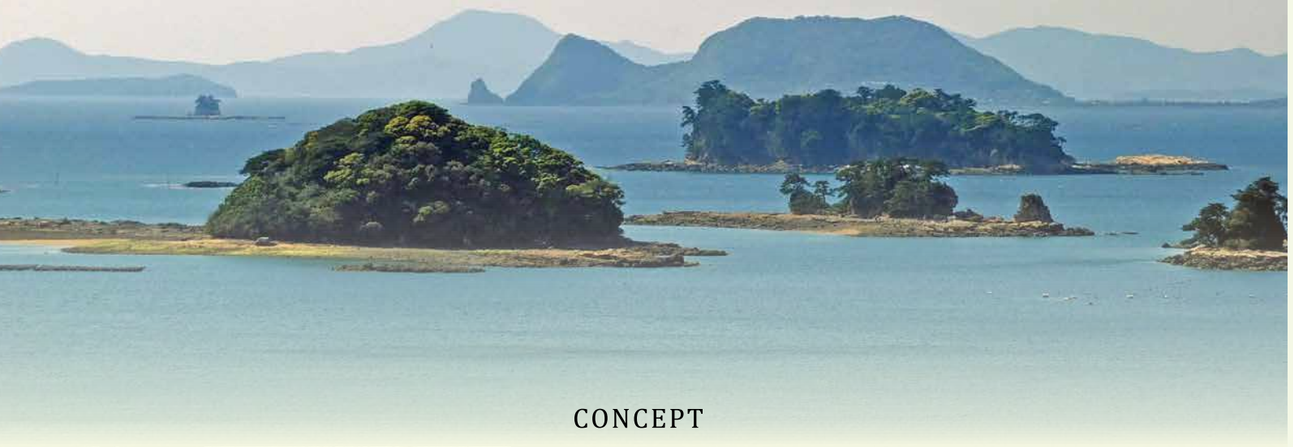
佐世保・小値賀

観光ガイド・テキストブック

小値賀町・斑島

「海風の国」

暮らしを育む海舞台　ー浦々の四季で迎える西海物語ー



CONCEPT

数万年前の地殻変動によって、日本の西の端に288km に及ぶ複雑なリアス海岸が誕生した。その前面には208 の島々からなる南北の九十九島と、宇久・小値賀を有する五島列島の島々があり、暖流の黒潮から分かれた対馬海流が流れている。

複雑な海岸線と島々は、海を活動舞台とする人々に〝浦〟と呼ばれる暮らしの場を与えている。
特異稀な地勢が生んだ浦々には、その地ならではの特徴ある生活文化が根付いている。

わたしたちは、多様な島々と浦々で構成される、ここを〝海風の国、暮らしを育む海舞台〟と呼ぶ。
ここを訪れる人々に、ここならではの浦々の四季の味わいと〝物語（ストーリー）〟を提案する。

人類が誕生するはるか前の大自然の営みと、海の民がはじめて島や沿岸に上陸し暮らし始めた太古の物語がここに、ある。

人、物、技、信仰など世界と交流した最初の地である歴史物語がここに、ある。

そして国際社会を強く意識した近代から現在に至る島国、日本が凝縮した港物語がここに、ある。

訪れた人々は、その一端に触れた時、
その場所の、その時代を、生きた人々の夢や理想、喜びや悲しみといった奥深い物語の始まりであることに気付かされる。

「海風の国」佐世保・小値賀

観光ガイド・テキストブック

目　　次

1 目次
2 海風の国 佐世保・小値賀 の変遷
4 海風の国 佐世保・小値賀 の四季
5 暮らすように旅をする、小値賀島。【小値賀】
8 海人の風待ち浦、宇久。【宇久島】
10 208 通りの風が生まれる多島海の大自然。【九十九島南部】
16 〝花群れる〟祈りの島 黒島。【黒島】
19 多島海に揉まれ鍛われた、心優しき漁師たちの浦々。【九十九島北部・高島・相浦・小佐々・鹿町】
22 もてなしの時を重ね心を束ねた笑むかえ。【江迎】
24 浦々に恵みをもたらす、豊穣の里山。【吉井・白岳高原・世知原・柚木】
30 世界一の名声を得た、小さき皿山。【三川内】
34 昔人の対峙と交流の面影、早岐の瀬戸。【早岐・宮・ハウステンボス】
39 理に適い、情に適った東郷さんの佐世保港。【俵ヶ浦半島・高後崎・針尾島】
45 近代日本の生き証人、港まち佐世保。【佐世保市街】
49 世界文化遺産・日本遺産
50 平戸領地方八奇勝（平戸八景）
51 温泉情報
52 宿泊インフォメーション
53 交通インフォメーション
54 全体地図
56 INDEX

※冊子内の料金については、令和元年 12 月 20 日現在の消費税率（10%）にて掲載しております。

⚓「海風の国」観光マイスターとは

「『海風の国』佐世保・小値賀」の観光等について、様々な情報と豊かな知識（地理、歴史、文化、食、観光地、観光施設等）とおもてなしの心を持って観光客を案内できる方を「海風の国」観光マイスターとして認定する制度です。「海風の国」の案内やPRに協力し、情報と知識を備えた「シルバー」、さらにおもてなしの心とマナーをも兼ね備えた「ゴールド」の2段階制となります。

「海風の国」観光マイスター
シルバー
「『海風の国』佐世保・小値賀」の観光に関する知識（地理、歴史、文化、食、観光地、観光施設等）を備えている人

「海風の国」観光マイスター
ゴールド
シルバー合格者で、さらに、おもてなしの心とマナーをもって観光案内ができる人

「海風の国」こども観光マイスター

専門員やガイドと地域の歴史や文化・自然を学びます。佐世保市、小値賀町ならではの資源を楽しく学ぶことで、魅力を再認識します。

海風の国 佐世保・小値賀 の変遷

長い川

1佐々川	21.8km	3小森川	9.8km
2相浦川	20.1km	4江迎川	9.7km

高い山

1国見山（くにみやま）	776m	4隠居岳（かくいだけ）	670m
2八天岳（はってんだけ）	707m	5小塚岳（こづかだけ）	623m
3多利山（たりやま）	697m	6烏帽子岳（えぼしだけ）	568m

佐世保・小値賀の歩み

年代	佐世保・小値賀の出来事	関連する出来事	人口推移（佐世保市）
旧石器時代	人が暮らしはじめる		
縄文時代	福井洞窟より、約19,000年前の炉跡が発見される 泉福寺洞窟より、約16,000年前に作られた世界最古級の土器「豆粒文土器」が出土		
弥生時代	四反田遺跡（したんだいせき）から竪穴式住居集落、墓地、水田跡などが発見される		
江戸時代	平戸往還が整備される		
元和 8年（1622年）	高麗媼が長葉山に開窯する		
寛永10年（1633年）	今村三之丞が針尾三ツ岳（みつのたけ）で白磁鉱（網代石）を発見		
寛文 2年（1662年）	今村弥次兵衛（如猿）が天草陶石を発見する（1712年の説もある）		
延宝 8年（1680年）	宇久島捕鯨業の始まり		
文化 9年（1812年）	伊能忠敬が平戸藩領内の測量を開始		
天保 3年（1832年）	楠本端山旧宅建造		
嘉永 3年（1850年）	吉田松陰が平戸遊学に向かう途中に平戸往還を歩く		
嘉永 6年（1853年）		黒船来航	
慶応 3年（1867年）		大政奉還	
明治 4年（1872年）		廃藩置県	
明治10年（1877年）		西南戦争終結	
明治16年（1883年）	軍艦「第二丁卯」（艦長　東郷平八郎少佐）入港		
明治18年（1885年）		内閣制度の発足	
明治19年（1886年）	第三海軍区佐世保鎮守府の設置が公布される		
明治22年（1889年）	佐世保海軍鎮守府開庁	立憲体制の確立	
明治23年（1890年）	佐世保鎮守府の開庁式が行われる（明治天皇御臨席）		明治25年　10,000人を超える
明治27年（1894年）	佐世保港から連合艦隊が出撃する	日清戦争開戦	
明治28年（1895年）		日清戦争終戦	
明治30年（1897年）	九州鉄道長崎線として早岐駅が開業		
明治31年（1898年）	九州鉄道長崎線早岐から佐世保間を延伸、佐世保駅が開業 松浦炭鉱鉄道（軽便鉄道）佐々～世知原間開通		
明治35年（1902年）	市制を施行し佐世保市となる 黒島天主堂献堂		明治35年12.31現在　50,968人
明治37年（1904年）	佐世保が連合艦隊の基地となる	日露戦争開戦	
明治38年（1905年）	電話交換業務が開始する	日露戦争終戦	
明治39年（1906年）	佐世保市内に初めて電灯が灯る		
明治41年（1908年）	山の田貯水池、浄水場完成。上水道の給水を開始する 野首天主堂完成		
大正元年（1912年）	市内でガス供給事業が開始する		大正元年12.31現在　88,453人
大正 2年（1913年）	ジャイアント・カンチレバー・クレーン完成		
大正 3年（1914年）		第一次世界大戦開戦、日本参戦	
大正 5年（1916年）	立神係船池完成		大正5年12.31現在　106,676人
大正 7年（1918年）		第一次世界大戦終戦	大正10年12.31現在　115,849人
大正11年（1922年）	旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設建設		
大正12年（1923年）	旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館（現：佐世保市民文化ホール）建造		昭和元年12.31現在　116,572人
昭和 6年（1931年）	カトリック三浦町教会献堂		
昭和12年（1937年）		日中戦争（支那事変）勃発	
昭和16年（1941年）		太平洋戦争開戦	昭和19年12.31現在　287,541人
昭和20年（1945年）	4月国有鉄道として松浦線が全線開通する 6月29日佐世保大空襲（1,230名の市民が犠牲に）	太平洋戦争終戦	昭和20年12.31現在　147,617人
昭和21年（1946年）	佐世保船舶工業株式会社（現：佐世保重工業株式会社）設立		
昭和24年（1949年）	九十九島が県立公園となる		
昭和25年（1950年）	朝鮮戦争開戦、特需景気に沸く	朝鮮戦争開戦	昭和26年12.31現在　212,145人
昭和28年（1953年）		朝鮮戦争停戦	
昭和30年（1955年）	3月16日西海国立公園の指定が告示される 西海橋が開通する		
昭和32年（1957年）	佐世保駅前に地下街ができる		
昭和34年（1959年）	石岳展望台完成		昭和34年12.31現在　265,781人
昭和35年（1960年）		ベトナム戦争開戦	※戦後最大
昭和36年（1961年）	佐世保市亜熱帯動植物園開園		
昭和37年（1962年）	SSKドックで日章丸が進水		
昭和39年（1964年）	白浜海水浴場開場 米原子力潜水艦「シードラゴン」が佐世保港に初めて入港する		昭和40年12.31現在　247,889人
昭和41年（1966年）	四ヶ町商店街アーケード完成 米国アルバカーキ市と姉妹都市を提携する		
昭和43年（1968年）	アメリカの原子力空母「エンタープライズ」が初めて佐世保港に入港、佐世保事件が起きる 小佐々最後の炭鉱「西川内炭鉱」閉山		
昭和44年（1969年）	SSK第3ドック拡張工事により40万トンドックが完成する 世知原最後の炭鉱「新高野炭鉱」閉山		
昭和45年（1970年）	吉井最後の炭鉱「新御橋炭鉱」閉山		
昭和47年（1972年）	佐世保最後の炭鉱「柚木炭鉱」閉山		
昭和48年（1973年）	鹿町最後の炭鉱「本ヶ浦炭鉱」閉山		
昭和49年（1974年）	佐世保市庁舎が竣工する		
昭和50年（1975年）		ベトナム戦争終戦	昭和50年12.31現在　251,407人
昭和52年（1977年）	三ヶ町商店街アーケード完成（四ヶ町とあわせてアーケードの直線の長さが約1kmに［日本一級］）		
昭和53年（1978年）	三川内焼が経済産業大臣指定伝統的工芸品に指定される 原子力船「むつ」入港		
昭和55年（1980年）	佐世保川にアルバカーキ橋が完成する	イラン・イラク戦争開戦	
昭和57年（1982年）	三川内焼伝統産業会館が落成する 佐世保港と米カリフォルニア州サンディエゴ港が姉妹港を提携する		
昭和58年（1983年）	佐世保市と中国福建省厦門市が友好都市を締結する		
昭和61年（1986年）	浦頭引揚記念平和公園が落成する 展海峰公園整備完了		
昭和63年（1988年）	佐世保市がオーストラリアのコフスハーバー市と姉妹都市を提携する 第３セクターとして松浦鉄道（MR）開業	イラン・イラク戦争停戦	平成元年12.31現在　246,965人
平成 2年（1990年）		湾岸戦争開戦	
平成 3年（1991年）	大分県九重町と姉妹都市を提携する	湾岸戦争終戦	
平成 4年（1992年）	ハウステンボスオープン		
平成 5年（1993年）	佐世保独楽が長崎県の伝統工芸品に指定される		
平成 6年（1994年）	西海パールシーリゾート（現：九十九島パールシーリゾート）オープン 異常渇水により給水制限が行われる（平成6年8月1日から平成7年4月25日）		
平成 8年（1996年）	泉福寺洞窟の出土品（豆粒文土器など多数）が国の重要文化財に指定される 三川内焼美術館・うつわ歴史館開館		
平成 9年（1997年）	海上自衛隊佐世保史料館開館		
平成10年（1998年）	黒島天主堂が国の重要文化財に指定される		平成10年12.31現在　243,158人
平成13年（2001年）	佐世保駅新駅舎完成 アルカスSASEBO完成、開業		
平成14年（2002年）	九十九島遊覧船パールクィーン就航 佐世保市制施行百周年を迎える フレスタSASEBO（現：えきマチ1丁目佐世保）開業		
平成16年（2004年）	世知原温泉くにみの湯山暖簾（現：天空の宿山暖簾）開業		平成16年12.31現在　238,833人
平成17年（2005年）	吉井・世知原町が佐世保市に合併		平成17年12.31現在　247,860人
平成18年（2006年）	新西海橋開通 小佐々・宇久町が佐世保市に合併		平成18年12.31現在　256,374人
平成21年（2009年）	九十九島水族館「海きらら」リニューアルオープン		
平成22年（2010年）	江迎・鹿町町が佐世保市に合併		平成22年12.31現在　261,044人
平成23年（2011年）	動植物園50周年 佐世保市亜熱帯動植物園が、西海国立公園九十九島動植物園「森きらら」に改称		
平成24年（2012年）	「第10回全国和牛能力共進会」肉牛の部で長崎和牛が日本一の称号を得る		
平成25年（2013年）	させぼ五番街開業		
平成26年（2014年）	「西海パールシーリゾート」が「九十九島パールシーリゾート」に改称 フレスタSASEBOが「えきマチ1丁目佐世保」に改称 第69回国民体育大会開催		
平成27年（2015年）	九十九島海賊遊覧船みらい就航 国際ターミナル（葉港テラス）供用開始		
平成28年（2016年）	「鎮守府」「三川内焼」が日本遺産に認定		
平成30年（2018年）	九十九島湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定 三浦岸壁延伸工事が完了し、大型クルーズ船の受け入れが可能になる 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が「世界文化遺産」に登録		
平成31年（2019年）/ 令和元年	佐世保鎮守府開庁・佐世保港開港130周年		令和元年5.1現在　247,873人

ガイドの引出し

豆知識

佐世保の名前の由来

名前の由来については諸説ありますが、ここでは有力な2つの説を紹介しておきます。

① 地形の特徴に由来するもの

「させ」と「ほ」の組み合わせによるものです。「させ」とは狭い谷間を表す「狭瀬」のことで、佐世保川が形成した谷を指しています。これに組み合わさった「ほ」とは古代律令制における末端の行政単位（町内会のようなもの）を表す「保」と考えられます。つまり「狭い谷間にある町」を意味する「狭瀬保」が「佐世保」となったというものです。

② 港が葉っぱの形をしていたから

入り江が入り組んだ佐世保港は、上空から見ると大きなかえでの「葉っぱ」の形をしており、「葉港（ようこう）」と呼ばれていたようです。「葉」の漢字を縦に切り離してみると、上から「くさかんむり」→「サ」、「世」→「セ」、「木」→「ホ」。そこでついた名前が「させほ」という説があります。

海風の国 佐世保・小値賀

海風の国 佐世保・小値賀 の四季

ガイドの目線

イベント情報は定期的にチェック!

毎年恒例の祭りやイベントはもちろん、各観光施設で開催されているイベントなども、日程や時間をこまめにチェックしておきましょう。「海風の国ホームページ」には、そんな観光の旬な情報をはじめ、お役立ち情報なども掲載されていますので、ぜひブックマークして活用してください。

URL https://www.sasebo99.com/

		イベント		花の見頃
春	3月	● 西海橋春のうず潮まつり[下旬～4月上旬] ● 展海峰菜の花ウォーク[下旬]	● おぢか国際音楽祭[下旬]	● **菜の花**[3月下旬～4月上旬]展海峰(約150,000本) ● **チューリップ**[2月上旬～4月中旬]ハウステンボス ● **ソメイヨシノ**[3月下旬～4月上旬] 西海橋公園(約1,500本)・中央公園(350本)・佐世保公園(約150本) 東公園(約300本)・天神公園(約200本)・尾崎公園(約150本) 鵜渡越園地・花の森公園(約500本)・山の田浄水場(約1,000本) 千尽公園・御橋観音 ● **山桜**[3月下旬～4月上旬]九十九島・世知原・黒島 ● **オオムラザクラ**[4月中旬]西光寺 ● **御衣黄桜**[4月中旬～]陸上自衛隊相浦駐屯地 ● **八重桜**[4月中旬～下旬]但馬岳公園・西海橋公園 ● **フジ**[4月下旬～5月上旬]藤山神社(紅白フジ、ダルマフジ、紅フジ、大フジ、野田フジ)・西光寺(野田フジ)・陸自相浦駐屯地 ● **ツツジ類**[4月上旬～5月上旬] 中央公園(約13,000本)・東公園(約4,000本)・天神公園(約4,400本)・尾崎公園(約3,300本)・但馬岳公園 鵜渡越園地・西海橋公園(ヒラドツツジ約30,000本)・長串山公園(約100,000本)・冷水岳 ● **花桃**[4月中旬]藤山神社・花の森公園(約150本) ● **山ツツジ**[6月中旬]隠居岳 ● **バラ**[5月～6月]ハウステンボス・九十九島動植物園 ● **ハマダイコン**[5月上旬]五蔵岳森林公園 ● **花菖蒲**[6月上旬～中旬]天神公園(約3,500株) ● **アジサイ**[6月中旬～7月中旬] 冷水岳・但馬岳公園・世知原・花の森公園(約300本) ハウステンボス・えぼしスポーツの里・白浜海水浴場 ● **カノコユリ**[7月下旬～8月上旬]九十九島 ● **ユリ**[6月中旬～7月中旬]ハウステンボス ● **ヒマワリ**[7月中旬～8月]ハウステンボス ● 彼岸花[9月]花の森公園(約5,000本)・柚木地区 ● **コスモス**[10月中旬～下旬]展海峰(約150,000本)・三河内駅裏小森川沿い・世知原 ● **秋バラ**[10月～11月]ハウステンボス・九十九島動植物園 ● **リュウキュウハギ**[10月]えぼしスポーツの里(8,000㎡) ● **紅葉**[11月中旬～]御橋観音・藤山神社・潜龍ヶ滝 ● **ベゴニア**[10月上旬～2月下旬]ハウステンボス ● **水仙**[1月上旬～2月下旬] 花の森公園(約10,000本)・黒島 ● **梅**[2月上旬～下旬] 中央公園(約40本)・花の森公園(約65本) ● **寒桜**[2月下旬]花の森公園(約9本) ● **胡蝶蘭**[12月中旬～3月中旬]ハウステンボス
夏	4月	● 御橋観音春まつり[上旬頃] ● 長串山つつじまつり[上旬～5月上旬] ● 本陣蔵開き春の陣(江迎町)[上旬]	● 白浜キャンプ場オープン[4月10日～10月31日(申込は4/1から受付)] ● 木場浮立(黒髪町)[第1日曜]	
	5月	● 三川内焼窯元はまぜん祭り[1日～5日] ● 冷水岳春まつり[3日] ● 早岐茶市 [(初市)7日～9日(中市)17日～19日 (後市)27日～29日] ● ゴールデンえぼしまつり[上旬]	● 佐世保―島原ウルトラウォークラリー[上旬] ● ふるさとよしい市[5月中旬] ● 世知原新茶まつり「じげもん市」[下旬]	
	6月	● 世知原赤木場集落ホタル鑑賞会[上旬～中旬] ● 早岐茶市(梅市)[7日～9日]	● 世知原あじさいロードウォーキング[下旬] ● 柚木ホタル鑑賞会[上旬]	
	7月	● 白浜海水浴場オープン[第2土曜～8月20日] ● 大浜海水浴場オープン(宇久町)[第2土曜～8月20日]	● 宇久竜神祭(ヒヨヒヨ祭り)[中旬(旧暦6月17日)]	
	8月	● させぼシーサイドフェスティバル[上旬] ● 吉井町夏祭り[上旬] ● 福石観音四万六千日祭[8日～10日] ● 鹿町ふるさと夏祭り[13日] ● こさざ夏祭り[14日] ● 万灯籠流し[15日]	● 精霊流し[15日] ● ペーロン大会(小値賀町)[15日] ● 小値賀夏祭り大会[15日] ● せちばる高原夏祭り[中旬] ● 江迎千灯籠まつり[23・24日]	
秋	9月	● 長崎せちばるロードレース大会[中旬]		
	10月	● みかわち陶器市[上旬5日間] ● 佐世保JAZZ at アルカスSASEBO[9月下旬～10月上旬] ● 本陣蔵開き秋の陣(江迎町)[上旬～中旬] ● 梅ヶ枝酒造秋の蔵開き[中旬～下旬] ● 展海峰コスモスウォーク[中旬～下旬]	● 六社神社大祭(小値賀町)[14日] ● かっちぇてアイラブフェア[10月中旬～11月上旬の2日間] ● 西海の恵佐世保漁港お魚まつり[下旬] ● YOSAKOIさせぼ祭り[10月下旬の金・土・日※金は前夜祭] ● 西海橋「秋のうず潮まつり」[下旬～11月上旬]	
	11月	● させぼくんち[1日～3日] ● ふるさと産業まつり&ふれあい広場(小値賀町)[11月下旬]	● きらきらフェスティバル[下旬～12月25日] ● 九十九島かき食うカキ祭り秋の陣[土・日・祝]	
冬	12月	● 長崎県水産加工品まつり in 佐世保[上旬]		
	1月	● 初売り ● 新春独楽廻し大会[2日] ● 小柳賞佐世保シティロードレース大会[上旬]	● 朝市ぜんざい会[10日頃AM6:00～] ● えぼし冬まつり[中旬]	
	2月	● 梅ヶ枝酒造蔵開き[第2土・日] ● 愛宕祭り[24～26日]	● 愛宕市[2月下旬の週末] ● 九十九島かき食うカキ祭り冬の陣[土・日・祝]	

開花状況は市役所の公園緑地課 市役所 24-1111
ハウステンボス総合案内 0570-064-110 にお問い合わせ

展海峰の菜の花(春)コスモス(秋)の開花状況は佐世保市のホームページで確認

1 暮らすように旅をする、小値賀島。

おぢか 小値賀

「日本で最も美しい村」に選ばれており大小17の島々(内集落があるのは6島)があります。あえて何もしない暮らすように滞在できる大人向けの旅「古民家ステイ」は、築100年以上経った古民家のリノベーションで脚光を浴びました。もともとアイランドツーリズムが活発で、約25軒の民泊受け入れや野生の鹿が生息する野崎島での宿泊体験ができます。2018年7月「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、「野崎島の集落跡」は構成資産のひとつです。(詳しくはP49をご覧下さい。)

小値賀 五島列島の北端部に位置し、小値賀本島を中心に大小17の島で構成される火山活動によって生じた珍しい群島です。地形は平坦であり複雑な海岸線が織りなす美しい自然環境に恵まれ、島のほとんどが西海国立公園に指定されています。
旧石器時代から連綿と営まれた歴史と文化が残り、肥前風土記にもその名が記され往古は遣唐使の寄港地でもありました。藩政時代は、平戸藩松浦家の所領となっています。

小値賀町の歴史

明治22(1889)年4月 1日	町村制施行により北松浦郡笛吹村・前方村・柳村が発足。
大正15(1926)年4月 1日	3村が合併して小値賀村となる。
昭和15(1940)年2月11日	町制を施行し小値賀町となる。

史跡・旧跡

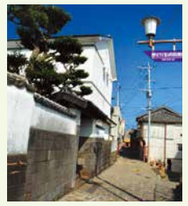
旧野首(のくび)教会

有形文化財(県指定) 重要文化的景観(国指定)

明治41(1908)年完成の鉄川与助の手によるレンガ造り教会です。信徒が去った今は文化財として小値賀町が管理しています。たどった歴史と草原に佇む姿に魅せられて多くの人が訪れています。世界文化遺産の構成資産内にあります。

アクセス 徒歩/野崎港より30分
場 所 北松浦郡小値賀町野崎郷 休 み 不定休
問い合わせ 0959-56-2646(おぢかアイランドツーリズム協会)
※見学にはおぢかアイランドツーリズム協会への事前連絡が必要です。

小値賀町歴史民俗資料館



旧小田家邸宅に隣接して建つ白壁の資料館。町内から出土した有史以前の遺物や野崎島の旧野首教会に関する資料も展示しています。旧小田家邸宅であった木造の建物を保存しており、代々伝わる古文書や家財道具を展示しています。

アクセス 徒歩/小値賀港より10分
場 所 北松浦郡小値賀町笛吹郷
営業時間 9:00～16:30 入館料 100円(大人) 高校生以下は無料
休館日 月曜日、12/29～1/3 毎月25日(館内整理日 日曜日のときは除く) 問い合わせ 0959-56-4155

自然・公園

姫の松原

小値賀島の中心部にある、南北方向に走る県道の両側から道路を覆うほどに成長した黒松の並木道。防風林や防潮林として松を大切に守り続けてきた小値賀町のシンボル的な場所となっています。

アクセス 徒歩/小値賀港より30分
場 所 北松浦郡小値賀町柳郷
問い合わせ 0959-56-3111(小値賀町役場産業振興課商工観光係)

赤浜(あかはま)海岸

町内の他の海岸が黒々とした玄武岩の岩肌や白砂の浜であるのに対し、この海岸は打ち寄せられた赤い砂や岩でできています。この赤い砂や岩は太古の昔、噴火した火山の噴出物に含まれている鉄分が酸化したことから赤い砂礫となり、それらにより形成された赤い砂浜です。

アクセス 徒歩/小値賀港より30分
場 所 北松浦郡小値賀町前方郷
問い合わせ 0959-56-3111(小値賀町役場産業振興課商工観光係)

柿の浜(かきはま)海水浴場

田園風景の中をしばらく行くとごつごつした岩が作る入り江があります。そこには干潮時に際立つ遠浅で白砂の浜、目の前の島との間にはマリンブルーとコバルトブルーのグラデーションが広がります。浅瀬なので家族連れに人気で、シャワー室とトイレもあります。

アクセス 徒歩/小値賀港より50分
場 所 北松浦郡小値賀町柳郷
問い合わせ 0959-56-3111(小値賀町役場産業振興課商工観光係)

五両(ごりょう)ダキ

幾万年もの間絶え間なく打ち寄せる波の力により、海底火山の火口だった場所にできた半円の断崖。たどり着くのは少したいへんですが、まさに白砂青松の風景が広がります。

アクセス 徒歩/小値賀港より50分
場 所 北松浦郡小値賀町柳郷
問い合わせ 0959-56-3111(小値賀町役場産業振興課商工観光係)

施設

おぢかアイランドツーリズム協会

小値賀町の観光協会で、観光の拠点になる場所です。小値賀港フェリーターミナル内にあり、島を訪れた観光客を迎えます。島旅コンシェルジュとして、ワンストップ窓口機能を持ち観光客の小値賀滞在をトータルコーディネートでサポートします。観光案内、各種ガイドツアーや体験プログラム、野崎島、古民家ステイの受付などもおこなっております。

アクセス 小値賀港フェリーターミナル内
場　所 小値賀町笛吹郷2791-13
営業時間 9:00～18:00　**定休日** 窓口は年中無休
問い合わせ 0959-56-2646

浜崎鼻（はまさきばな）ゴルフ場

海に突き出した小さな半島一面に広がる芝生の草原。かつては繁殖牛の放牧地でしたが、今は町内のゴルフ愛好者の有志による「はまゆう会」が自主管理する手づくりのゴルフ場となっています。

アクセス 小値賀港より徒歩50分
場　所 北松浦郡小値賀町浜津郷
問い合わせ 0959-56-3111（小値賀町役場産業振興課商工観光係）

野崎島自然学塾村

野崎島唯一の休憩・宿泊施設で、廃校となった小中学校をそのまま利用しています。教室は宿泊施設、講堂が食堂休憩所、給食室を改築した大きな調理室もあり、自炊も可能です。
年間を通して青少年キャンプ、修学旅行等団体をはじめ、多くの個人旅行者にも利用されています。旧野首教会、野首海岸まで約１分というロケーションです。散歩をしたり、お昼寝をしたり、思い思いの時間をゆったりとお過ごしください。

アクセス 小値賀港から町営船「はまゆう」（1日2便）で35分
場　所 北松浦郡小値賀町野崎郷664
料　金 日帰り：1,000円　宿泊：3,500円～

古民家ステイ

古民家ステイは、島の集落の中に点在する、一棟まるごと一組貸し切りの宿泊滞在施設です。豊かに栄えた島の歴史を刻む、築100年以上の古民家を、心豊かにお過ごしいただける宿泊施設として快適な空間にリノベーション。暮らすように滞在できる大人の旅が満喫できるとあり、長期滞在する観光客が多いのも特徴です。
「もうひとつの我が家」のように過ごす、趣のある古民家で上質な癒しの島時間を満喫してみてはいかがでしょうか。

施設数 6棟
収容人数 1～6名（各古民家で異なります）

体験

赤土焼き物体験

小値賀島の多くは粘土質の赤土です。その小値賀の赤土を使い、赤土研究会（島の陶芸愛好会）の方が講師として作り方を教えてくれます。
この体験では、2～3個の湯のみや小皿など、初心者でも出来る簡単な作品を作ります。完成次第、ご指定の住所に着払いにてお届けとなります。

催行人数 1～6名
料　金 1人3,300円 ※作品送料別途・着払いで送付されます。
所要時間 約90分
場　所 北松浦郡小値賀町笛吹郷 旧幼稚園園舎内

民泊体験

旅の人をあたたかく迎え入れる島民性で「おもてなしの島」ともよばれる小値賀島。
旅人が漁師さんや農家さんなどの島の一般のご家庭で、家族と同じように生活し食事をともにする「ホームステイ」となります。1日1組限定。島のお父さんやお母さんと一緒に釣りをしたり、野菜を収穫したり、ご夕食のお手伝いをする島暮らし体験。平成19年より青少年団体の受け入れ、修学旅行生、家族や大学生、個人のお客様の受け入れも多数行っている、人気の体験です。

場　所 小値賀島、大島
料　金 2名様以上の場合、1泊2食民家体験付き
9,900円（大島の場合＋1,100円）

野崎島ガイドツアー

小値賀町の島のひとつ「野崎島」の歴史や自然にふれるガイドツアーです。 野崎集落や野生の鹿が群れる赤茶けた大地、高台から眺める白砂の浜など、なかなか目にすることのない風景が広がります。旧野首教会にもご案内します。

最少催行人数 2名
料　金 1人4,400円
（4歳～小学生以下は2,200円。4歳未満は無料）
※町営渡船運賃が別途必要です
所要時間 約150分～180分　**場　所** 北松浦郡小値賀町野崎郷

活版印刷体験

島で100年以上続く島唯一の活版印刷所「晋弘舎（しんこうしゃ）」。4代目が「OJIKAPPAN」という工房を開き、世界に1つだけのポストカード、または貼り箱を作ることができる体験を行っております。レイアウト・用紙・イラストを決めて、好きな言葉の活字を拾い、実際に版を組み、印刷。完成後、解版・返版、と実際の活版印刷の工程をそのまま体験いただけます。

催行人数 1～2名（3名以上は応相談）
料　金 1人1版（1人1デザイン）
2,700円
所要時間 60分～120分
場　所 北松浦郡小値賀町笛吹郷

祭事・イベント

六社神社（ろくしゃじんじゃ）大祭

毎年10月の12日～14日に島内で最も人口の多い笛吹地区で行われている、その年の五穀豊作を感謝する例大祭です。白装束に金色袴の男性が担いだお神輿が商店街を練り歩き、その後には各自治会の趣向を凝らした山車や奉納踊りの列が続きます。

開催日 10/12～10/14
場　所 北松浦郡小値賀町笛吹郷（六社神社）
問い合わせ 0959-56-3111（小値賀町役場産業振興課商工観光係）

ふるさと産業まつり＆ふれあい広場

小値賀町の農水産物の展示販売及び加工品の販売を行う、毎年11月下旬に開催されているイベントです。小値賀町が誇るゆるキャラ「ちかまるくん」、「自然児戦隊☆おぢか島ん」によるヒーローショーなどで賑わいます。

開催時期 11月下旬
場　所 北松浦郡小値賀町前方郷（小値賀町総合体育館）
問い合わせ 0959-56-3111
（同実行御委員会事務局小値賀町役場産業振興課）

名物

落花生

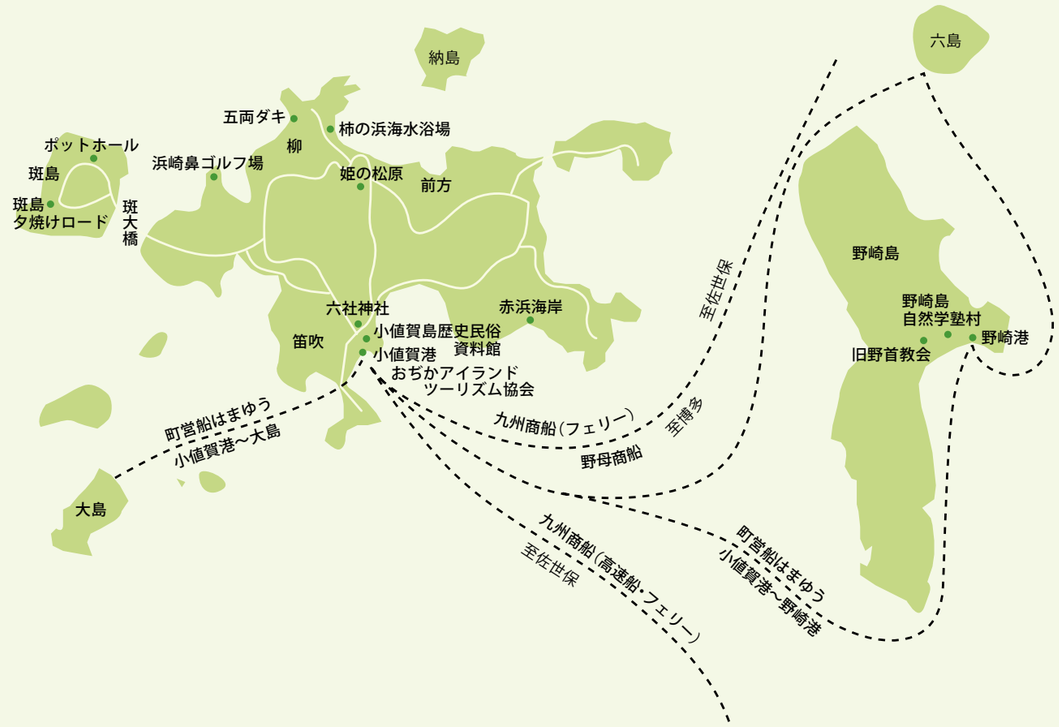
小値賀町の落花生といえば納島（のうしま）で作られている落花生が有名ですが、生産量が少なく「幻の落花生」と言われています。近年、小値賀本島での栽培により生産量を拡大すると共に、落花生入りのクッキーやペースト等の加工品、ピーナッツアイスなど商品開発も行い、バリエーションが広がっています。

すぼかまぼこ

アジの魚肉と卵白を混ぜ合わせ、麦わらでくるんで蒸す「蒸しかまぼこ」。アジの風味が詰まった手づくりのかまぼこです。

〈小値賀エリア全体に関する問い合わせ〉
0959-56-2646
おぢかアイランドツーリズム協会　**営業時間** 9:00～18:00　**定休日** 年中無休

小値賀エリアマップ



2 海人の風待ち浦、宇久。

宇久島

佐世保からフェリーで2時間半ほどの五島列島最北端にある宇久島は、海を見つめて笑みをたたえる極彩色の恵比寿様が出迎えます。かつて捕鯨やアワビ漁で活躍した海のサムライ「海士」は今もこの島に語り継がれ、島のいたる所に伝説を残しています。気候は対馬暖流の影響を受け温暖なので、アコウの巨樹や三浦神社の大ソテツといった亜熱帯系植物が見られます。岬の灯台から見渡す海の大パノラマは多くの旅人を魅了してやみません。

宇久島
五島列島の最北端に位置し、宇久島とその属島の寺島からなります。人口のほとんどは宇久島に住んでおり、現在宇久島全体の人口は約2,000人（ピーク時には1万人以上）。五島列島には隠れキリシタンの子孫が多いといわれますが、宇久島には極少数しかいません。宇久氏の祖と伝えられる平家盛公を祀る史跡があり、それにちなんだ場所が数ヵ所あります。宇久は海の侍「海士（あまんし）」による捕鯨と素潜りによる鮑漁で栄えてきた島です。

宇久の歴史
明治22（1889）年4月1日　町村制施行により、北松浦郡平村・神浦村が発足。
昭和24（1949）年8月1日　平村が町制施行、平町となる。
昭和30（1955）年4月1日　平町と神浦村が対等合併し、宇久町が発足。
平成18（2006）年4月1日　佐世保市に編入し、佐世保市宇久町となる。

史跡・旧跡

平家盛公御上陸地（船隠し）

島の西に続く断崖の一部に、「船隠し」と呼ばれている入江があります。これは、源平合戦の終結後、密かに身を潜めていた平家盛公が文治3（1187）年、安住の地を求めて漂流中に宇久島の西海岸で宇久の海士たちに助けられた際、船を隠したのが名前の由来となっています。入江の上の岬には、平家が暖をとったという「火焚崎」があり、ここに沈む夕日は美しく、サンセットスポットとなっています。

アクセス 車/平港より20分　**場　所** 佐世保市宇久町本飯良2712

東光寺

1187年（文治3年）、平家盛公が来島し、菩提寺として建立されました。朱色の門をくぐり本堂横を歩いていくと家盛公以下七代に渡る歴代領主の霊廟があります。また、本堂内には、1740年に鯨組から寄贈された閻魔大王像や、十王像が安置されています。

アクセス 平港より徒歩５分　**場　所** 佐世保市宇久町2397

アコウの巨樹

小浜郷下山の海岸に「アコウの巨樹」があり、根元から分かれた四本の幹立ちは、それぞれが独立したかのように見えます。樹齢数百年、最大幹周り16m、市の天然記念物に指定された、長崎県下最大のアコウの樹です。

アクセス 車/平港より10分
場　所 佐世保市宇久町小浜2441

鯨恵比寿

宇久島は捕鯨で栄えた時代があり、その当時の古文書によると「堀川の山見」と記され、この周辺に鯨遊泳の見張場がありました。宇久島の中でも唯一鯨に乗っているエビス様です。

アクセス 車/平港より25分
場　所 佐世保市宇久町平3248

自然・公園

大浜海水浴場

どこまでも続く遠浅の白い砂浜とエメラルドグリーンの海は、『快水浴場百選』にも選ばれるほどの美しさ。波静かで透明度が高いので海の生き物観察もでき、小さな子ども連れでも安心です。施設でパラソルやうき輪のレンタル（有料）もあり、更衣室・シャワー室も完備。
※大浜キャンプ場…大浜海水浴場を見下ろすすぐそばの高台にあります。テントやバーベキューセットなどは観光協会で、レンタルできます。（有料）

アクセス 車/平港より12分　**場　所** 佐世保市宇久町平4905
期　間 施設開店期間　毎年海の日から8/31まで

スゲ浜海水浴場

フェニックスが立ち並ぶ南国ムード満点のマリンビーチは、レストランなどの施設が充実し、マリンスポーツを楽しむ若者たちの人気スポット。ハマユウの群生地でもあり、夏になると、白い花が咲き乱れます。

アクセス 車/平港より7分
場　所 佐世保市宇久町3687-1
期　間 施設開店期間　毎年海の日から8/31まで

対馬瀬灯台

島の最北端の岬、対馬瀬鼻に位置し、テレビCMの舞台になるなど、島を代表する絶好のロケーション。草原の緑と海の青のなかにそびえ立つ灯台は、ぜひ写真に収めたい風景です。車でも近くまで行けますが、潮風に吹かれながら周辺を散歩するのもおすすめです。

アクセス 車/平港より15分　**場　所** 佐世保市宇久町野方2087

城ヶ岳展望園地

宇久島で最も高い城ヶ岳は標高258.6mあり、五島最北端の展望台からは南西方角へ向けて五島列島を一望できます。空が澄み渡った晴天時には北東の方角に壱岐・対馬を望むこともでき、四季を問わず観光客で賑わいます。また展望台の反対側には愛宕地蔵と観音様があり、苔むした石垣に取り囲まれた独特の雰囲気の中で、古くから親しまれている観音様を拝むことが出来ます。

アクセス 車/平港より15分
場　所 佐世保市宇久町平800

施設

一般社団法人　宇久町観光協会

宇久島についたら、まず訪ねたい場所です。宇久島の景勝地の紹介はもちろん、地元の人しか知らない穴場を教えてもらえるかも。飲食店の紹介や観光案内、島のガイドブックも配布しています。その他、島ならではの自然体験の実施、電動アシスト付き自転車や釣り竿の貸し出しやお土産の販売も行っています。

アクセス 宇久平港ターミナル内　**場　所** 佐世保市宇久町平2524-23
営業時間 8:30～17:30　**定休日** 年末年始
問い合わせ 0959-57-3935

浜方ふれあい館

もともと缶詰工場だった建物を使った海沿いの資料館です。海の侍「海士（あまんし）」の歴史や捕鯨文化について、写真や道具等と一緒に展示しています。鯨肉や缶詰、ジャーキーなどお土産の販売も行われています。

アクセス 車/平港より5分
場　所 佐世保市宇久町平3281-79
開館日 土、日祝日10:00～14:00 ※事前ご連絡で平日も開館可能です。
休館日 平日　**入館料** 無料

祭事

祇園祭（八坂神社夏祭）

7月の第3土曜と日曜日に、災厄を払うために祇園の神を祀るお祭りで、通称「祇園様」として親しまれている夏祭りです。白装束の若者たちが神輿を担ぎ、島内を勇敢に走り廻りながら災厄の除去を祈ります。夕方には御旅所周辺に夜店が立ち並び、一層の賑わいをみせます。

開催日 7月第3土、日曜日　**場　所** 佐世保市宇久町平地区一帯

ヒヨヒヨ祭り（竜神祭）

約300年前から続く祭りで、旧暦6月17日の夜、島内の厳島神社で大漁と漁の安全を祈願する神事が行われます。月が昇ると漁船に子どもたちと、みこし、笛や太鼓を乗せて、「ヒヨーヒヨーヒヨー」と連呼しながら港内を廻ります。

開催日 旧暦6月17日
場　所 佐世保市宇久町神浦町一帯

体験

貝アクセサリーづくり（通年）

自分たちで拾った貝がらでネックレスやストラップなどのアクセサリーを作ります。自分で作ったアクセサリーは忘れられない旅の思い出に…。

催行人数 2～10名　**料　金** 1人2,500円　**所要時間** 約60分

かんころ餅づくり体験（通年）

島のさつま芋を使った五島を代表する昔ながらのおやつ「かんころ餅」づくりを体験できます。出来たてを味わえるのは島での体験だけ。

催行人数 2～10名　**料　金** 1人2,500円　**所要時間** 約90分

魚さばき体験（通年）

獲れたて新鮮な宇久の魚を、手ほどきをうけながらさばきます。上手におろせるかドキドキの体験。自分でさばいた魚はその日の晩ごはんに！

催行人数 2～8名　**料　金** 1人2,500円　**所要時間** 約60分

〈宇久島エリア全体に関する問い合わせ〉
0959-57-3935
（一社）宇久町観光協会　**営業時間** 8:30～17:30　**定休日** 年末年始

宇久島エリアマップ

3

208通りの風が生まれる多島海の大自然。

九十九島南部

佐世保市内の雑踏を抜け、造船所のクレーン群を左手に見ながら車を走らせると、約10分で西海国立公園「九十九島」に。そこは長さ288㎞にもおよぶ日本有数の長さを誇るリアス海岸で、208の島々が点在しています。早春はツルの北帰行が見られ、また、そこを棲家とする希少な野鳥や水生生物、植物を観察することができます。遊覧船クルーズやシーカヤックでは大自然に癒されます。

1、西海国立公園

西海国立公園は昭和30(1955)年3月16日、日本で18番目に指定を受けた「外洋性多島海景観」を特色とする国立公園です。そのエリアは広範囲にわたり九州本土側では、長崎県北西部一帯とその西側海上に浮かぶ「九十九島」や、本土と架橋により連結された平戸島・生月(いきつき)島があり、五島列島側では、北は宇久(うく)島から南は福江島に及んでいます。 総面積24,646haにもなる海の国立公園には、大小400にもおよぶ島々が点在しており、まさに「島々の王国」と言えます。

2、九十九島

九十九島は、佐世保港の外側から北へ25㎞にわたり島々が点在する海域のことで、島の密度は日本一といわれています。「九十九(くじゅうく)」とは数がたくさんあるという意味で使われる例え言葉で、実際の島の数は208あります。佐々川河口を境に北側を九十九島北部(129島)、南側を九十九島南部(79島)とし、九十九島のほとんどが無人島で、有人島が4島あります。

- ●黒島 面積4.66㎢ 周囲12.5㎞
- ●前島 面積0.31㎢ 周囲4.0㎞
- ●高島 面積2.56㎢ 周囲21.0㎞
- ●鞍泊(とうどまり)島 面積0.1㎢ 周囲1.9㎞

3、世界で最も美しい湾クラブ

2018年4月19日、九十九島湾は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定されました。

「世界で最も美しい湾クラブ」とは？

湾を活かした観光振興や経済発展についての情報交換やＰＲ活動を行う目的で、1997年3月10日にドイツのベルリンで設立された、27の国と地域44湾からなる(2018年10月現在)フランスのヴァンヌ市に本部を置く、NGO(非政府組織)です。

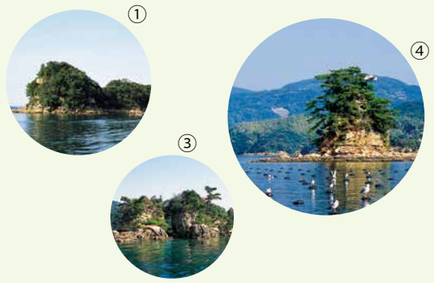
日本国内では、松島湾(宮城県)、富山湾(富山県)、駿河湾(静岡県)、宮津・伊根湾(京都府)の４つの湾が選ばれており、国内５例目として九十九島湾が世界で認められた湾として新たに加盟しました。

国際的な機関への加盟により、国内外の加盟湾と協力・連携し、今後さらに国内のみならず海外へ向けて、九十九島の魅力の発信を行っていく予定です。

加盟認定記念モニュメントが九十九島パールシーリゾート内に完成し、2019年9月14日に除幕式があり、市民にお披露目されました。

九十九島南部エリアマップ

九十九島の特徴ある島々 発見



①【横島】(よこしま)… ライオンが横たわっている姿に似ている。

②【牧の島】(まきのしま)… 松浦藩時代に牧場があったことが、島の名前の由来。

③【割島】(われしま)… 満潮になると、2つに分かれる。

④【御飯島】(おっぱんじま)… このあたりでは、仏様にお供えする山盛りのご飯を「おっぱんさん」と呼び、島の形が「おっぱんさん」に似ていることから、この名が付いた。

⑤【鞍掛島】(くらかけじま)… 馬の鞍に形が似ている。干潮のときは陸地とつながる。

⑥【笹島】(ささじま)… 九十九島で唯一「笹」が生えている。国立公園指定前に、佐世保市が当時の所有者から、約8,000円で購入した。(現在のお金に換算すると、30万円程度)

※九十九島南部

九十九島八景

弓張岳展望台 九十九島南部

標高 約353m

弓張岳山頂に位置し、市街地と九十九島をパノラマで一望できる展望台です。夕映えはもちろん、夜景も定評があります。平成21(2009)年に第二展望台が建設され、第一展望台とともにバリアフリーです。また、この展望台の特徴である美しい弦月形の屋根(シェル設計)は、著名な建築デザイナーであり東京大学教授でもあった坪井善勝博士によるもので、昭和40(1965)年3月、西海国立公園10周年を記念して建設されました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより15分
バス/西肥「弓張岳展望台」徒歩1分
場　所 佐世保市小野町

船越展望所 九十九島南部

標高 約65m

数ある展望所の中で標高が最も低く、九十九島が眼前に迫り、迫力ある眺望が楽しめます。市街地からのアクセスが良く、近隣には「海きらら」「森きらら」があります。また、伊能忠敬が68歳の時に九十九島周辺を測量しており、当時の測量行程等を示した案内板が設置されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより15分
バス/西肥「動植物園前」徒歩15分
場　所 佐世保市船越町147

展海峰展望台 九十九島南部

標高 約165m

九十九島南部をパノラマで一望できる展望台です。春には菜の花、秋にはコスモスが楽しめます。展望所には、サーカスのジンタで有名な「美しき天然」を作曲した、佐世保海兵団軍楽長、田中穂積の銅像があります。この像は平成17(2005)年西海国立公園50周年を機に「佐世保市立成徳高等女学校」同窓会等が中心となって建設されました。「半島キッチン ツッテホッテ」では地元の食材を使った軽飲食や、農産品・加工品を提供しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより20分
バス/西肥「展海峰」徒歩3分
場　所 佐世保市下船越町399

長串山公園展望所 九十九島北部

標高 約234m

九十九島北部の絶景を眺められる展望所です。春には約10万本のツツジが咲き乱れ、辺り一帯が赤やピンクに染まります。ツツジの見頃には「長串山つつじまつり」が開催され多くの人で賑わいます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市鹿町町長串174-12

鵜渡越展望台 九十九島南部

標高 約236m

弓張岳の中腹にあり、大正時代に整備された最初の展望台です。大正9(1920)年、旧日本海軍佐世保鎮守府長官だった財部彪(たからべたけし)海軍大将が、91歳の母親に九十九島の絶景を見せるため、背負って登ったとのエピソードが残っています。日本画家・黒田重太郎が描いた「九十九島」はここからの展望と推測されています。また、大正9(1920)年に時の皇太子殿下の行幸に合わせて展望所が設けられましたが、雨のため登山は中止となりました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより15分
バス/西肥「うど越」徒歩3分
場　所 佐世保市長坂町490-3

石岳展望台 九十九島南部

標高 約191m

展望台からは九十九島だけでなく、市街地を含む360度の風景が楽しめます。九十九島夕景の一押し撮影ポイントで、カメラマンの人気スポットです。頂上手前にもある展望所では、平成15(2003)年、映画『ラストサムライ』の撮影が行われ、日本を象徴する風景のひとつとして冒頭シーンで使われています。

※駐車場から展望台まで、未舗装道路を300m程歩きます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより15分
バス/西肥「動植物園前」徒歩20分
場　所 佐世保市船越町2277

冷水岳展望台 九十九島北部

標高 約330m

市北西部の小佐々町冷水岳にある展望台です。九十九島北部の絶景や平戸島を望むことができます。山全体が冷水園地となっており、春は咲き誇るツツジを楽しむことができます。見頃の時期には春祭りも行われ、多くの人で賑わいます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市小佐々町矢岳1618-12

高島番岳展望台 九十九島北部

標高 約130m

九十九島の一つ、高島の南端に位置する番岳にある展望台です。平戸島や五島列島を間近に望むことができ、朝焼けの九十九島を見ることができるのも魅力のひとつです。

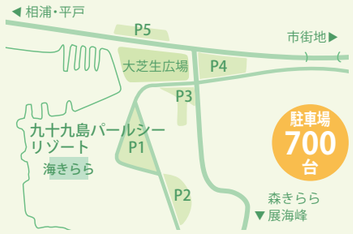
アクセス 船/相浦港より20分
下船後 車/高島港より8分
徒歩/高島港より25分
場　所 佐世保市高島町

問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

九十九島パールシーリゾート

九十九島パールシーリゾートには、九十九島を舞台に、未来志向の環境や自然に優しいエコな遊覧船「みらい」、白い帆船風の遊覧船「パールクィーン」や小型遊覧船「リラクルーズ」での遊覧をはじめ、ヨットセーリングやシーカヤックなど、豊富なクルージングメニューがあり、いろいろな角度から九十九島の海を楽しむことができます。また、九十九島に生息する海の生きものを紹介する水族館では体験プログラムも充実。リゾート内では一年を通して、楽しいイベントも開催されており、まさに五感で九十九島を体感できる施設となっています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより7分
バス/西肥「パールシーリゾート九十九島水族館」
場　所 佐世保市鹿子前町1008
問い合わせ 0956-28-4187
※九十九島パールシーリゾートと森きららを結ぶ無料シャトルカー：10:30〜16:30　平日は1時間、土日祝日は30分間隔で運行。定員9名。



駐車料金（8時〜20時）について
最初の30分無料（第3〜5は3時間無料）
第1〜第5駐車場があり、料金は異なります。
夜間（20時〜翌朝8時）は半額
※第1駐車場のみ大型バス・マイクロバス可

西海国立公園 九十九島水族館（愛称：海きらら）

平成21（2009）年7月18日リニューアルオープンした「海きらら」は、国立公園に指定されている九十九島の海を再現した、全国的にも数少ない地域密着型の水族館です。公募により愛称は「海きらら」となりました。九十九島の海を再現した屋外型水槽「九十九島湾大水槽」をはじめ、映像と音楽、ライティングが幻想的な世界を創り出すクラゲシンフォニードーム、可愛いイルカたちが泳ぐ九十九島イルカプールは必見。 九十九島を海中散歩しているような、大人も楽しめる水族館です。

開館時間 【3月〜10月】9:00〜18:00（最終入館17:30）
【11月〜2月】9:00〜17:00（最終入館16:30）
休館日 年中無休
問い合わせ 0956-28-4187（九十九島パールシーリゾート）

水族館利用料金

入館料	大人（高校生以上）	小人（4才〜中学生）	3才以下
一般個人	1,470円	730円	無　料
団体（15名以上）	1,250円	630円	
身分証明書提示割引（佐世保市民）	1,040円	530円	
九十九島CLUB（年間会員）［セットカード（水族館・遊覧船共通）］	5,240円	2,620円	

※九十九島遊覧船乗船券（一般個人）、九十九島動植物園森きらら入園券（一般個人）をご提示のお客様は、割引料金を適用いたします。（発行日を含め3日間有効）
※佐世保市民のお客様は、現住所がわかる身分証（免許証等）のご提示で市民料金を適用いたします。
※障害者手帳をご提示のお客様は、一般料金の半額（大人730円・小人370円）となります。
※70才以上のお客様は、身分証のご提示で、シルバー割引料金（1,250円）を適用いたします。
※年間フリーパスポート「九十九島CLUB」は、水族館改札横で受け付けております。
共通カードのほか、水族館カード、遊覧船カードがあります。

体験プログラム

※運営上の都合により開催日を変更する場合があります。

イルカのプログラム

イルカの知能や運動能力を紹介するプログラムを行います。
（イルカの体調により中止する場合があります）

開催場所 九十九島イルカプール2F
開催日 毎日　**開始時刻** 10:20/13:20/15:20　**所要時間** 約20分

パクパクウォッチング（九十九島湾大水槽）

飼育スタッフの解説を聞きながら、九十九島湾大水槽を泳ぐ魚がエサを食べる様子を見ることができます。

開催場所 九十九島湾大水槽大アクリル面前
開催日 火、木、土曜日　**開始時刻** 14:00　**所要時間** 約20分

パクパクウォッチング（五島の海水槽）

飼育スタッフの解説を聞きながら、五島の海水槽を泳ぐ魚がエサを食べる様子を見ることができます。

開催場所 五島の海水槽
開催日 月、水、金曜日　**開始時刻** 14:00
所要時間 約20分

真珠の玉出し体験

アコヤ貝から真珠を取り出す体験ができます。取り出した真珠は持ち帰ることができます。

開催場所 真珠の玉出し体験コーナー
開催日 毎日　**料　金** 1回650円
開催時間 9:30〜18:00（3月〜10月）　9:30〜17:00（11月〜2月）
所要時間 約5分　※アクセサリー加工（別途有料）も行っています。

生きものふしぎ発見

はく製に触りながら生きものについて学ぶことのできるプログラムです。

開催場所 ラボコーナー
開催日 土、日曜日　**開始時刻** 12:00
所要時間 約15分

こどもひろば お楽しみ会

本の読み語り、生きもののお話、おりがみなどを行います。

開催場所 こどもひろばあまもば
開催日 土曜日　**開始時刻** 11:30/14:30
所要時間 約30分

水族館ミステリーツアー

普段見ることのできない水族館の裏側を、飼育スタッフが解説をしながら案内します。

開催場所 水族館バックヤード
開催日 日曜日　**開始時刻** 11:00〜/14:00〜
定　員 20名
料　金 300円　**所要時間** 約30分
※ミステリーツアー受付は、開始1時間前より水族館改札奥（専用デスク）にて行います。

九十九島お魚教室

飼育スタッフが、九十九島湾大水槽で生活する生きものの様子について分かりやすく解説します。

開催場所 九十九島湾大水槽大アクリル面前
開催日 日曜日
開始時刻 11:30〜/14:30〜　**所要時間** 約20分

九十九島遊覧船

九十九島海賊遊覧船みらい

「未来に向かって海を走る」という思いが込められた九十九島海賊遊覧船みらい。遊覧船としては日本初の電気推進船で、未来志向の環境や自然に優しいエコな船です。海賊のハットをモチーフにした外観と、非日常感を味わうことのできる、ゆったりとした客室では、大きな窓から九十九島をパノラマビューで楽しむことができます。

出航予定時刻 11:30/13:30/14:30（左記時刻頃出航予定）※臨時便・増便あり
所要時間 約50分　**定　員** 200名（122席）
料　金 一般料金　大人（高校生以上）1,500円　小人（4才〜中学生）750円
団体料金（15名以上）　大人（高校生以上）1,300円
小人（4才〜中学生）650円

九十九島リラクルーズ

大型の遊覧船では通ることのできない、スペシャル遊覧コースを巡ります。水面が近いため、九十九島の四季折々の表情を間近に見ることができます。九十九島を熟知した船長の、愉快なガイドも魅力のひとつです。

出航予定時刻 10:20/11:20/12:20/13:20/14:20/15:20/16:20（左記時刻頃出航予定）※10:20は6、7月は運休　16:20は10月は運休
所要時間 約50分　**定　員** 12名
料　金 大人（高校生以上）2,200円　小人（4才〜中学生）1,100円
貸切料金32,000円

シーカヤック

10分程度のレクチャーを受けた後、初心者向けの体験が気軽にできます。マリーナ内の穏やかな海面での体験なので初心者の方でも安心。親子やカップルに最適です。

体験期間 4月〜10月の日祝日、夏休み期間
体験時間 11:00〜16:15（最終受付15:30）
所要時間 約45分（レクチャー含む）　**対象者** 4才以上
料　金 1人乗り600円　2人乗り1,200円

九十九島工房

九十九島に関するものづくり体験。

開催場所 こどもひろばあまもば前
開催日 不定期　**開催時間** 要問い合わせ
所要時間 30分〜60分　**料　金** 要問い合わせ

水族館のお土産
アクアショップきらら
海の生物や水族館にちなんだ商品が揃っています。海きららでしか手に入らないクラゲのぬいぐるみや雑貨、お菓子など、オリジナル商品があります。
営業時間 【3月〜10月】9:30〜18:00【11月〜2月】9:30〜17:00

九十九島遊覧船パールクィーン

海の女王をイメージした、その名にふさわしい優雅な船体です。青い海と緑の島々をめぐる日中の便と、九十九島に沈む美しい夕日を見る期間限定のサンセットクルーズがあります。

出航予定時刻 10:00/11:00/13:00/14:00/15:00
（上記時刻頃出航予定）※臨時便・増便あり
所要時間 約50分　**定　員** 280名（118席）
料　金 一般料金　大人（高校生以上）1,500円　小人（4才〜中学生）750円
団体料金（15名以上）　大人（高校生以上）1,300円
小人（4才〜中学生）650円

ヨットセーリング

クルーザー型のヨットで波静かな九十九島を巡ります。舵取りやセール操作も体験でき、肌で九十九島を感じることができます。

出航予定時刻 10:10/11:10/12:10/13:10/14:10/15:10/16:10（左記時刻頃出航予定）※10:10は6、7月は運休　16:10は10月は運休
所要時間 約60分　**定　員** 10名　**対象者** 4才以上
料　金 一般料金　大人（高校生以上）2,200円　小人（4才〜中学生）1,100円

無人島上陸とエサやり体験クルーズ

無人島上陸体験では、まず無人島で潮の満ち引きによってできた岩のくぼみ（潮だまり）の生きものの観察をします。その後、島のすぐ近くにある養殖いかだへ移動し、約7,000匹ものマダイにエサやり体験を行います。

体験期間 ゴールデンウィーク、夏休み期間
出航予定時刻 10:30/11:45/13:00（左記時刻頃出航予定）※臨時便あり
所要時間 約60分　**定　員** 10名　**対象者** 4才以上
料　金 大人（高校生以上）2,200円　小人（4才〜中学生）1,100円

西海国立公園九十九島ビジターセンター

西海国立公園の情報発信の拠点となる施設です。九十九島の美しい景観や豊かな自然を、パネルや映像を使ってわかりやすく紹介しています。九十九島に息づく生きものたちの多様な生活の様子を学ぶことができるほか、自然観察会などを企画し、九十九島の自然を体感できるイベントも開催しています。

入館料 無料
開館時間 【3月～10月】9:00～18:00　【11月～2月】9:00～17:00
休館日 無休　**問い合わせ** 0956-28-7919

1F
- 自然とのふれあい
- 九十九島工作ひろば
- 西海国立公園と九十九島
- 九十九島の四季
- 九十九島のなりたち
- 九十九島のいきものたち
- 九十九島の特徴
- 九十九島発見！
- 情報コーナー

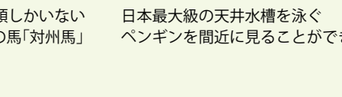
2F
- レクチャー室
  自然観察会などの催しが行われる。

九十九島調査室
九十九島の自然調査を大学や市民団体などと共同で行っています。得られた情報はビジターセンターで紹介していきます。

ガイドの引出し
豆知識

「海きらら」には
生きた化石"カブトガニ"がいる!

海きららでは、カブトガニを展示。カブトガニは、2億年前から形態がほとんど変化していないことから、「生きた化石」として知られています。
数十年前までは、瀬戸内海や九州北部の干潟などに多く生息していましたが、最近では生息数が減少し続けており、環境省のレッドデータブックでは、絶滅危惧種に指定されています。



西海国立公園　九十九島動植物園（愛称：森きらら）

昭和36（1961）年に佐世保市亜熱帯動植物園として開園。現在では、日本本土最西端の動植物園「西海国立公園九十九島動植物園（愛称：森きらら）」として市民に親しまれています。広い敷地内には、子どもたちが大好きなチーター、ライオンなどの動物や、観賞温室をはじめとして園内の至る所に四季折々の花々が植栽されています。植物では特にバラ園が有名です。開花のシーズンにはバラの香りいっぱいの園内で「ローズフェスティバル」が開催されます（5月、10月）。日本最大級の天井水槽を完備したペンギン館や、九州初となるテナガザルの巨大うんていなど、動物たちの本来の姿をより間近に観察できる園に進化しています。園内では、動物のエサやり体験もできます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより10分
バス/西肥「動植物園前」徒歩1分
場　所 佐世保市船越町2172
開園時間 9:00～17:00（入園は16:30まで）　**休園日** 年中無休
料　金 一般料金　大人（高校生以上）830円　小人（4才～中学生）210円
団体料金（15名様以上）　大人（高校生以上）670円
小人（4才～中学生）170円
問い合わせ 0956-28-0011
※九十九島パールシーリゾートと森きららを結ぶ無料シャトルカー：10:30～16:30　平日は1時間、土日祝日は30分間隔で運行。定員9名。

年間イベント
春 ローズフェスティバル 春の特別展
夏 夜の動植物園 夜の森きらら
秋 ローズフェスティバル 秋の特別展
イベントは全て参加・観覧無料　※別途入園料必要

テナガザルが空中散歩
高さ約13mの巨大雲てい

やんちゃな性格
チーターのキリ

天然記念物
ツシマヤマネコに会える！

日本に約50頭しかいない
生粋の日本の馬「対州馬」

日本最大級の天井水槽を泳ぐ
ペンギンを間近に見ることができる

体験プログラム　※小学生以下のお子様は、保護者同伴

モルモットタイム
モルモットとのふれあいを楽しむことができます。

開催場所 ふれあいステージ
開催日 木曜日を除く毎日
開催時間 平日　11:30～12:30（受付は12:15まで）

エサやり体験
マントヒヒ、ヤギ、アライグマにエサをあげることができます。

開催場所 マントヒヒ、ヤギ、アライグマ展示場
開催日 毎日
開催時間 9:00～16:30
※12月～2月は15:30まで
料　金 100円

ライオンのスポットガイド
ライオンに飼育スタッフがエサをあげながら、長生きの秘訣や最近の様子について解説します。

開催場所 ライオン展示場　**開催日** 土、日祝日
開催時刻 12:30～12:45　**所要時間** 約15分

キリンのもぐもぐガイド
キリンのエサや食べ方、性格などについて紹介します。抽選で10組（20名）のお客様は、キリンのエサやり体験ができます。

開催場所 キリン展示場　**開催日** 土、日祝日
開催時刻 11:00～11:30　**所要時間** 約30分

ワオキツネザルに大接近
木から木への大ジャンプや垂直ジャンプなど、ワオキツネザルの迫力ある動きを間近で見ることができます。

開催場所 ワオキツネザル展示場　**開催日** 毎日
開催時間 12:00～12:30　**所要時間** 約30分

ペンギンタイム
希少種であるペンギンの生態などについて、ガイドを行います。

開催場所 ペンギン館　**開催日** 平日のみ
開催時間 11:00～11:15　**所要時間** 約15分

ペンギンたちの大冒険
ペンギンたちがプールを飛び出して広場をお散歩します。ペンギンたちを間近で見ることができます。

開催場所 ペンギン館～芝生広場　**開催日** 土、日祝日
開催時間 13:30～13:45　**所要時間** 約15分

植物スポットガイド
観賞温室やビオトープの植物を、植物スタッフが案内します。

開催場所 ビオトープ・観賞温室
※雨天時は観賞温室のみ
開催日 日祝日
開催時間 ①ビオトープ10:30～10:45
②観賞温室13:00～13:15
所要時間 ①②とも約15分

クマさんのごはん探し
展示場に隠されたごはんをクマが探す様子を、飼育スタッフの解説つきで観察します。

開催場所 クマ展示場　**開催日** 土、日祝日　**開催時刻** 14:30～14:45
所要時間 約15分

対州馬（たいしゅうば）の乗馬体験
日本在来種の馬である対州馬の乗馬体験や記念撮影ができます。

開催場所 対州馬展示場
開催日 土、日祝日
開催時間 14:00～15:00
（チケット販売は13:30～）
所要時間 約5分
対象年齢 3歳～小学6年生
定　員 20名
料　金 300円
※定員になり次第受付終了

ハリスホークのフライトトレーニング
ハリスホークが大きな翼を広げて飛ぶ姿を間近でご覧いただけるほか、その能力や性格について飼育スタッフが紹介します。

開催場所 芝生広場　**開催日** 土、日祝日　**開催時間** 12:30～12:45
所要時間 約15分

森きららガイド
スタッフが森きららの動植物などを紹介します。月替わりで動植物のおはなしを聞くことができます。

開催場所 園内各所　**開催日** 土、日祝日
開催時間 11:30～11:45
※内容はお問い合わせください。

イベントに関する注意事項
- ○動物の健康状態や天候などにより、中止や変更になる場合がありますので、ご了承ください。（ゴールデンウィークなど特別イベント開催期間中についても、内容や時間が変更または中止となる場合があります。）
- ○エサやり体験は、販売用のエサが無くなり次第、終了となります。なお、持ち込みになったエサや食べ物を動物にあげることはできません。

特産品・名産品・グルメ

九十九島かき
九十九島の牡蠣は、全国的に有名な広島や三陸の牡蠣と比べると、少し小振りですがクセがなくぷりぷりの食感と、濃厚なうまみが特徴です。

ガイドの目線
おいしさの秘密
①海域の干満の差が大きい（ほかの牡蠣の産地は干満の差が、1～2mであるのに対し、九十九島海域は最大4m。その潮の流れが、身の引き締まった甘みのある牡蠣を育てている）
②大きな川の流れ込みが少なく海水濃度が高い海域（味が濃厚）
③無人島の森からしみ出す栄養が良質なプランクトンを育てている（おいしいものだけを食べて育ったおいしい牡蠣）
④澄んだ水の美しさは、牡蠣の臭みをなくす。

九十九島とらふぐ
佐世保市の養殖とらふぐの生産量は市区町村別全国2位（平成28年 農林水産省統計より）。早摘みミカンを入れた特別な飼料を与え、自然豊かな九十九島の海で育てられています。

4 〝花群れる〟祈りの島　黒島。

黒島（くろしま）

島民の約8割はカトリック信者で、「黒島天主堂」はゆうに100年を超す赤煉瓦の建物で、内外観ともに素晴らしく、深い信仰で守られています。素朴であたたかい山の幸と海の幸を材料に島のお母さんが腕をふるう「島めし」や、味も歯ごたえもしっかりした黒島豆腐、お祝いに欠かせないふくれ饅頭など、丁寧な暮らしぶりが今も息づいています。2018年7月、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、「黒島の集落」は構成資産のひとつです。（詳しくはP49をご覧下さい。）

黒島　黒島は、佐世保市の西部に位置し、相浦港より約10kmの海上に浮かぶ有人島です。人口は458人（令和元年5月31日）で、208の島々からなる九十九島の中では最も大きな島です。海岸部の標高50m付近までは急な断崖である一方、標高約100m以上はなだらかな地形で、畑地や集落が点在しています。気候は、暖流の対馬海流の影響を受けた海洋性気候であるため、アコウやサザンカなど亜熱帯植物・南方系植物が多く自生しています。黒島港と相浦港を結ぶフェリーは1日3便。本土間を約50分でつないでいます。また、カトリック信仰の島として知られ、島の人口の約8割が信徒です。

黒島の歴史

江戸時代は平戸松浦藩の統轄下で本村の集落が中心

明治 2（1869）年	前津吉村黒島	昭和29（1954）年	佐世保市黒島村
明治22（1889）年	北松浦郡黒島村	昭和33（1958）年	佐世保市黒島町
明治40（1907）年	村役場を名切に移転		

史跡・旧跡

黒島天主堂（くろしまてんしゅどう）

世界遺産構成資産　重要文化財（国指定）

正式名称を黒島教会といい、マルマン神父指導のもと、黒島カトリック信徒の献金と労働奉仕により、約40万個のレンガを使って1902年に完成しました。ロマネスク様式の美しく荘厳な教会で、フランス製の鐘やステンドグラスが当時のまま残っており、現在も島民の祈りの場として使用されています。

アクセス 徒歩/黒島港より30分
場　所 黒島町3333
問い合わせ **0956-25-9634**（佐世保市教育委員会　文化財課）
※見学についての問い合わせ
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター」 **095-823-9690**

〈黒島天主堂の保存修理工事について〉
○工事期間　2019年2月4日（日）～2021年3月末まで（予定）
期間中は敷地内への立ち入りを制限し、建物の見学は外部の見学台からになります。

黒嶋神社（くろしま）

世界遺産構成資産

江戸時代の黒島は平戸島との結びつきが強く、平戸島の南部にあった津吉村の一部でした。当時、黒島港の高台にある神社は「黒嶋志加大明神」と呼ばれ、平戸津吉の志々伎神社（ししきじんじゃ）の分社でした。明治時代になると神仏分離令により廃止。明治12（1879）年に村社として再興され「黒嶋神社」となりました。

アクセス 徒歩/黒島港より1分　**場　所** 黒島町本村地区

興禅寺（こうぜんじ）

世界遺産構成資産

本村集落の中心にある曹洞宗興禅寺は、黒島唯一の寺で平戸市津吉にある長泉寺の末寺です。江戸時代、黒島は平戸藩の領地で黒島への移住者が増加していきました。それらを背景に、平戸藩から長泉寺の隠居所を建てる許可をもらい、享和3（1803）年に創建しました。

アクセス 徒歩/黒島港より15分　**場　所** 黒島町本村地区

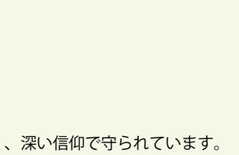
黒嶋神社社叢（くろしましゃそう）

黒島では古くから土地の開拓が盛んに行われていたため、自然林はほとんどありません。そんな中、黒嶋神社の社叢は神域であることで伐採されることはなく、この黒嶋神社の社叢と海岸林に残る照葉樹林は本来の黒島における植生を今に伝えています。

アクセス 徒歩/黒島港より1分
場　所 黒島町本村地区

串ノ浜岩脈（くしのはま）

天然記念物（県指定）



岩脈とは、地下の溶岩が岩盤の裂け目に入って冷え固まり、海岸の波でやわらかい岩盤が除かれて硬い溶岩が突出したものです。約800万年前にできたもので、総全長が320mもあり、長崎県最大の規模を誇ります。当時の地殻変動の痕跡を目の当たりにできる自然の造形ですが、見学は潮の引いた時を選んでください。

アクセス 徒歩/黒島港より45分
場　所 黒島町串ノ浜

根谷のアコウ（ねや）

亜熱帯植生の樹木で樹齢約100年。気根をよく見る事が出来ます。別名、気根が垂れている様子から「たこの木」、または、石や木々を巻き込みながら大きく成長するので「絞め殺しの木」とも言われます。いちじく科の木で、いちじくのような小さな実がなります。蕨（わらべ）地区でも防風林として見る事が出来ます。

アクセス 徒歩/黒島港より36分
場　所 黒島町根谷地区

根谷のサザンカ（ねや）

天然記念物（市指定）

1800年頃にこの島に移り住んだ人々が持ち込み植えたと言われています。樹齢250年以上と推定され、根回り180㎝、樹高10m以上の巨木で、長崎県でも最大級です。10月～11月頃にかけて白い花を咲かせます。実から採れる油は食用油として用いられ、昔は潜伏キリシタンの生活の一部を支えました。

アクセス 徒歩/黒島港より35分　**場　所** 黒島町根谷地区

自然・公園

蕨展望所（わらべ）

南向きの展望所は、長崎鼻の断崖と大海原の景観に、季節の花々や島民手づくりの特産御影石のテーブルやベンチが設えられたナイスビューポイント。しばらく足を止めて海風に吹かれたい場所です。

アクセス 徒歩/黒島港35分
場　所 黒島町蕨地区

体験

ふくれまんじゅう作り体験

黒島ではお祝いごとでふくれまんじゅうを作ります。そのまんじゅう作り体験ができます。生地を作り、餡を包み、薪窯で蒸しあげます。試食ののち2個のお土産つきです。

要予約 7日前まで　**定　員** 5～20人
料　金 1人2,000円　**体験時間** 約60分～180分

ガイド付き島歩き

九十九島の美しい景観や、歴史がつづられた文化的景観や、黒島のシンボルである黒島天主堂など、島のガイドさんと一緒にウォーキングでめぐります。

定　員 1人～　**料　金** 要問い合わせ
体験時間 1日コース：約210分（昼食等の休憩を含む）
半日コース：約80分

電動自転車レンタサイクル

定　員 1人～　**料　金** 1時間300円
台　数 大人用13台、小人用3台
※天候により貸し出しを中止する場合があります。

施設

黒島ウェルカムハウス

フェリー発着場そばにあり、黒島を訪れた観光客を迎える観光案内施設です。インフォメーション、各種ガイドツアーや体験プログラムの案内・受付、電動アシスト自転車の貸し出しなど行っています。また、特産品や黒島オリジナルのお土産なども販売しています。

アクセス 黒島港そば　**場　所** 黒島町8-4　**営業時間** 9:00～17:00
定休日 1月1日　※他不定休あり　**問い合わせ** **0956-56-2311**

黒島豆腐作り体験

黒島の豆腐はにがりとしてきれいな海水を使います。黒島の大豆を使い、島のおかあさんにおそわりながら豆腐作りを体験できます。

要予約 7日前まで　**定　員** 2～10人
料　金 1人3,000円
体験時間 約240分

漁船クルージング

黒島の漁師さんがガイドとなって漁船でクルージング！ 黒島港を出航し、約1時間の遊覧では、ダイナミックで迫力ある島の姿や海原を堪能できます。

要予約 7日前まで　**定　員** 1～12人
料　金 チャーター料金（保険料込み）
1～10人20,000円　11人22,000円　12人24,000円
体験時間 約60分　※天候により体験できない場合もあります。

〈黒島エリア全体に関する問い合わせ〉
0956-56-2311　NPO法人黒島観光協会
営業時間 9:00～17:00　**定休日** 1月1日　※他不定休あり

黒島エリアマップ（くろしま）

佐世保から
相浦港 ------ フェリー50分

ガイドの引出し 豆知識

島めし

「どうしてこんなにおいしいんだろう~」と思わずつぶやいてしまう、島めし。
島めぐりには欠かすことのできない楽しみのひとつです。定番の黒島豆腐に黒島の新鮮野菜、お刺身はツマまでもおいしい。歩いて、観て、食べて、のんびりほっこりがギュッと詰まった黒島の旅です。

「佐世保市黒島の文化的景観」

重要文化的景観（国指定） 世界遺産構成資産

佐世保黒島の文化的景観は、近世期の軍馬を育てる牧場に起源を持つ畑地やアコウ防風林と石積みによる居住地、属島における生産活動など、独特の土地利用によって形成される価値の高い文化的景観です。

1. 特徴

①居住、土地開拓の過程

江戸時代の黒島は平戸藩に属する西氏の所領であり、藩の軍馬を育てる牧場が置かれていました。18世紀、開拓を目的とする移住が平戸藩の主導で行われ、特に牧場廃止後は跡地開拓のためさらに移住が推進されました。また、黒島北方に浮かぶ伊島・幸ノ小島は古くから黒島の属島とされ、伊島では牛の放牧、幸ノ小島は藻場として周辺で肥料用の海藻が採取されました。

②独特の土地利用の過程

黒島は夏季・冬季ともに季節風の影響を強く受ける地域で、特に台風来襲時には猛烈な南風に襲われます。そのため居住地はできるだけ風の影響が少ない場所が選ばれ、同時に屋敷及び隣接する畑地等の南側を中心に防風林が発達することになりました。防風林にはスダジイなどの自然林を活用したものと、アコウなどの意図的に植栽されたものとが確認されています。特に島南部の蕨（わらべ）集落では、亜熱帯系の植物であるアコウが防風林として海側に植えられており、島に豊富な閃緑岩の石で築かれた石垣の上にアコウの大樹の根が張る特徴的な景観が展開しています。

2. 代表的文化的景観地区　蕨（わらべ）

江戸時代、潜伏キリシタンたちは迫害を逃れ各地から黒島へ移住しました。平戸藩関連集落の本村（ほんむら）以外の地域に2~3軒からなる散村を形成し、海岸から島の内部に向かって土地が利用されました。蕨（わらべ）集落では、海~防風林~家屋~畑と黒島の典型的な土地利用形態を残しており、特に夏の南風や西日の直射を防ぐため、屋敷の南側にアコウの防風林が多く確認できます。

●仕切牧（しきりまき）墓地

世界遺産構成資産

蕨集落にある潜伏キリシタンの墓地。約600㎡の墓域に百基以上のお墓が造られています。多くの石積みの墓に加え、潜伏キリシタンのものと考えられる柬を向いた仏教式墓（黒島の仏教墓はすべて西を向いている）や明治1年銘のカトリック様式墓が確認されています。

場　所　黒島町蕨地区

●名切（なきり）砲台跡

日本遺産構成文化財

太平洋戦争末期の本土決戦に備えて海軍が建設した砲台の洞窟陣地。アームストロング式15㎝砲1門と25mm機銃2門を装備していました。小佐々の矢岳に配備されていた特攻艇「震洋」部隊と挟み撃ちにする計画だったため、本土の方を向いています。

場　所　黒島町古里地区

●カトリック共同墓地

明治11（1878）年、ペルー神父が名切に教会を建築したのち、名切に土地を購入し共同墓地としました。それまでは興禅寺の檀家として仏教徒を装っていたため各地区に墓地があり埋葬していました。黒島では今でも土葬が許可されています。また、この墓地には黒島天主堂を建設したマルマン神父が眠っています。

場　所　黒島町名切地区

ガイドの引出し　豆知識

「黒島」の名の起こりは十字架の「クルス」からではないかとも言われていましたが、それ以前の13世紀に平戸松浦氏の領地として「黒島」という表記が確認されています。海から見ると島全体が樹木におおわれて黒く見える様子から「黒島」となったのではないかとも言われています。

ガイドの目線　黒島天主堂のレンガと建築費用

約40万個のレンガを使用しています。一部は黒島の赤土を焼いて造りましたが、当時の技術では全部を焼くことができず、佐世保や平戸から購入して船で運び、教会下の名切の浜の港に荷揚げし、人力で担いで運びました。
総工費7,000円の見積もりから始まりましたが、天井が祭壇の上に張り上げられた時までで経費総額は12,000円余となり最初の予算を遙かに超過したため、明治35（1902）年10月、工事は一時中断。その後3,000円を費やして残された天井を完成させたそうです。総額は15,363円60銭。今の価値で約3億円です。

鑑賞のポイント　～ステンドグラス～

美しいステンドグラスは、教会を象徴する装飾です。西洋の教会では、聖母マリアやイエス・キリストの像、聖書の一場面を表現したものが多く、字の読めない人が多かった時代には人々に聖書の教えを伝える役割もありました。明治時代以降に、日本に建てられた教会では、ほとんどそのような意匠は見られず、純粋な装飾として取り付けられています。
なお、ステンドグラスに使われている色には、青、赤、黄、緑の4色あるが、これはそれぞれ水、火（太陽）、大地、自然を表しており、人の生活に不可欠な要素を表しているという説もあります。

5 多島海に揉まれ鍛われた、心優しき漁師たちの浦々。

九十九島（くじゅうくしま）北部・高島（たかしま）
相浦（あいのうら）・小佐々（こさざ）・鹿町（しかまち）

複雑なリアス海岸と対馬海流が流れ込む豊かな漁場を舞台とするエリア。このエリアは、活気あふれる漁師まちです。いりこ生産量日本一の小佐々町、208ある九十九島の中で4つの有人島のひとつ高島町、西日本最大級規模の魚市場のある相浦町、10万本のツツジと九十九島とらふぐの養殖で知られる鹿町町。日本本土最西端の「神崎鼻公園」や北九十九島を一望できる「冷水岳」や「長串山」からの落陽は圧巻です。

高島　高島は佐世保市の西部に位置し、相浦港より約6kmの海上に浮かぶ周囲約21kmの有人島の町です。人口は183人（令和元年5月31日）で九十九島の中では黒島に次ぐ2番目。九十九島の多島海景観の一部として集落部分を除くほぼ全域が西海国立公園です。主な産業は漁業で、「ちくわ」製造所もあります。

小佐々　小佐々町は佐世保市の西に位置する日本本土最西端の町です。昭和初期頃から貴重な粘結炭を産出し炭鉱の町として栄えましたが、石炭産業の衰退と共に過疎化が進み、人口が減少。現在は6,152人（R1.5.31）です。平成18（2006）年3月に佐世保市と合併。いりこ生産量日本一を誇る漁業の町です。

相浦　相浦町は佐世保の西部に位置し、西日本最大級を誇る佐世保魚市場のある、人口2,515人（令和元年5月31日）の町です。相浦港はかつて石炭積出港として発展、商店街も栄えました。伝統の愛宕祭り・愛宕市は今でも佐世保に春を告げる恒例行事で、港からは九十九島の4つの有人島の内の2島「黒島」と「高島」を航路で結びます。

鹿町　鹿町町は北松浦半島の中央部西海岸を占める町で、平成23（2011）年に佐世保市に合併しました。炭鉱の町として栄え、昭和20年代には人口が2万人を超える勢いでしたが炭鉱閉山後は急減。現在は4,486人（R1.5.31）です。長串山公園は10万本のツツジが咲き、マリンスポーツの盛んな町でもあります。

史跡・旧跡

宮の本（みやのもと）遺跡　高島

縄文時代前期（約6000年前）から弥生時代（約2000年前）の複合遺跡です。弥生時代の墓地からは、土器や石器、貝の腕輪など副葬品のほか、約40体もの人骨が発見されました。出土した人骨は腕の骨が発達しており、舟を漕ぐことによる特徴と考えられています。高島では昔から開拓などで出てきた弥生時代の人骨を島流しにあった罪人のものと語り伝えられ「骨様」として現在も大切に祀られています。

アクセス　徒歩/高島港より6分
場　所　佐世保市高島町
問い合わせ　0956-24-1111（佐世保市文化財課）

石炭積込施設（ホッパー／ポケット）小佐々

小佐々が炭鉱の町として栄えていた頃、海岸には石炭の積込施設（ホッパー）が多くありました。そのなかで唯一残っているのが楠泊にあった矢岳炭鉱の石炭積込施設です。じょうご状で上から石炭を入れ、下の口を開けると石炭が流れ落ち、コンベアで船に積み込む仕組みでした。小佐々の炭鉱は昭和10（1935）年頃から40年頃までが最盛期で、その後は衰退しました。

アクセス　車/西九州自動車道　佐々ICより20分
場　所　佐世保市小佐々町楠泊

自然・公園

高島園地（番岳（ばんだけ））　高島

島の南側にある番岳山頂（標高136m）からは、平戸島から西彼杵半島を見渡す事ができます。そのため山頂には、江戸時代に外国船を見張るための遠見番所の狼煙台がおかれ、さらに第二次世界大戦時には海軍の砲台も設置されました。現在は山頂に番岳展望台が設置され、美しい景色を一望することができます。この展望台は、「九十九島八景」に選定されています。

アクセス　徒歩/高島港より50分
場　所　佐世保市高島町
問い合わせ　0956-24-1111（佐世保市公園緑地課）

志賀（しが）神社　高島

海の神様が祀られており、境内には鯨をかたどった石碑があります。大正2（1913）年に鯨が島に漂着し、島の人々に恩恵をもたらしたことを記念して奉納されたものです。

アクセス　徒歩/高島港より3分
場　所　佐世保市高島町
問い合わせ　0956-24-1111（佐世保市文化財課）

愛宕（あたご）山　相浦

別名「飯盛山」と呼ばれ、富士山型の山であることから、「相浦富士」とも呼ばれています。標高259m、麓に飯盛神社（松尾・愛宕・祇園三社合祀）が鎮座しており、山頂には平戸松浦家の松浦隆信（道可）により京都の愛宕神社から勧請された愛宕勝軍地蔵菩薩が東漸寺により祀られています。（愛宕祭りの期間中以外は東漸寺に安置）。毎年2月下旬に愛宕祭りが行われ、ご開帳があります。また、頂上付近には「かんかん石」があり、自分の年齢の数だけ石をたたくと願いが叶うと言われています。

アクセス　車/西九州自動車道　相浦中里ICより5分
場　所　佐世保市相浦町
問い合わせ　0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

西川内橋（にしかわちばし）（通称：太鼓橋）小佐々　有形文化財（市指定）

大正9（1920）年の架橋で、典型的なアーチ型の石橋です。現在の県道が完成する昭和18（1943）年頃までは、この橋を通る堤防まわりの道路が基幹道路でした。橋と川面に映る影が円形を作るところから「太鼓橋」と呼ばれています。

アクセス　車/西九州自動車道　佐々ICより10分
場　所　佐世保市小佐々町西川内
問い合わせ　0956-24-1111（佐世保市文化財課）

高島（たかしま）園地（デイキャンプ場）　高島

高島園地（デイキャンプ場）は、広大な土地でピクニックやキャンプ等ができます。

アクセス　徒歩/高島港より20分
場　所　佐世保市高島町
問い合わせ　0956-24-1111（佐世保市公園緑地課）

自然・公園

冷水岳公園（ひやみずだけ） 小佐々

標高320m、冷水岳の山頂付近にある公園で、展望台からは、九十九島北部や平戸島、佐世保市中心部方面などを見渡すことができます。園内には芝生広場、遊具広場、展望台と、農産物など地元の物産を販売する「冷水岳ふるさと物産館」があります。また、クロマツが林立しており、4月中旬～5月初旬には、ヒラドツツジ、クルメツツジ、シバザクラ、5月下旬～6月上旬にはヤマツツジが咲く名所になっています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 佐世保市小佐々町矢岳1618-12
問い合わせ **0956-22-6630**（佐世保観光情報センター）

大悲観公園（だいひかん） 小佐々　名勝（国指定）　平戸八景

自然豊富な公園で、樹林を活かした散策・休憩施設をはじめ、遊戯施設や運動施設などがあります。公園のシンボルは2対がそびえる大岩です。その1つで、高さ20mの大砂岩には、10代目平戸藩主松浦煕（ひろむ）公（観中公）が彫らせたと言われる「大悲観」の大文字があります。この風景は「平戸領地方八奇勝図（平戸八景）」のひとつです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより10分
場　所 佐世保市小佐々町小坂34-1
問い合わせ **0956-22-6630**（佐世保観光情報センター）

長串山公園（なぐしやま） 鹿町

標高234mの長串山に広がる公園です。4月から5月にかけて「長串山つつじまつり」が開催され、10万本のツツジが山の斜面を朱色に染める風景や、眼下に広がる九十九島北部の眺望はまさに絶景です。公園内には100mの「ローラー滑り台」やたくさんの遊具がある「ちびっ子広場」や食事ができる「ビジターセンター」があり、4月から9月にかけては「キャンプ場」も開設され、家族で楽しむことができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市鹿町町長串174-12
休　み 木曜日
問い合わせ **0956-77-4111**（長串山公園）

日本本土最西端の地（神崎鼻（こうざきばな）公園） 小佐々

東経129度33分、北緯33度12分に位置し、日本本土最西端のシンボル塔がそびえる神崎鼻（こうざきばな）は、西海の海に抱かれた景勝地。西北の海上に五島列島、平戸島を望むことができます。この周辺は絶好の釣り場としても知られ、休日は磯釣り客で賑わいます。

小佐々町公民館
（平日8:30～21:00、土日祝日9:00～21:00）
おさかな広場
（火曜日休み、10:00～18:00）
「日本本土最西端訪問証明書」発行施設
小佐々支所（土、日祝日、年末年始休み、8:30～17:15）
九十九島漁協（土、日祝日、8/14～8/16、12/31～1/5休み、8:30～17:00）
九十九島漁協販売所（水曜日休み、9:00～17:00）
佐世保観光情報センター（年中無休、9:00～18:00）

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより25分
場　所 佐世保市小佐々町楠泊354-1
問い合わせ **0956-22-6630**（佐世保観光情報センター）

明星公園（めいせい）（明星憩いの広場） 鹿町

鹿町の中心部から小佐々、佐世保中心方面へ通じる県道139号線の明星峠にある公園で、九十九島北部や平戸島を間近に望むことができます。県道139号線は登りや下り、また曲がりの多いルートのため交通量が少なく、知名度は高くありませんが隠れた絶景ポイントです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市鹿町町上歌ヶ浦

施設

高島漁業体験館 高島

漁業体験や高島の豊かな自然を楽しむために建てられた施設です。地元の方々と一緒に地引網体験や、ちくわづくりなど、様々な体験ができます。

アクセス 徒歩/高島港より10分
場　所 佐世保市高島町　**問い合わせ** **0956-48-2973**（内野）

九十九島漁協直販所こさざ 小佐々

漁港で水揚げされた新鮮な海産物を原料にした加工品が直売されています。日本一の生産量を誇る「九十九島いりこ」や、その加工品がお手頃価格で購入できます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
場　所 佐世保市小佐々町楠泊1837　**営業時間** 9:00～17:00
定休日 日祝日、年末年始、お盆他（定休日は随時変わることがあります）
問い合わせ **0956-69-3145**

長崎鹿町ウィンドファーム（しかまち） 鹿町

長崎県における初の大規模ウィンドファームです。15基の風車があり出力は15,000kw。一般家庭約8,000世帯分の年間消費電力量に相当します。平成17（2005）年2月から営業、運転を開始しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市鹿町町鹿町

佐世保魚市場株式会社 相浦

早朝4時半と6時半から、セリが開催されます。近海で水揚げされたばかりの新鮮な魚介類が一面に並び、威勢のいい掛け声で競り落とされる様子を間近で見る事ができます。セリには参加できませんが魚市場で働く方が、魚の名前やセリの仕組みについて教えてくれることもあります。セリの見学を楽しんだ後は、魚市場内にある直営の「もったいない食堂」やお食事処で新鮮な魚料理の朝食を食べることができます。

アクセス 車/西九州自動車道 相浦中里ICより10分
場　所 佐世保市相浦町1563　**定休日** 日祝日、年末年始、お盆
問い合わせ **0120-58-0343**

迎（むかえ）パールマリン 鹿町

貸し船、大型釣船、移動式イカダなどで海釣りが楽しめます。貸切の場合、バーベキューも可能なのでレクレーション等に最適です。移動式イカダには、トイレ、給湯設備、休憩小屋が設置してあり、女性・子どもも安心して楽しめます。釣り道具の貸し出し、エサ、氷の販売もあります。釣りをメインに、海水浴、クルージング等の色々な楽しみ方の相談に応じてくれます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより25分
場　所 佐世保市鹿町町口ノ里580-2
定休日 8/13～15、1/1～3
料　金 移動式イカダ・大型釣船　他船種各種あり
大人5,200円～　小人4,200円～
問い合わせ **0956-66-2334**（8:30～17:00）※完全予約制

施設

冷水岳ふるさと物産館（ひやみずだけ） 小佐々

農産物など地元の物産を販売する施設です。この施設は地元の農業婦人部「あざみ生活改善グループ」が運営しています。グループが開発した「イリコ味噌」（国土庁長官賞受賞）の販売や、いりこだしうどんや押しずし、コーヒーなどの軽食があります。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 佐世保市小佐々町1618-12　**営業時間** 8:00～17:00
定休日 火曜日（年末年始、ゴールデンウィーク中は営業）
問い合わせ **0956-69-3255**

ジャンボフィッシング村 鹿町

自然の入り江を利用した大型海洋釣堀です。子どもや女性でも安心して釣りが楽しめ、マダイやシマアジ、メジナ、青物等を釣ることができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市鹿町町長串1-7
営業時間 4月～10月7:00～17:00　11月～3月8:00～17:00
定休日 金曜日（祝日の場合は営業します）
料　金 大人 1,500円～　**問い合わせ** **0956-77-4951**

祭事・イベント

長串山つつじまつり（なぐしやま） 鹿町

4月初旬～5月初旬、クルメツツジ、ヒラドツツジを中心とした長串山の10万本のツツジが一気に見頃を迎えます。期間中、フリーマーケットやライブなど様々なイベントが開催されます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
場　所 佐世保市鹿町町長串174-12　**開催期間** 4月上旬～5月上旬
料　金 公園施設利用料：高校生以上500円（中学生以下無料）
15名以上の団体400円、障がい者250円、シルバー（70歳以上）400円
問い合わせ **0956-77-4111**（長串山公園）

愛宕祭り 愛宕市（あたご） 相浦

愛宕祭りは、慶長年間にはじまった440年以上の歴史を持つお祭りです。愛宕山山頂の祠で愛宕勝軍地蔵がご開帳され、多くの人が無病息災を祈願します。愛宕山登山口を中心とした商店街では愛宕市が立ち、植木・陶器・竹製品・花園芸・菓子・玩具日用品・金物などの店で賑わいます。

アクセス 車/西九州自動車道 相浦中里ICより5分
場　所 佐世保市相浦町
開催期間 愛宕祭り2/24～2/26　愛宕市2月下旬週末
問い合わせ **0956-47-2754**（愛宕祭協賛会・相浦商工振興会）

特産品・名産品・グルメ

九十九島いりこ

佐世保市はいりこの生産量が日本一。中でも小佐々町は日本有数の生産地のひとつです。九十九島の海で揚がったばかりのカタクチイワシを新鮮なまま加工するので、そのまま食べても出汁に使っても旨みがしっかり出ます。加工品も多数あります。

高島ちくわ

九十九島のひとつ、高島でひとつひとつ手作りで生産。エソ、アジを贅沢に使用し、無添加でつなぎも不使用。香りが濃厚で歯ごたえのある食感です。

鹿町海洋スポーツ基地（しかまち） 鹿町

海洋レジャーの拠点施設としてシーカヤック体験、自然体験プログラムへの参加、海辺でのキャンプ、夏場の海水浴などが楽しめます。また、研修会場としても利用できます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 鹿町町下歌ヶ浦776-18
営業時間 9:00～17:00　**定休日** 12/29～1/3
料　金 カヤック　大人シングル150円～（120分）
キャンプ1区画　1泊2,360円　日帰り1,570円（高校生以下半額）
問い合わせ **0956-73-2050**

鹿町温泉 やすらぎ館（しかまち） 鹿町

泉質はナトリウム炭酸水素塩泉で、かけ流しの温泉です。ぬるぬるとした手触りで肌の脂肪分や分泌物を良く落とすことから「美人の湯」とも呼ばれます。大浴室の他、普通浴室が2つあり、週ごとの男女交替制です。全身浴や冷水浴をはじめ、ドライサウナとミストサウナもあります。普通浴室の他に健康浴室があり、流水プールや水流で身体をマッサージするアクアビューティー、アクアファイブを備えており、トレーニングやリラクゼーション、フィットネスなど目的に応じて楽しめます（水着着用）。また、食堂大広間と、地元のとれたて野菜や水産物の直売所を併設しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
場　所 佐世保市鹿町町土肥ノ浦169-2
営業時間 10:00～21:00　**定休日** 木曜日（祝日の場合は営業します）
料　金 大人 660円（高校生以上）　中学生 460円　小人 330円（3歳～中学生）
問い合わせ **0956-66-2617**

九十九島北部（くじゅうくしま）エリアマップ

鯛の塩釜焼き

九十九島の新鮮な鯛を丸ごと塩で包み、焼いて旨みを閉じ込めた佐世保の特産品。食べる直前に小槌で割ると、ふっくらした鯛の身が。お祝いや贈答用にも人気です。

6 もてなしの時を重ね心を束ねた笑むかえ。

江迎（えむかえ）

平戸往還の宿場町として栄えた時代の伝統や風習を、今も大切に受け継いでいる江迎町。春は福を招く色とりどりの繭玉が軒先で風に揺れ、夏は約500年続く「水かけ地蔵まつり」や高さ25mのタワーに火が灯る「千灯籠まつり」で賑わいます。江戸時代、平戸のお殿様が参勤交代などの折に休泊した「江迎本陣跡」は往時の佇まいを残し、本陣屋敷の当主・山下家は平戸藩御用達の造り酒屋としてはじまり現在も歴史を刻み続けています。

江迎　佐世保市北部に位置する江迎町は、県指定史跡の「江迎本陣跡」があり、歴史の浪漫が漂う風情ある町です。また、周囲を木立に囲まれた落差20mの「潜龍ヶ滝」など、自然に親しめるスポットです。三方を山に囲まれ、江迎川とその支流沿いに水田地帯と市街地が広がる他は、平坦地に乏しい地形になっています。江戸時代には、平戸往還の宿場町として栄えました。その後は、昭和8（1933）年に住友潜竜炭鉱、同10（1935）年には日窒江迎鉱業所が潜竜に開鉱し、炭鉱の町となりました。昭和30（1955）年には人口18,000人を超えましたが、同40年代に炭鉱が閉山し人口が減少。現在の人口は5,292人（令和元年5月31日）で、平成22（2010）年に佐世保市に合併しました。

史跡・旧跡

江迎本陣跡（えむかえほんじんあと）　史跡（県指定）

江迎本陣跡は、平戸藩主の参勤交代等の往路第一夜、復路最終夜の宿泊本陣として利用されてきました。本陣の成立については、元禄年間には機能していたと推測され、現在の本陣は、天保元（1830）年から改築と築庭を始め、天保3（1832）年に完成しています。御成（おなり）門を入ると左手から式台の間（12畳）、次の間（8畳）、重臣控えの間（8畳）、奥の間（8畳）が南北に直列して並び、右手に次の間（8畳）と1段高くなった藩主専用の座敷・御成の間（8畳）があります。御成の間の背後には、藩主専用の小屋が付随し、風呂と雪隠（せっちん）があります。座敷の南北に縁が走り、裏山の崖を利用した庭園と池からなる築庭があり、現在では珍しい水琴窟（すいきんくつ）が見られます。本陣の形態をそのまま保存しているのは県内でも他に類がなく、貴重なものです。

山下家のもと蔵　有形文化財（県指定）

山下家は街道筋にあって、藩主松浦公の宿泊の本陣に当てられていました。酒造は江戸時代元禄元（1688）年の創業といわれています。この建物は創業当初のものと言い伝えられており、山下酒造家発祥の建物として、よく保存されています。1~2階を貫通する黒松で作られた、7.5mの巨大な通し柱を中央部に立て、傘型の屋根を一本柱だけで支えている極めて特長のある構造です。柱を少なくして、作業を便利にするための工夫であったと思われます。本瓦葺、下屋桟瓦葺で、内部は一部改造や若干の補強改修が認められますが、旧態はよく残されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
鉄道/松浦鉄道「江迎鹿町駅」より徒歩10分
場　所 佐世保市江迎町長坂208
見学時間 平日9:00～16:00　土日祝日10:30～16:00（前日まで予約）
定休日 年中無休
料　金 ●本陣屋敷　大人（高校生以上）200円
20名以上団体大人（高校生以上）100円
●山下家もと蔵　無料
問い合わせ 0956-65-2209（潜龍酒造株式会社）

潜龍ヶ滝／潜龍水（せんりゅうがたき／せんりゅうすい）　名勝（国指定）　平戸八景

潜龍ヶ滝は高さ約20m、滝つぼの深さ約6mの滝で、男滝と女滝に分かれており、その名前のとおり、竜神が潜んでいたかのような神秘的な風情を感じさせます。平戸八景の一つに数えられるこの滝は、文政12（1829）年、平戸藩主松浦熙（ひろむ）公（観中公）が「潜龍」と命名し、周辺を神域と定め、鳥居、石垣などを整備したと言われており、今も鳥居にかけられた観中公直筆の石額が、二基の石灯篭と共に残されています。またこの一帯は、現在、県立自然公園に指定されており、春の新緑、秋の紅葉など四季折々の自然を楽しませてくれます。

アクセス 鉄道/松浦鉄道「潜竜ヶ滝駅」より徒歩30分
場　所 佐世保市江迎町田の元659-1
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

江迎本陣の螺鈿細工「枕水舎」附由来書一通（えむかえほんじんのらでんさいくちんすいしゃつけたりゆらいしょいっつう）　有形文化財（県指定）

本陣の御成の間は、平戸藩第10代藩主松浦熙（ひろむ）によって「枕水舎」と命名されました。江戸勘亭流（えどかんていりゅう）の大家だった松浦熙は命名した「枕水舎」の名を自ら書き、螺鈿細工を作らせました。螺鈿細工は横78cm、縦47cmの扁額（へんがく）であり、裏面には天保3（1832）年の年号とともに、松浦熙の銘が残っています。螺鈿細工は朱漆地（しゅしっち）に大きな貝片で文字を表しており、当時としては珍しい技法を使用しています。長崎の螺鈿細工職人の手によるものと推定される由来書が残されていることも貴重です。

寿福寺（じゅふくじ）

真言宗智山派栄久山寿福寺（しんごんしゅう ちさんは えいきゅうざん じゅふくじ）。平戸藩主松浦鎮信の命により天正11（1582）年、早岐に創建し「長福寺」と称号していましたが、寛永12（1635）年、松浦藩主の祈願寺として現地に移築しました。「長福」は徳川八代将軍 吉宗の嫡男 長福丸（九代将軍・家重）と同名で差し障りがあるため、享保2（1717）年に「寿福寺」と改名し、幕府に敬意を表しました。本尊は釈迦三尊が鎮まり、子どもが群がって遊んでいる水掛地蔵の信仰は、無垢な子どもの心にまで薫習（くんじゅう）しています。京都の庭師による庭園は見事で、初夏は逆さ新緑、秋には逆さ紅葉が期間限定で一般公開（有料）されます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
鉄道/松浦鉄道「江迎鹿町駅」より徒歩15分
場　所 佐世保市江迎町長坂276
問い合わせ 0956-65-2040　**見　学** 要問い合わせ

自然・公園

江迎中央公園

江迎町中心街に隣接する高台に位置し、庄屋跡、江迎小学校跡地であるため樹木や石段にも歴史を感じます。8月には江迎千灯籠まつりのメイン会場となり多くの人々で賑わい、一角には「吉田松陰の腰掛石」があります。松陰は21歳のときに平戸へ遊学。その際、江迎に逗留（とうりゅう）しました。平戸往還の峠越えに疲れ切った松陰が、庄屋屋敷に着いて思わず腰掛けたと伝えられています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
鉄道/松浦鉄道「江迎鹿町駅」より徒歩10分
場　所 佐世保市江迎町長坂320
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市公園緑地課）

施設

潜龍酒造（せんりゅうしゅぞう）

元禄元（1688）年、平戸藩の七浦奉行を務めていた初代山下庄左衛門が藩命により酒造業を営み始め、現在13代目です。創業当時からの伝統的技法を守り続け、仕込みは10月から始まり3月頃まで行われます。敷地内の豊富な湧き水と契約栽培した米（山田錦）など地元の素材を吟味して使用し、また、吟醸のもろみ造りはゆっくり丁寧に発酵させて木槽（きぶね）しぼりという昔ながらの手法で搾るなど熟練の技が受け継がれています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
鉄道/松浦鉄道「江迎鹿町駅」より徒歩10分
営業時間 平日8:15~16:45　土、日祝日10:30～16:00
定休日 年中無休
場　所 佐世保市江迎町長坂209
問い合わせ 0956-65-2209

入り江で迎えるまちの駅 おおたや

古くから江迎地域の暮らしとともにあった「太田精米所」をリノベーション。古民家としての良さを活かした、地域住民が主体となる「観光まちづくり」の拠点施設です。観光客の皆様へのおもてなし、地域住民との交流など様々な役割を担っています。店名には、“～におうたや？（～に会いましたか？の方言）”と飛び交う場所になるようにとの願いがこもっています。

アクセス 車/西九州自動車道佐々ICより15分　鉄道/江迎鹿町駅より徒歩8分
場　所 佐世保市江迎町長坂129　**営業時間** 10:00~16:00　ランチ11:00~14:00
定休日 日曜日　**問い合わせ** 0956-80-4279

江迎町農産加工所 よもぎ会

江迎町のお母さんたちが地元食材を使って郷土料理やお菓子、お弁当を作っています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより25分
場　所 佐世保市江迎町長坂105
営業時間 水・木・金・土曜日6:00~15:00（日によって変更あり）
定休日 日～火曜日
問い合わせ 0956-65-2420（朝永）

特産品・グルメ・名産品

「ヘルシー肉の王様」江迎産しし肉

江迎町では、有害鳥獣有効利用施設を整備し、イノシシ肉を販売しています。野生の小型のメスに限定しており、特産品として町の活性化につなげようと取り組んでいます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
場　所 佐世保市江迎町
問い合わせ 0956-65-2434（山下商店）

祭事・イベント

江迎千灯籠まつり（えむかえせんとうろう）

毎年、8月23日・24日の2日間、賑やかに開催される「江迎千灯籠まつり」。まつりの大きな見どころが「水かけ地蔵まつり」。「わっしょい、わっしょい」の掛け声も賑やかに、子どもたちが神輿にのせた木彫りのお地蔵様をかついで寿福寺の山門から嘉例川へ。川で子どもたちは神輿をおろし、お地蔵様に元気よく水をかけます。そのあと子どもたちはお地蔵様をかついで町を練り歩き、各家々ではタライやひしゃくを持ち出して子ども達に水をかけ、無病息災を祈願します。この「水かけ地蔵まつり」には、灯籠を各家庭の軒先に飾ったり、お寺の参道に奉納するという風習があり、その数が次第に増え、いつしか「千灯籠」と呼ばれるようになったと言われています。平成元（1989）年には「日本一に挑戦」と銘打ち、日本一高いと言われる灯籠タワーづくりに成功（高さ25m）。それまで1,200個だった街路の灯籠も人々の協力により約10,000個に増えており、その数でも日本一となっています。

開催期間 8/23・24
アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
鉄道/松浦鉄道「江迎鹿町駅」より徒歩5分
場　所 佐世保市江迎町商店街一帯
問い合わせ 0956-66-3700（江迎千灯籠まつり実行委員会）
※この番号は祭り期間前後で開設されます。

体験

黒大豆農業体験・黒大豆オーナー制度

黒大豆のオーナーになって、収穫、加工等の体験ができます。収穫した黒大豆はお持ち帰りできます。
7月　種まき
10月　枝豆収穫、畑の抽選　※毎年の収穫量によって、体験やオーナー制度の受け入れ可能人数が上下する可能性があります。
12月　黒大豆収穫

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 佐世保市江迎町奥川内253-6
主催者 江迎グリーンツーリズム推進協議会
問い合わせ 0956-66-9334（事務局 横松）

さるなし狩り農業体験「おにづきマタタビの里」

さるなしの収穫体験ができます。収穫したさるなしを使いジャム作り体験もできます。またたびの実の焼酎漬けは珍しくておいしいです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
期　間 7月～12月頃（要予約）　**場　所** 佐世保市江迎町志戸氏
問い合わせ 0956-66-3052（森）

江迎（えむかえ）エリアマップ

7 浦々に恵みをもたらす、豊穣の里山。

吉井・白岳高原
世知原・柚木

山麓に実り豊かな里山が広がるこのエリアでは、棚田米にお茶、イチゴやメロン、黒大豆など様々な農作物が作られています。それは、人と自然との共生によって生み出されたもの。また、明治から大正にかけて造られた石造りのアーチ橋が世知原町と吉井町に点在し、当時の炭鉱町の面影と石工職人の心意気を感じることができます。そのほとんどが今も道路として使用されており、おだやかな田園風景に溶け込んでいます。

吉井　まわりを山に囲まれた吉井町は、豊かな自然に恵まれ、太古の遺跡を随所に残している町です。明治22(1889)年の町村制度の施行により、吉田村と福井村を併せて吉井村となりました。その後、吉井町となり、平成17(2005)年に佐世保市と合併しました。産業はかつて北松炭田からの石炭産出で栄えましたが、エネルギー革命の余波を受けて昭和40年代までに相次いで閉山。その後は、イチゴ・メロンの町として知られるようになりました。

世知原　国見山とそれに連なる山々を源流とした佐々川が流れる世知原町は、自然豊かな山あいのまちです。明治時代以降に架けられた風情ある石橋が町の随所に見られ、また、高冷地の気候をいかした世知原茶や野菜の生産も盛んです。世知原町もまた石炭産業で栄えましたが、昭和40年代の閉山後は、石炭輸送を行っていた国鉄世知原線も廃止。その後は、製茶業が産業の中心となり、平成17(2005)年に佐世保市と合併しました。

史跡・旧跡

御橋観音／石橋 吉井

天然記念物(国指定)　名勝(国指定)　平戸八景

真言宗智山派石橋山御橋観音寺(しんごんしゅう ちさんは せっきょうざん おはしかんのんじ)です。名僧行基(ぎょうき)が海底で光を放つ大木から三体の観音像を敬刻し、開眼供養した一体が御橋観音に祀られたという伝記があり、現在まで信仰の霊地として栄えています。境内の奥には天然の石橋が二条並んでおり、平戸八景の一つとして知られています。また、境内のシダ植物群落は珍しく、国の天然記念物に指定されています。春は桜、秋は紅葉の名所ともなっています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより16分
鉄道/松浦鉄道「吉井駅」より徒歩30分
場　所 佐世保市吉井町直谷94
問い合わせ 0956-64-2176(御橋観音寺)

樋口橋 吉井

有形文化財(市指定)

佐々川に架かる樋口橋は町の中心にあって交通の要所です。その姿は、皇居の二重橋を模して造られたと言われていますが、近年の研究では日本橋を模した可能性が高いことが指摘されています。長さ36m、幅6.4mで大正11(1922)年3月に完成。その後、昭和42(1967)年7月の集中豪雨による佐々川の氾濫で石造りの欄干は流失しましたが、橋の本体にはほぼ影響はありませんでした。このことは、当時の築造技術が高度なものであったことをうかがわせます。吉井町には数々の石橋がありますが、アーチ部分が二つある「眼鏡橋」構造のものは樋口橋だけです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより12分
鉄道/松浦鉄道「吉井駅」より徒歩5分
場　所 佐世保市吉井町大渡、立石
問い合わせ 0956-24-1111(佐世保市文化財課)

弦掛観音 世知原

真言宗智山派弦掛山西福寺(しんごんしゅう ちさんは つるかけさん さいふくじ)です。巨大な岩に囲まれた洞穴にひっそりとたたずむ弦掛観音。地元の方々からは「つるかけさん」の愛称で親しまれています。この地名は天正9(1581)年の平戸松浦氏と島原の有馬氏の戦いの時、この場で弓に弦を掛け戦った事に由来。奥の院は、高さ10数mの洞穴に取り囲まれ厳かな雰囲気が漂います。この山は千年以上の昔から、山伏がこの巨大な岩屋のなかに庵を結んで修行した行場だったと伝えられています。安永2(1773)年開山。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより25分
バス/西肥「世知原」徒歩30分
場　所 佐世保市世知原町矢櫃25-2
問い合わせ 0956-76-2709(弦掛山西福寺)

直谷城跡 吉井

史跡(県指定)

直谷城は、松浦党を代表する在地領主 志佐氏の居城。志佐氏は日本及び朝鮮の中世文書に名が登場し、7代 重(かさね)と8代 義(よろし)の時代(1400年代)には、東シナ海を舞台に朝鮮や琉球国との海上交易を活発に行っていました。所領は志佐(現松浦市)を本拠としていましたが、戦国時代に志佐の陣の内城から直谷城へ本拠地を移したと考えられています。戦国期、龍造寺・大村連合軍や(平戸)松浦隆信に攻められ、ここに長く立て籠もって戦っていたようです。最終的に、この地の覇権は戦国大名となった松浦隆信に移り、その後、元和元(1615)年、一国一城令によって廃城となりました。城跡は福井川の右岸にそびえる高さ50mの懸崖上にあり、頂部の主郭跡には天守台や建物跡、そのほか井戸跡、門跡、四重の土塁など、当時を偲ばせる遺構が残され、中世山城の特色をよく示しています。また、平安時代の末期、安徳天皇が一時ここに隠れ棲んだという言い伝えがあり、「内裏山城」の別名もあります。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより25分
鉄道/松浦鉄道「潜竜ヶ滝駅」より徒歩20分
場　所 佐世保市吉井町直谷1007-134
問い合わせ 0956-24-1111(佐世保市文化財課)

福井洞窟 吉井

史跡(国指定)

旧石器時代から縄文時代への過渡期の文化層(人類が居住地として利用した遺跡)が認められた遺跡。佐々川支流の福井川に面し、西向きに開いた間口12メートル、奥行6メートル、高さ3メートルの岩陰状の洞穴で、稲荷神社の境内にあります。地元の郷土史家・松瀬順一氏が稲荷神社の改修工事の際に石器を発見して遺跡の存在を広めました。昭和35(1960)年から昭和39(1964)年にかけて芹沢長介氏らにより3回の発掘調査が行われ、最下層からは3万年以上前の石器が出土しています。その後、半世紀ぶりに平成24(2012)年から約1年間、再発掘調査が行われました。国内の旧石器遺跡では初となる炉の跡と石敷きのような箇所が見つかり、生活の場として洞窟に定住していた可能性を示しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
バス/西肥「下福井」徒歩3分
場　所 佐世保市吉井町福井字岩下1013
問い合わせ 0956-24-1111(佐世保市文化財課)

史跡・旧跡

佐々川の石橋群 世知原・吉井

有形文化財(市指定)

世知原町・吉井町には、明治後期から昭和にかけて架けられた石橋が数多く残り、約100年経過した今も、人々の往来を支えています。佐々川流域に石橋が集中しているのは、豊富な石材が採れたことに加え、優秀な石工たちの存在があったからだと言われています。ひときわ目立つ「倉渕橋」は橋長20.6m、幅4.6m、長崎県最大級の単一アーチ橋です。アーチ式石橋群のうち、倉渕橋をはじめとする、アーチ橋24橋、桁橋1橋が市指定文化財に指定されています。

〈倉渕橋〉
アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
バス/西肥「世知原」徒歩5分
場　所 佐世保市世知原町栗迎
問い合わせ 0956-24-1111(佐世保市文化財課)

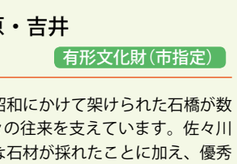
倉渕橋
架橋：大正8(1919)年　橋長：20.6m
長崎県単一アーチ石橋では最長を誇ります。橋の下へは車椅子でも下りることができます。

桐ノ木橋
架橋：大正15(1926)年　橋長：5.7m
洞禅寺からさらに100m近く登った右手下にあります。アーチや欄干は架橋当時のままで、周囲の棚田の風景とよくマッチした石橋です。

奥ノ口橋
架橋：大正15(1926)年　橋長：3.4m
弦掛観音裏の公園の奥にあります。豪雨で片スパンが壊れていますが、今なおしっかりと川をまたいでいます。山道をおりていくと滝と一緒に眺められます。

旧松浦炭坑事務所(世知原炭鉱資料館) 世知原

有形文化財(県指定)



大正元(1912)年頃、北松炭田の一つ、松浦炭鉱の事務所として建造されたもので、砂岩ブロック石造洋風建築で、砂岩は近郊で産出したといわれています。現在は炭鉱資料館として使われており、当時の人達が石炭を掘るのに使った道具や生活用品、農機具、古書、石器、土器が分かりやすく展示されています。また、長崎県北地域に唯一現存する石造洋風建築です。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
バス/西肥「世知原小学校前」徒歩2分
場　所 佐世保市世知原町栗迎83-5
営業時間 9:00～17:00
休館日 12/29～1/3
問い合わせ 0956-76-2279(佐世保市社会福祉協議会世知原支所)

自然・公園

牧の岳公園 吉井

御橋観音を中心とした公園周辺は四季折々の自然が見事で、春は桜、秋は紅葉のスポットとして知られています。里山にはハイキングコースがあり、自然とのふれあいや、森林浴に利用されています。駐車場や休憩所が完備された「ふれあい広場」にはローラー滑り台やコンビネーション遊具があります。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより18分
鉄道/松浦鉄道「吉井駅」より徒歩30分
場　所 佐世保市吉井町前岳161-1
問い合わせ 0956-64-3111(佐世保市吉井支所)

吉井のアーチ橋梁群 吉井
吉井川橋梁、吉田橋梁、福井川橋梁

日本遺産構成文化財　登録有形文化財(国登録)

①吉井川橋梁　石炭輸送を主な目的として建設された、伊万里と佐世保を結ぶ旧伊佐線に架かるアーチ橋梁です。松浦鉄道西九州線、吉井駅～潜竜ヶ滝駅間に架けられており、昭和19(1944)年に完成。橋長46m、スパン10m規模の充腹式コンクリート造4連アーチ橋で、川に対してやや斜めに架かっており、橋脚は末広がりの形状で上流側に水切りがついています。

②吉田橋梁　吉井川橋梁の約500m北方に位置します。昭和14(1939)年完成。橋長58m、スパン10m規模のコンクリート造5連アーチ橋で、半円アーチを用いた充腹式の橋ですが、アーチ上面から橋面までの高さを抑え鈍重さを和らげてあります。

③福井川橋梁　福井川に架かり、吉田橋梁の約500m北方に位置します。昭和17(1942)年完成。スパン20mのコンクリート造3連アーチの西側に鉄筋コンクリート造の単桁を架けた橋長68mの橋梁です。スパンドレルに連続アーチを穿ち、躯体軽量化と資材減量化を図っています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分～20分
鉄道/松浦鉄道「潜竜ヶ滝駅」より徒歩5分～10分
鉄道/松浦鉄道「吉井駅」より徒歩10分～15分
場　所 佐世保市吉井町前岳、直谷
問い合わせ 0956-24-1111(佐世保市文化財課)

参考コラム
これらの橋梁が架橋された時期は戦時中で鉄材の不足していた時期であることから、架橋時の骨組みに鉄筋ではなく竹を用いた竹筋コンクリートだという地元住民の証言がありました。事実だとすれば日本国内の現在使われている鉄道橋としては他に類例がないため、松浦鉄道が平成14(2002)年から調査を開始。平成18(2006)年2月には工学院大学に依頼して橋梁内部の調査を行いました。その結果、竹筋使用については確認はできませんでしたが、使用された可能性は残されているそうです。

ポットホール公園 吉井

佐々川の美しい自然を活用して整備された全長500mの公園で、平成3(1991)年5月にオープンしました。公園の名称は、この場所にポットホール(甌穴(おうけつ))群が無数にあることからつけられました。ちなみに「ポットホール(甌穴)」とは、世界共通の地学用語で河床の岩石などにできる円筒状の穴のことです。河床の岩盤の割れ目や窪んだところに渦流が生じ、そのエネルギーで浅い小さな穴ができ始め、そこに小石がはまって穴が削られていきます。長い年月をかけてこれを繰り返すうちに、でき上がっていくのが円筒状の穴である「ポットホール」です。河川の上流や中流の流れが速くて岩盤のあるところにできやすいようで、この公園には640余りのポットホールが確認されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
鉄道/松浦鉄道「吉井駅」より徒歩15分
場　所 佐世保市吉井町大渡
問い合わせ 0956-64-3111(佐世保市吉井支所)

五蔵岳森林公園（五蔵大池） 吉井

吉井町の南部に連なる五蔵岳の麓にある公園です。五蔵岳は、火山によって形成された山形で、この麓には五蔵大池があり、噴火口の跡ではないかと言われています。

ハマダイコンの自然景観：通常は浜辺にしか咲かないハマダイコンがこの地に自生し、ほぼ毎年4月下旬頃から白い（極淡いピンク）花を一面に咲かせます。深緑と白のコントラストが美しく、また、大池を覆う白い絨毯（じゅうたん）を思わせます。

アキニレ群生の自然景観：アキニレはニレ科の落葉高木で、本州中部以西の各地の河辺に生育していますが、群生状態で残っているものは殆どなく、五蔵池に群生しているアキニレは大変珍しいものです。雨期には根元が水没し、神秘的な風景となります。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより35分
車/西九州自動車道 佐世保中央ICより40分
場　所 佐世保市吉井町上吉田
問い合わせ 0956-64-3111（佐世保市吉井支所）

白岳自然公園 江迎

白岳高原では、四季折々の美しい自然を堪能することができます。白岳は標高373m。その頂上からは、伊万里湾、平戸の瀬戸、九十九島、五島列島が一望でき、雄大な眺めです。登山道は健脚コースとファミリーコースがあり、自然観察を兼ねたハイキングやピクニックなどに最適です。白岳高原の裾野には、白岳湖を中心とした白岳自然公園が整備され、アクティブに楽しめる施設が充実しています。車を横付けしてアウトドアライフが満喫できるオートキャンプ場、フリーテントサイト、そして常設テントも設置されています。さらに、グラウンドゴルフやバドミントンが楽しめる多目的広場、ターザンロープ、アパッチトリデなどの遊具が揃った冒険広場、展望広場、菖蒲園、冒険の広場と多目的広場を結ぶフロート橋等々、アクティブに自然を楽しめます。また、その一角にある「ギャラリー&カフェ風の高原」では地元食材にこだわったメニューが提供されます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより45分
場　所 佐世保市江迎町奥川内253-6
営業時間 白岳自然公園センター 9:00～22:00
定休日 火曜日、年末年始 白岳自然公園センター以外は通年開放
問い合わせ 0956-66-9334（白岳自然公園センター）
公園施設料金 常設テントサイト1泊 4,190円
フリーテントサイト1泊 2,100円
オートキャンプ場1泊 3,140円
運動広場及び多目的広場（1面あたり）1時間あたり520円

柚木ホタルの里 柚木

川谷ダム上流にあり、毎年5月末から6月末にかけて、ゲンジボタルの乱舞を見ることができます。周辺には深い森が広がり自然豊かな場所です。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより30分
バス/西肥「柚木」徒歩60分
場　所 佐世保市川谷町
問い合わせ 0956-46-1031（柚木地区公民館）

国見山とアカガシの原生林 世知原

県北地区の最高峰、標高776.2mの国見山。山頂の展望台からは360度の眺望が広がり、天気の良いときは五島列島や雲仙、阿蘇までも見渡せます。九州自然歩道に位置づけられており、野鳥や植物を観察しながら歩くことができます。また、国見山には貴重なアカガシの原生林が現存し、登山道を歩くだけでアカガシの大木に出あうことができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより40分
場　所 佐世保市世知原町開作
問い合わせ 0956-76-2211（佐世保市世知原支所）

赤木場の山桜 世知原

世知原町の赤木場地区は、春は山桜が咲き夏はホタルが舞う自然豊かな地域です。およそ100年前に地元の方々によって植えられた山桜が今では立派に咲き誇り、訪れる人々の目を楽しませてくれます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 佐世保市世知原町赤木場
問い合わせ 0956-76-2211（佐世保市世知原支所）

西光寺のオオムラザクラ 柚木

天然記念物（県指定）

西光寺には樹齢260年以上のオオムラザクラが植栽されています。これは宝暦3（1753）年頃に平戸藩主から拝領したもので、平戸の亀岡神社から株分けしたと考えられています。また、里桜の変種で、花弁（60～200）が非常に多いのが特徴です。咲き方も独特で、外花と内花に分かれた花が順に開きはじめる二段咲きをします。二段咲きをする桜は珍しく、希少です。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより25分
場　所 佐世保市柚木町3213
問い合わせ 0956-46-0011（東嶽西光寺）

藤山神社の大フジ 小舟

天然記念物（県指定）

樹齢500年になる長崎県最大級のフジです。神社が創建されたとき、自生していた山フジがそのままとり残されたといわれています。開花時期は5月上旬。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより25分
バス/西肥「藤山神社入口」徒歩2分
場　所 佐世保市小舟町122-5
問い合わせ 0956-46-0762（藤山神社）

ソレイユ吉井（吉井活性化センター） 吉井

地域交流・文化活動など、多目的に利用できる施設。地域特産の新鮮な野菜や加工品など、吉井町をはじめ近隣の農作物が直売されています。食事スペースもあり、観光情報も聞くことができます。
また、多目的ホールや会議室も併設されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより15分
場　所 佐世保市吉井町立石18-1
営業時間 販売・飲食コーナー9:00～18:00　多目的ホール等9:00～21:00
休館日 8/14～16、12/31～1/5
問い合わせ 0956-41-2250

天空の宿 山暖簾 世知原

標高350mの県立自然公園の中に位置し、自然に囲まれた宿泊施設です。レストラン、温泉は、日帰りで利用することができます。この建物は、世界的に有名な建築家黒川紀章氏の総合プロデュースにより、自然と近未来との融合をコンセプトに建てられました。外観は、山並みに溶け込むような緩やかな曲線を持った大屋根。展望テラス、露天風呂、大浴場、客室からは壮大な眺望が満喫できる設計になっています。またコンクリートと暖かみのある木材が調和している館内には、随所に建築家独自のデザインが施されており、芸術性の高い建物となっています。

アクセス 車/西九州自動車道 三川内ICより20分
車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 佐世保市世知原町上野原316
料　金 1泊2食付 12,375円～（1部屋2名以上の場合の1名様料金）
問い合わせ 0956-76-2900

世知原活性化施設「国見の郷」 世知原

農業・農村の活性化を図ることを目的として作られ、交流・集会・実習・文化的イベントなど、多目的に利用できる施設です。世知原茶や世知原米などの特産品を販売し、様々なイベントが開催されます。8月には立派なほおずきが勢ぞろいする「ほおずき市」、11月には蘭の展示即売会もある「寒蘭展示会」や、秋の収穫祭である「トンネルまつり」などです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより30分
場　所 佐世保市世知原町開作1-1
営業時間 9:00～18:00
定休日 月曜日、8/13～16 12/31～1/4
問い合わせ 0956-73-3600

ミルキーウェイファーム 柚木

山中牧場のブランド牛乳を使ったジェラートやパンなど、軽食の販売をしています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより25分
バス/西肥「柚木」徒歩3分
場　所 佐世保市柚木町2274-1
営業時間 10:00～17:30
定休日 木曜日、第2・第4水曜日
問い合わせ 0956-46-1235

農産物直売所「五蔵の里」 吉井

佐世保市と松浦市を結ぶ吉井経由県道40号線沿い、妙観寺トンネルから800m北へ行った所にある直売所。平成11（1999）年12月に地元40戸の農家で開設されました。減農薬栽培に心がけた、安心・安全で新鮮な農産品を安価で買うことができます。特産品のイチゴは12月から5月まで、キンショウメロンは5月上旬から下旬まで販売されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
場　所 佐世保市吉井町乙石尾371-3
営業時間 4月～10月 8:00～18:00　11月～3月 8:00～17:30
休　み 8/14～16、1/1～4
問い合わせ 0956-64-4512

させぼ世知原温泉くにみの湯 世知原

天空の宿「山暖簾」（やまのれん）に併設する温泉施設。ナトリウム炭酸水素塩泉で、疲労回復・健康増進に効果があります。「岩風呂」と「檜風呂」があり男湯と女湯とで一日毎に入れ替わります。檜風呂、岩風呂とも源泉（37.4度）掛け流し式が内風呂に1槽、循環式浴槽が内風呂に3槽、露天風呂に1槽あります。源泉（37.4度）掛け流し式は、温度調整の為加温して浴槽に入れています。その他の浴槽は、除鉄装置などの機材で源泉濾過して循環させており、成分は掛け流し式とほとんど変わりません。

料　金 入浴料 大人660円　小人330円　貸切風呂1時間2,200円
営業時間 10:30～21:30（最終受付21:00）
問い合わせ 0956-76-2900

柚木よかもん市 柚木

柚木にある人気産直ショップで、佐世保市北部の農産物を一堂に集めています。旬の野菜をはじめとした採れたての新鮮野菜や手作り農産加工品などがあり、いずれも品揃えが豊富。商品には生産者の名前が入っており、安心で安全な食材を提供しています。また、毎月第2土曜日は大鍋会も開催しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより25分
バス/西肥「柚木」徒歩3分
場　所 佐世保市柚木町2274-4
営業時間 4～9月 9:00～18:00　10～3月 9:00～17:30
定休日 8/14～16、12/31～1/4
問い合わせ 0956-46-2515

祭事・イベント

御橋観音春祭り（おはしかんのん） 吉井

春の御橋観音を望む牧の岳公園では、約300本の桜を楽しむことができる「御橋観音春まつり」が開催され、五蔵太鼓の演奏をはじめ、様々なイベントが行われます。また、提灯ロードや夜桜見物のため、コタツの貸し出しも行っています。（期間限定、有料）

期　間 3月下旬～4月上旬
場　所 御橋観音公園（牧の岳公園）
問い合わせ 0956-64-2139（吉井町観光協会）

世知原じげもん市 世知原

「じげもん」とは、地元のものという意味。「じげもん市」は毎年5月末の週末に開催されるお祭りで、特産品である世知原茶を中心に、世知原米、板山大根などの農産品や農産加工品を安価で販売するお店が立ち並びます。また、地元の食材をふんだんに使用した「じげもん鍋」のふるまいや、おいしいお茶の淹れ方体験講座などが行われます。

期　間 5月下旬
場　所 世知原町内
問い合わせ 0956-73-3600（世知原じげもん市振興会）

ふるさとよしい市 吉井

吉井地区公民館体育室横広場で、特産のメロンやイチゴの販売を中心に毎年5月に開催。もちまきやよさこい演舞などのイベントも開催され、県内外からの多くの人で賑わいます。

期　間 5月中旬
場　所 吉井町内
問い合わせ 0956-64-2139（吉井ふるさとまつり振興会）

北松浦の収穫儀礼（お蔵入れ）（お蔵入れ） 吉井

無形民俗文化財（国選択）

吉井町上吉田地区に古くから伝わる民俗行事で、毎年12月10日に行われます。この行事は、五穀豊穣、家内安全を祈り、またそれが無事になしとげられたことを祝うものです。供物などを包んだむしろを男女で引き合い、必ず女性が勝って納戸に納めることが命名の由来。神事は素朴でユーモアにあふれており、ほのぼのとした笑いを誘います。「記録保存等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として国の選択を受けています。

開催日 12/10
場　所 吉井町上吉田
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

体験

世知原・吉井サイクリングロード 世知原・吉井

吉井町から世知原町までの長さ6.7㎞、幅4mのサイクリングロードは、線路の跡地に整備されたものです。昭和46（1971）年12月に吉井~世知原線が廃止になるまで、この地域の炭鉱から採取される石炭の輸送路線として、また地域住民の生活列車として運行され、炭鉱全盛期には、乗客や石炭を山ほど積んだ蒸気機関車が走っていました。

問い合わせ 0956-64-3111（佐世保市吉井支所）
0956-76-2211（佐世保市世知原支所）

世知原里山体験 世知原

茶摘みや稲刈りなど、季節ごとにさまざまな農業体験ができます。茶摘みは今では大半が機械での作業ですが、数少ない茶摘み体験ができるのもお茶の産地ならではの魅力です。

問い合わせ 0956-73-3636（世知原グリーンツーリズム推進協議会）
※季節によって体験内容は異なります。事前にお問い合わせ下さい。

佐々川の釣り（さざ） 世知原・吉井

世知原町から吉井町、佐々町を通り、佐々浦にそそぐ県下最長級の佐々川は、春になるとたくさんの鮎が遡上し、毎年、佐々町内外から鮎釣りを楽しむ釣り人が多数訪れます。佐世保市と佐々町の1市1町で構成する「佐々川内水面振興協議会」では、水産動植物資源の保護と培養を目的に採補既定を定めるとともに、鮎、ヤマメ、コイ、シジミなどの放流を毎年行っています。ちなみに鮎の解禁日は、毎年6月1日で、釣りや投網など魚介類を捕獲するには、佐々川内水面振興協議会の許可が必要です。

問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市水産課）
※承認証（または証人札）はソレイユ吉井で入手できます。

特産品・名産品・グルメ

世知原茶 世知原

蒸し製玉緑茶（たまりょくちゃ）。毎年行われているお茶の品評会では常に上位にランクされ、色・味・香り共に揃った銘茶の品質に高い評価を得ています。

板山大根（いたやま） 世知原

世知原町の板山地区で生産される「板山大根」は、柔らかくて、甘みのあるのが特徴です。ふろふき大根、みそ漬け、たくあんなどの漬物をはじめ、冬場のおでんの具としてのおいしさは格別です。世知原町の、標高が高く寒暖の差が大きいという条件が良い品質につながり、高値で取引されています。世知原町の「国見の郷」などで購入することができます。

ガイドの目線

お茶の淹れ方

蒸し製の玉緑茶（たまりょくちゃ）。別名グリ茶である世知原茶のおいしさを、十分に味わえる淹れ方

■湯のみに移す
ポットの湯を一度湯のみにとってください。湯の量が正確に計れ、お湯の温度も下がり、お湯のみも温められます。

■湯の温度を下げる
上級のお茶、下級のお茶で違いはありますが、適温は70~80度くらいです。（かなり上級のものになりますと60~70度くらい）

■茶の葉を入れる
茶葉は1人あたり約2gが適量です。小さじに軽く1杯を目安に人数分急須にいれます。（但し、1人分の場合でも4g程度は入れてください）

■茶湯を注ぎ、蒸らす
湯のみを手に取り、熱いくらいが適温の70~80度です。その冷ました湯を急須に注ぎ、そのまま1分間ほど蒸らします。

■最後の一滴まで注ぎきる
茶を注ぐときは一度に注がず、少しずつ、濃さや量が同じになるように注ぎましょう。左から1・2・3と少しずつ注いだら、次は3・2・1と戻りながら均等に注ぎます。うま味が詰まった最後の一滴は残さずに。またしぼりきることで二煎目もおいしく頂けます。

緑茶の楽しみ方　日本酒をお茶で割る飲み方も

特産品・名産品・グルメ

吉井いちご 吉井

高い糖度と酸味のバランスがいいのが特徴の「さちのか」と、果実が大きく糖度が高いのに酸味があってさっぱりとした新品種「ゆめのか」などが栽培されています。五蔵の里直売所や佐世保市吉井活性化センターソレイユ吉井などで購入することができます。また、各農家ごとに生産に取り組んでいるこだわりのいちごもあり、「五蔵の里直売所」には朝摘みいちごが並ぶなど好評です。

茶もなか／富重製菓（とみしげ） 世知原

一口食べればお茶の香りが口いっぱいに広がります。「茶」の葉の形を模した最中（もなか）に、風味豊かな抹茶あんがたっぷりと詰まった上品な一品です。世知原町の「国見の郷」や「山暖簾」、四ヶ町アーケード内の「だんだん四ヶ町店」などで購入することができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
場　所 佐世保市世知原町中通127
営業時間 7:00～19:00
定休日 日曜日
問い合わせ 0956-76-2119

せちばるやまめの里「清流庵（せいりゅうあん）」 世知原

佐々川上流にひっそりとたたずむ食事処です。国見山麓の清流で育ったヤマメを味わったり、釣り堀でヤマメ釣りを楽しんで、料理してもらうこともできます。また、宮崎から直送の「地頭鶏（じどっこ）」の炭焼きも人気です。夏は流しそうめんも食べることができます。

アクセス 車/西九州自動車道 三川内ICより20分
場　所 佐世保市世知原町開作909
営業時間 11:00～17:00
営業日 4月～11月の土、日曜日
問い合わせ 0956-78-2668

吉井メロン 吉井

吉井町では、40年以上前からメロンの栽培が始まり、主にキンショーメロンとリゾートメロンの2品種が生産されています。農家が長年培った栽培技術で品種改良を重ねており、糖度が高いです。メロンが旬を迎える時期に合わせて「ふるさとよしい市」が開催され、多くの人で賑わいます。

特製揚げサンド／真弓精肉店（まゆみ） 世知原

この揚げサンドは、戦後の佐世保で生まれました。その後、世知原の土地で炭鉱夫達のお弁当としても親しまれ、鉱夫たちの元気の源となったりしながら今に伝わっています。サクッと仕上がったパンには、甘めのマッシュポテトとハムサラダが挟んであり、この味を目当てに世知原まで出かける人も珍しくないとか。何と言っても揚げたてが一番おいしいので電話での予約がお勧めです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより20分
場　所 佐世保市世知原町栗迎41-18
営業時間 9:00～18:00
定休日 日曜日
問い合わせ 0956-76-2136

ギャラリー&カフェ 風の高原 江迎

お勧めメニューは、熟成カレー、地元で採れた無農薬野菜を使ったサラダ、手作りのガトーショコラなど。カレーは、厳選した材料や20種類以上のスパイスを使い、3日間かけて仕込みます。穏やかに流れる風を感じる散歩や森林浴のあとの食事はリフレッシュできます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐々ICより45分
場　所 佐世保市江迎町奥川内253-6
営業時間 10:00～21:00（オーダーストップ19:00）
定休日 火曜日、年末年始
問い合わせ 0956-66-9334

吉井・白岳高原・世知原・柚木エリアマップ

8

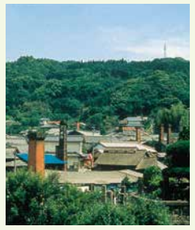
世界一の名声を得た、小さき皿山。

三川内（みかわち）

小さな谷あいに軒を連ねる窯元。そこは、平戸藩窯からの400年の技を受け継ぐ「三川内焼」の里です。各窯元の技は一子相伝の秘技によって開花しました。雪のように白い磁肌に描かれた繊細な呉須絵や緻密な細工、1ミリ弱の薄さで光を通す卵殻手、レース編みのような透かし彫り等々。江戸時代の旅籠を再生した古民家では押し寿司などの郷土料理を楽しむことができます。
2016年4月、「日本磁器のふるさと　肥前～百花繚乱のやきもの散歩」が日本遺産に認定され、「三川内焼」は構成文化財のひとつです。

三川内焼（みかわちやき）の歴史

三川内焼の始まり



慶長3（1598）年、平戸藩主が朝鮮出兵からの帰国の際、朝鮮人の陶工約100人を連れ帰り、平戸・中野村（現在の平戸市）の椿坂に窯を開いたのが三川内焼のルーツのひとつです。しかし、周辺には白磁にあう土がなく、良質の土を求めて平戸から南下し、現在の三川内町に窯を開きました。
また同じ頃、佐賀県北部で発展した唐津焼を統括していた波多氏が豊臣秀吉の不興を買い、領地を取り上げられます。九州の各地に散った唐津焼の陶工たちは、三川内へも移ってきました。

三川内焼三皿山　日本遺産構成文化財　※他、該当文化財あり
（三川内皿山・木原皿山・江永皿山）

最初に平戸で窯を開いたのは、熊川（こもがい）から来た朝鮮陶工 巨関（こせき）と言われています。その子どもである今村三之丞（いまむら さんのじょう）の時代に、絵師や窯焼方の体制が整えられました。三川内皿山は平戸藩の御用窯となり、代官所がおかれ、三之丞は皿山棟梁兼代官に就任。皿山役所の出張所を木原皿山、江永皿山に設けました。これが三川内三皿山の始まりといわれています。

三川内焼の大成

三川内焼は、今村三之丞の子、今村弥次兵衛正景（やじべえまさかげ）/如猿（じょえん）の時に、大いに拡張整備が進みました。弥次兵衛は、肥後（現在の熊本県）天草から砥石（といし）として早岐港に陸揚げされる石を、陶土として試験した結果、非常に優秀な白磁陶石であることを発見（諸説あり）。こうして天草陶石（あまくさとうせき）と藩内で採石する針尾三ツ岳の網代陶石（あじろとうせき）を調合することで、三川内焼の白磁を完成させました。この配合により、三川内焼の特徴である細工や卵殻手、透かし彫りなどの細かな技が可能になりました。寛文4（1664）年将軍家献上品の御用命を受け、元禄12（1699）年には朝廷の禁裏（きんり）品を作り、以後しばしばご用命を拝するようになります。また、この頃の記録を見ると、三川内皿山の戸数300、木原皿山・江永皿山の三皿山を合わせた戸数はおよそ800もあったようです。

三川内焼のその他の特徴

開窯以来、幕府や朝廷への献上品、御用品を作り続けた陶工たちは、御用窯として藩の手厚い保護をうけ、最高の原料で数にこだわらず、技術の高い作品作り（上物づくり）に専念することができました。三川内焼を代表する技法「透かし彫り」は、優れた手法と時間を度外視したものといえます。そして、それらの技術、皿山一切のことは代官によって管理され、江戸時代後期の頃までは一子相伝の制度（長男のみに技術が伝えられる）により、門外不出のものとして伝えられてきました。また、三川内焼は海外での評価も高く、長崎に来たオランダ人が、特に薄手のコーヒー碗を好み、出島を通じて貿易が行われるようになりました。それらは王侯貴族にも愛され、現在、イギリスやオランダ等の博物館にも所蔵されています。

明治以降の出来事

明治維新とともに、藩窯としての歴史が終わり、三川内焼は御用窯から民窯として新たな出発を迫られました。それまで平戸藩御用窯として「上物づくり」に専念していた三川内の陶工たちにとって試練の時代でもありましたが、優れた技術を守るため、明治32（1899）年に「三川内陶磁器意匠伝習所（いしょうでんしゅうじょ）」が開設され、その伝統を継承していきました。明治中期頃からは、多くの名工によって作られた作品が国内より海外で人気を博し、貿易品7割、国内向け3割で出荷されていました。

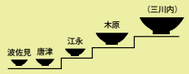
民話・伝説　高麗媼さま（こうらいばばさま）

三川内の皿山は、昔から平戸のお殿様に差し上げる陶磁器（御用品）を作る「焼き物の里」として有名です。ここではお隣の韓国（高麗）から渡ってきた人達によって新しい陶器が作られていました。その中に百歳を越したおばあさんがいました。おばあさんは、釜神様の祭主を務め「高麗媼様」と呼ばれ慕われていました。ある日のこと。「わしが死んだらのう、今まつりよるお宮さんに火をかけてのう、その煙がまっすぐ空にのぼっていったら、わしば高麗に連れて帰っておくれ。もしも地面ばほおたら、そこに窯ば築いて焼き物ば焼き続けておくれ。こんことはきっと守っておくれ」と言いこの世を去りました。皿山の人達が媼様の言葉通りお宮に火をつけると、煙は静かに地面をはうように吸い込まれていきました。そこで、その場所に窯を築くと、みごとな三川内焼が次々と生まれるようになりました。現在の西窯の跡は「高麗窯」とも呼ばれています。

ガイドの引出し
豆知識

江戸時代の三川内焼の三皿山と波佐見焼、唐津焼の値段の違い

「伊万里歳時記」天保6（1835）年9月の報告



1 三河内（三川内）
出荷量（単位：俵）6,000　値段（単位：両）2,500
1俵あたりの値段（現在のおおよその値段）0.41両（24,600円）

2 木原
出荷量（単位：俵）4,700　値段（単位：両）550
1俵あたりの値段（現在のおおよその値段）0.12両（7,200円）

3 江永
出荷量（単位：俵）2,600　値段（単位：両）260
1俵あたりの値段（現在のおおよその値段）0.1両（6,000円）

4 唐津
出荷量（単位：俵）2,000　値段（単位：両）100
1俵あたりの値段（現在のおおよその値段）0.05両（3,000円）

5 波佐見
出荷量（単位：俵）37,000　値段（単位：両）
1,800　1俵あたりの値段（現在のおおよその値段）0.048両（2,880円）

出典：日本銀行金融研究所　　1両＝60,000円換算

三川内焼の伝統の技

日本遺産構成文化財
無形文化財（県指定）

三川内焼染付技術（唐子絵）

三川内焼の特徴は、白磁に呉須（ごす）と呼ばれる藍色の顔料で、美しく繊細な絵付けを施す技法です。その技法を使い、松と牡丹を背景に蝶と遊ぶ唐子が描かれた「唐子絵」は、江戸時代から現在に至るまで、多くの窯元で用いられており、三川内焼を代表する絵柄のひとつとなっています。

白磁透かし彫り

伝統的な三川内焼の中でも極めて高度な技術と高い芸術性を誇り、一つの作品が完成するまでに半年を要するといわれる透かし彫り。焼き縮みも計算された、繊細かつ緻密な彫りが、白磁の白さと相まってその美しさを際立てています。JR三河内駅前にある「玉泉窯」は、透かし彫りの技術を伝える窯元です。

ガイドの目線

皿の縁

三川内焼の代表的な絵柄である唐子絵の皿などの縁には仏教用語で「輪宝（りんぽう）」と呼ばれている文様が施されています。これは、高麗の「高」の字を図案化したものと言われており、日本で古くからあるものです。「りんぽう」とは帰化した方々の方言かも?

木原刷毛目

刷毛目の技法は、本来、陶器を白く見せるための技法ですが、それが次第に装飾性を持った図柄として工夫されてきたものです。器の外面には横走する櫛刷毛、内面には掛け流しを施してあるのが特徴です。

卵殻手（薄胎）

ろくろで形成された生地をさらに削り込んで薄く仕上げ、透き通るような独特の風合いを誇ります。卵の殻程の薄さのため「卵殻手」と呼ばれています。絵付けされたものが少ないのは、絵の具の水分を素地が吸うことで、形が崩れてしまうためです。それほど微妙なバランスでつくられています。

細工物

- 透かし彫り
  器面の一部をくり抜いて模様を表します。
- 置き上げ
  絵柄を、水で溶かした白色の化粧土で筆を塗り重ね、厚く盛り上げます。
- 菊花飾細工
  先端の尖った竹の道具で、土の塊から花びらの形に一枚ずつ起こしていきます。
- 手捻り
  素地と同じ土で、細工のあらゆる技法を用いて形をつくる技法です。

史跡・旧跡

三川内東窯・西窯跡　三川内皿山
日本遺産構成文化財

東窯は、部屋は縦5m、横7mで20室が連なり全長120m。17世紀後半から昭和12（1937）年まで使われていた三川内皿山で最大規模の登り窯です。西窯跡は全長100mで、昭和16（1941）年まで焼かれていました。今はどちらも坂道沿いに民家が建っており、敷地壁にその名残が見られます。

釜山神社　三川内皿山
日本遺産構成文化財

三川内皿山の氏神である天満宮の境内社。三川内焼陶祖の一人である中里エイ/高麗媼（こうらいばば）の業績をたたえ祭神として祀られています。

ガイドの目線

窯の移り変わり

三川内焼は昭和16（1941）年頃まで登り窯で焼かれていました。また、昭和の初め頃からは石炭を燃料とする「単窯」が登場します。これによって近代の焼き物の産地を象徴する高い煙突が昭和30年頃まで見られるようになりました。その後、重油に、そして現在はガス窯が主流となっています。そのため今では、高いレンガ造りの煙突はほとんど使用されていません。

トンバイ塀（モウロ塀）馬車道　三川内皿山
日本遺産構成文化財

窯を築くときに使われた耐火煉瓦「トンバイ」の廃材や、使い捨ての窯道具を赤土で固めて作った塀をトンバイ塀（モウロ塀）と言います。すぐ近くの道は真ん中に段がついていますが、これは馬車で薪を運ぶ際に上り坂で馬が滑らないように工夫されたものです。

三川内皿山代官所跡（今村家屋敷跡）　三川内皿山
日本遺産構成文化財

初代棟梁今村三之丞ほか、皿山代官を務めた今村氏の屋敷跡。平成12・13（2000・2001）年に行われた発掘調査では、17世紀半ばの地層から、初期の御用窯作品と思われる品が出土しています。また、三川内焼美術館に展示されている葵の御紋の入った陶片は、ここで出土したものです。

アクセス
三川内皿山　車/西九州自動車道 三川内ICより10分
鉄道/JR「三河内駅」より徒歩30分
木原皿山　車/西九州自動車道 三川内ICより3分
鉄道/JR「三河内駅」より徒歩40分
江永皿山　車/西九州自動車道 三川内ICより5分
鉄道/JR「三河内駅」より徒歩50分

史跡・旧跡

葭之本窯跡
日本遺産構成文化財　史跡（県指定）

慶長年間（1596〜1615）頃に日用雑器の陶器が生産された三川内最古級の登り窯で、平戸松浦藩の窯業の草創期を物語る重要な窯跡である。3基の窯跡が残る窯跡群であり、磁器製造以前の1号窯→2号窯→3号窯の陶器製造技術の移行がわかる貴重な遺跡である。

江永の陶祖神 江永皿山

江永の皿山では、日本の古い時代に陶工たちが行った最も原始的な信仰の形で、山の神を陶祖神と仰ぎ、皿山の安泰と繁栄を祈ってきました。江永皿山は平戸藩が管理していましたが、主に民間向けの焼き物を焼いていました。

陶祖神社 三川内皿山
日本遺産構成文化財

三川内焼の祖、今村弥次兵衛正景/如猿（じょえん）が祀られている神社です。天保13（1842）年に平戸藩主が視察に見えた際、如猿の功を讃えて「如猿大明神として祀るように」との覚書をたまわったことによります。如猿の功とは、平戸藩御用窯としての生産体制を確立し、献上品を安定的に納めたことです。

施設

三川内焼美術館（三川内焼伝統産業会館）

現代の窯元や作家の作品と、初期から御用窯時代の逸品の数々が展示されています。

アクセス 車/西九州自動車道 三川内ICより5分
鉄道/JR「三河内駅」徒歩8分
バス/西肥「三川内支所前」徒歩2分
場　所 佐世保市三川内本町343　**開館時間** 9:00〜17:00
休館日 12/29〜1/3　**入館料** 無料　**駐車場** 有
問い合わせ 0956-30-8080

うつわ歴史館

佐世保地域の土器、陶器、磁器までの焼き物の歴史や特徴、製作工程などを映像や模型などで紹介。「泉福寺洞窟」から出土した世界最古級の土器「豆粒文土器」のレプリカも展示されています。

アクセス 車/西九州自動車道 三川内ICより5分
鉄道/JR「三河内駅」徒歩8分
バス/西肥「三川内支所前」徒歩2分
場　所 佐世保市三川内本町289-1
開館時間 9:00~17:00　**休館日** 12/29〜1/3
入館料 無料　**駐車場** 有
問い合わせ 0956-30-6565

させぼ四季彩館（させぼ物産みかわち振興センター）

400年以上の歴史を誇る焼き物の里「三川内」に、佐世保の「よかもん」「うまかもん」を一堂に取り揃えた物産センター「させぼ四季彩館」があります。
農産物・加工産品・銘菓・陶磁器など、佐世保ならではの特産品約800点のほか、九十九島の美しい海で獲れる新鮮な海産物も揃っています。佐世保のお土産や贈り物選びに利用できます。

アクセス 車/西九州自動車道 三川内ICより5分
鉄道/JR「三河内駅」徒歩8分
バス/西肥「三川内支所前」徒歩2分
場　所 佐世保市三川内本町289-1　**営業時間** 9:00〜18:00
定休日 年末年始　**駐車場** 有
問い合わせ 0956-38-7744（佐世保物産振興協会）

ギャラリーさるのあしあと

三川内山の中央に位置する三川内焼ギャラリー。現代の陶芸作家たちの作品をはじめ、平戸藩御用窯時代の逸品の数々が展示され、作品を購入することもできます。また、カフェが併設されており、お好きな三川内焼の器を選んでコーヒーや中国茶を味わいながら、ゆったりくつろぐことができます。

場　所 佐世保市三川内町745-1
営業時間 10:00~16:00
定休日 火曜日
問い合わせ 0956-30-7722

祭事・イベント

みかわち陶器市

400年以上の歴史を持つ三川内焼を見て、買って、楽しむ5日間。会場には約40社が参加し、普段使いから美術品まで、陶器市価格で3〜4割ほど安く買えます。名工たちの磨きぬかれた技に魅せられて、全国各地から陶器に親しむ人々が訪れます。

開催期間 10月初旬5日間　**開催場所** 三川内焼伝統産業会館前
問い合わせ 0956-30-8311（三川内陶磁器工業協同組合）

三川内焼窯元はまぜんまつり

焼き物をつくる際の焼き物の台となる道具「はまぜん」の供養祭。窯元を自由に訪ねながら買物ができます。「はまぜん」の「はま」とは、窯で焼成する際に焼き物のゆがみを防ぐための台となるもので、1回しか使わないことから供養を行います。「ぜん」とは「お金」のことです。昔は子どもが「はま」を「お金」に見立てて遊んでおり、「はまぜに」が変化して「はまぜん」と呼ばれます。

開催期間 5/1〜5/5　**開催場所** 三川内皿山一帯
問い合わせ 0956-30-8311（三川内陶磁器工業協同組合）

体験

三川内皿山歩き

三川内の史跡と窯元をガイド付きで散策できます。

料　金 1人〜3人まで1,500円
1人増毎に500円
所要時間 60〜120分
場　所 三川内　皿山公園
※1週間前まで要予約

透かし彫り体験（10名以上の団体様のみ）

白磁に繊細な彫りを施す透かし彫りの醍醐味を体験できます。（ペン立てなど）

完成まで 約1ヶ月
料　金 2,600円
受付時間 9:00〜16:00
所要時間 120分
定休日 12/29~1/3　**場　所** 三川内焼伝統産業会館
※1週間前まで要予約。完成品の送料が別途必要です。

ガイドの目線

三川内陶器市のススメ

陶器市は毎年一回秋に行われ、会場は広々としているのでベビーカーや車イスでも来場でき、お店の人とのやり取りを楽しみながら、市価よりかなり安い値段で手に入れることができます。お店の方と直接値段交渉ができるのも、この陶器市の楽しみ方のひとつです。またB級品や試作品などのお買得品も多いので自分のお気に入りの品を探す楽しみがあります。
☆**ワンポイントアドバイス**
リュック・スニーカー・軍手スタイルがおすすめです。

開催場所 三川内焼伝統産業会館前

絵付け体験（10名以上の団体様のみ）

素焼きの磁器に呉須で絵付けする作業を体験できます。（皿、豆皿2枚、マグカップ、湯のみ、ご飯茶碗）

完成まで 約1ヶ月　**料　金** 1,500円
受付時間 9:00〜16:00
所要時間 約50分
定休日 12/29~1/3
場　所 三川内焼伝統産業会館
※1週間前まで要予約。完成品の送料が別途必要です。

ガイドの引出し
豆知識

世界の博物館に展示される三川内焼

明治以降、海を渡った三川内焼は海外でも高く評価され、ヨーロッパをはじめとする世界の万博や博覧会で輝かしい賞を受賞しました。現在でも、世界の主要な美術館、博物館に所蔵・展示されています。

- 大英博物館（イギリス）
- ラッセル=コーツ美術館（イギリス）
- ヴィクトリア&アルバート博物館（イギリス）
- フェレンツ・ホップ東洋美術館（チェコ）
- ナープルステク博物館（チェコ）
- フランス国立ギメ東洋美術館（フランス）
- ライデン国立民族学博物館（オランダ）

〈三川内エリア全体に関するお問い合わせ〉
0956-30-8311
三川内陶磁器工業協同組合
受付時間 9:00〜17:00　**休　み** 土・日・祝日

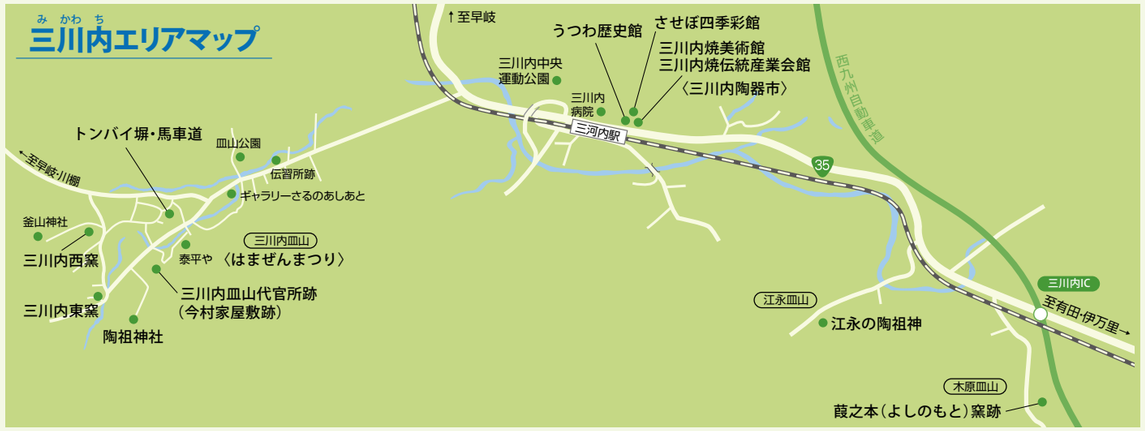
グルメ

泰平や

江戸時代の旅籠（はたご）を改装したという建物は趣きがあり、その屋根には貴重な平戸瓦が使われています。一つひとつ型で仕上げる「平戸寿司」は、江戸時代から平戸藩に伝わる伝統料理。平戸松山窯の手描きの器でいただけます。

場　所 佐世保市三川内町768
営業時間 11:30〜13:30
営業期間 10月〜5月（予約のない日は閉店）
料　金 1,320円
定　員 5〜20人　※4人以下は要相談。10日前まで要予約（完全予約制）
予約・問い合わせ **0956-30-8080**

三川内エリアマップ



9 昔人の対峙と交流の面影、早岐の瀬戸。

早岐・宮ハウステンボス

海に面した町・早岐は、古くから交通の要所として栄え「市」が開かれていました。現在も5~6月になると瀬戸沿いに、新茶をはじめ農産物や海産物、陶器、ざるや竹籠などの露店が立ち並びます。宮地区には、戦争中に先生と児童が力を合わせ、ツルハシで掘った全校児童600人を収容できる防空壕があり「無窮洞」と呼ばれています。そして、「佐世保と言えばハウステンボス」と返ってくるほど進化したハウステンボスが存在感を示しています。

史跡・旧跡

無窮洞（旧宮村国民学校地下教室）

日本遺産構成文化財

第二次世界大戦末期、当時の宮村国民学校の教師と児童が掘った防空壕です。当時の校長先生の発案で、終戦まで（昭和18（1943）年8月29日～昭和20（1945）年8月15日）掘り続けられました。防空壕を掘る作業は小学生だけで行われました。ダイナマイト類の火薬は使用せず、男子がツルハシや鍬で穴を掘り、女子がノミや金槌で表面を滑らかにするなどして進められました。洞内は数百人が収容でき（180平方メートル）、避難中でも授業や生活ができるよう、教壇を伴った教室、奉安殿（天皇・皇后の写真を保管）、食糧庫、炊事場、トイレなどが設けられています。2ヵ所ある入り口（「敢闘門」と「誉胆門」）は、爆風を防ぐために小さく造られていたため、避難した児童が酸欠にならないように、洞の中に農具「唐み（とうみ）」を用いて送風されたといわれています。保存会会員には、掘削に携わった方もおられ、実話の語りとともに、当時の様子を伝える史跡となっています。

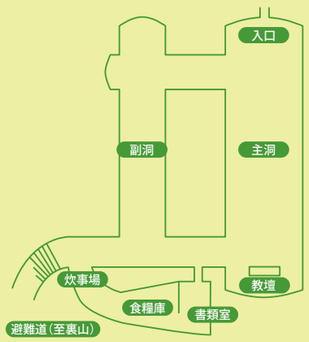
アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより20分
鉄道/JR「南風崎駅」より徒歩20分
バス/西肥「宮支所入口」徒歩3分
場　所 佐世保市城間町　**見学時間** 9:00～17:00（入場16:30まで）
見学料 無料　**定休日** 12/29～1/3
問い合わせ 0956-59-2676（宮地区公民館）
0956-59-2003（無窮洞顕彰保存会）

ガイドの引出し
豆知識

無窮洞を掘った子どもたち

授業ができる防空壕「無窮洞」は、校長先生の指揮のもと、2年という歳月をかけて完成しました。どうして子どもたちだけで、巨大な防空壕を完成させることができたのでしょうか？ その理由は、防空壕設置に選んだ場所の良好な地質にありました。地質は火山灰が固まってできた「凝灰岩」で、やわらかく軽いのが特徴の岩層です。この地質は子どもたちが掘ったり運び出したりするにはうってつけだったのです。
実際に無窮洞を見てみると、子どもたちだけで掘ったとは思えないほど天井が高いことに気づきます。この掘削方法は、先に天井から掘り進め、天井部分を整形した後に床の方へと掘り下げていくもので、当時のトンネル工事と同じ技法を用いています。

無窮洞平面模式図



梅ヶ枝酒造

登録有形文化財（国登録）

天明7（1787）年の創業以来、江戸時代の建物を現在でも使用している造り酒屋です。敷地内には、歴史を感じさせる建物が並んでおり、安政7（1860）年に建てられた母屋をはじめ、江戸時代末期建造の「瓶詰所」「旧むろ」「旧仕込蔵」、大正末期建造の「貯蔵蔵」など7棟が平成14（2002）年、国の登録有形文化財に登録されています。豊かな自然と地下300mからの名水によって作られる酒類は、品評会などでも高く評価されています。酒蔵は年間を通じて見学ができ、酒造りの様子、酒造内の施設を杜氏や蔵子さんが案内してくれます（10名以上、要予約）。販売コーナーでは、お酒の試飲もできます。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより20分
鉄道/JR「南風崎駅」より徒歩25分
バス/西肥「宮支所入口」徒歩5分
場　所 佐世保市城間町317
見学時間 10:00～16:00（予約制、所要時間30分）
営業時間 9:00～18:00　**見学不可日** 1/1～1/3、2月
駐車場 有（無料）大型バス4台可。
問い合わせ 0956-59-2311
※杜氏による案内は、仕込み作業の都合によりできない場合があります。

楠本端山旧宅と楠本家墓地土塡群七基

史跡（県指定）

江戸末から明治にかけての大儒学者である楠本端山（たんざん）と弟の碩水（せきすい）の旧宅と、その東側にある楠本家の墓地です。端山は文政11（1828）年に生まれ、平戸藩校である維新館に学び鳳鳴書院で碩水とともに後進の指導にあたりました。旧宅は天保3（1832）年に建築されたもので、平戸藩士の格式の中に儒学者としての祠堂を備えるなど、往時の生活を忍ばせます。楠本家墓地のうち端山の墓を含む7基が土塡を持つ儒教様式の墓です。県内唯一の現存例で、特に端山の墓は土塡の前に儒教式墓碑を置き、周囲には斎垣（いがき）、前面には中国風石門と石灯籠を置く典型的な儒教墓です。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより20分
バス/西肥「葉山」徒歩10分（墓地は下車すぐ）
場　所 佐世保市針尾中町1698-2（旧宅）
佐世保市針尾中町1550（墓地）
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

大念寺の鐘楼山門

有形文化財（市指定）

大念寺は天文10（1541）年、川尻隠岐守（かわじりおきのかみ）が創建したと伝えられている古刹です。山門は鐘楼堂を兼ねており、現在の山門は嘉永3（1850）年に再建されています。この山門には虹梁（こうりょう）、木鼻（きばな）、花頭窓（かとうまど）など、江戸期の特徴が見られます。佐世保市内で唯一残る江戸期の鐘楼山門として大変貴重です。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより5分
鉄道/JR「早岐駅」より徒歩10分
バス/西肥「早岐中町」徒歩1分
場　所 佐世保市早岐2丁目19-47
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

史跡・旧跡

早岐本陣

早岐本陣は、江迎本陣と並び平戸藩主が必ず泊まる本格的な本陣でした。現在では、昭和初期に改築された本陣門が残っており、一般的な瓦とは重ねが左右逆になった平戸瓦となっています。そこには松浦家の三つ星の家紋も残っており、昔の面影をしのばせています。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより5分
鉄道/JR「早岐駅」より徒歩10分
バス/西肥「早岐中町」徒歩2分
場　所 佐世保市早岐1丁目6-22
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

早岐駅の給水塔跡

日本遺産構成文化財

早岐駅は明治30（1897）年に開業しました。早岐機関区も置かれ、多くの蒸気機関車が所属していましたが、昭和47（1972）年には蒸気機関車の運行を終了しました。構内東側に残されているレンガ造りの給水塔（上部のタンクは失われている）は、蒸気機関車の運転に必要な水を補給するために造られたもので蒸気機関車時代を物語る数少ない施設です。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより10分
鉄道/JR「早岐駅東口」より徒歩1分
場　所 佐世保市早岐1丁目93
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

子安観音の大クス

天然記念物（県指定）

樹齢500年になる楠の大木で、昔から厄病よけの神木といわれています。樹の下には文化4（1807）年に疫病が流行したときに建立された三界万霊の碑があります。根まわりは約15m、幹まわりは約8m。枝が根元から7本に分かれているのは、江戸時代に一度伐採された名残です。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより10分
バス/西肥「上有福」徒歩1分
場　所 佐世保市有福町981
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

施設

西海橋

登録有形文化財（国登録）

西海橋は、昭和30（1955）年に海峡にかかる大橋のトップバッターとして、4年の歳月をかけ誕生しました。佐世保市針尾町と西海市西彼町を隔てる針尾（伊ノ浦）瀬戸にかかる長さ約316mの日本初の長大橋で、建設省の有料道路事業として建設された日本初の有料橋です（現在は無料）。針尾（伊ノ浦）瀬戸は、日本三大急潮（※）の一つとして知られ、海面からの高さは43mあります。当時この形式の橋としては世界第3位、東洋一の大きな橋でした。針尾（伊ノ浦）瀬戸は、最大急潮9ノットで、うず潮の直径は10mに及ぶため、架設には一本の支柱も使われず、ケーブル精密操作により両岸から突き出して組み立て、最後にアーチ主構を中央部で閉合する突桁式吊出し工法が用いられました。この架設工法は、世界でも初の試みとして開発され、日本の技術の水準を大きく高め、世界でも注目されました。潮の干満の差が最も大きくなる（約15m）春と秋には、激しい急流と渦潮が見られ、うず潮まつりが開催されます。特に春は橋の両側に整備された西海橋公園の1,500本の桜が見頃を迎え、毎年多くの観光客で賑わいます。

形式…上路式ブレーズドリブ鋼固定アーチ
橋長…約316m　**最大支間**…約216m　**高さ**…43m
完成…昭和30（1955）年
※日本三大急潮　鳴門海峡　関門海峡　針尾（伊ノ浦）瀬戸

アクセス 車/西海パールライン有料道路 針尾ICより3分
バス/西肥「西海橋東口」徒歩3分
場　所 佐世保市針尾東町
問い合わせ 0956-58-2004（西海橋公園管理事務所）
0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

新西海橋

新西海橋は、長さ300mの中路式アーチ橋（主橋部）で、海面からの高さは42m。西海パールライン有料道路の一部です。内部にコンクリートを充填した3本の鋼管を弦材として使用。橋梁としては日本でも例がない特殊な構造で、靭性向上・経済性などに優れています。西海橋公園に車を停め、添架歩道（橋の下に設けられた遊歩道）を散策すれば、歩きながら針尾（伊ノ浦）瀬戸、潮見公園、弁天島、針尾無線塔などを望むことができます。また歩道中央スペースには、床にガラス張りの4つの窓があり、真下にうず潮を見ることができます。

形　式…中路式アーチ（主橋部）
橋　長…約300m
高　さ…42m
完　成…平成18（2006）年3月5日

アクセス 車/西海パールライン有料道路 針尾ICより3分
バス/西肥「西海橋東口」徒歩5分
場　所 佐世保市針尾東町
駐車場 約500台（無料）
問い合わせ 0956-58-2004（西海橋公園管理事務所）
0956-22-6630（佐世保観光情報センター）
※添架歩道の通行可能時間は、3月～10月は7:00～20:00、11月～2月は7:00～17:00

平戸往還の石畳

江戸時代、早岐は街道の交差点にあり、港も栄えていたので、平戸藩の商業の中心地として発展しました。平戸往還はそのほとんどが石ころだらけの山道であったようですが、ここ早岐は、その道の表面を石畳で舗装されていたことから、当時の早岐がいかに豊かだったかを物語っています。現在では、早岐二丁目の早岐交差点から西蓮寺までの石畳の道が往時を偲ばせています。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより5分
鉄道/JR「早岐駅」より徒歩10分
バス/西肥「早岐中町」徒歩2分
場　所 佐世保市早岐2丁目
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

ガイドの引出し
豆知識

早岐の歩み（港⇒問屋と倉庫の町⇒商店街⇒今）

早岐瀬戸の潮流に乗って船に帆を張れば、大村湾や五島灘へも早い早岐は、海岸に泉が多く、川が集まり、船の集まりやすいところでした。近くには黒曜石（矢じりやナイフに加工）、滑石（石鍋）、真珠、金の産地もあり、奈良時代の『肥前国風土記（ひぜんのくにふどき）』には、真珠を探しに来た天皇の軍隊と「速来津姫（はやきつひめ）」の話が書かれてあります。江戸時代は平戸藩六万石の商港で、大阪などから帆船がやってきました。明治に入り鉄道が開通（明治30（1897）年）した後、早岐は問屋と倉庫の街になりました。その取引先は平戸・五島を含む西九州で、牛市には朝鮮半島からも牛が来たほどです。その後、問屋街は商店街になり、スーパーができ、現在のような様相を呈するようになりました。

祭事

早岐茶市

早岐では、安土桃山時代から「海の幸・山の幸」を持ち寄って物々交換をしていたことから、自然発生的に「市」が立つようになりました。明治に入り、輸出用のお茶が出回ると「茶市」と呼ばれるようになり、大正時代になると、田植え前の農閑期である5月の7・8・9のつく日に開かれるようになりました。「茶市ん風にあたるぎんた、そん年はかぜひかんとバイ」と、昔から言われています。5月の7・8・9は初市。17・18・19は中市。27・28・29は後市。そして6月の7・8・9は梅市と呼ばれにぎわいます。

アクセス 車/西九州自動車道 大塔ICより5分
鉄道/JR「早岐駅」より徒歩5分
バス/西肥「早岐中町」徒歩5分
場　所 佐世保市早岐2丁目
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）
0956-38-1503（早岐商工振興会）

春・秋のうず潮まつり

西海橋の架かっている針尾（伊ノ浦）瀬戸は、大村湾が外海と通じる出入口。外海の佐世保地側と大村湾の、満潮、干潮の時刻が約3時間ずれるため潮の流れが速く、最大急潮9ノット（時速約17キロ）、最大うず潮直径10mにも及ぶ渦が発生します。特に旧暦の3月3日前後は1年でも最も干満の差が大きくなる春の大潮であり、この時期に「春のうず潮まつり」が行われます。（満ち潮より引き潮の際に大きな渦ができるといわれています）渦に合わせて小型船による「渦潮クルージング」なども企画されており、この開催期間には西海橋周辺に約10万人と多くの観光客が訪れます。

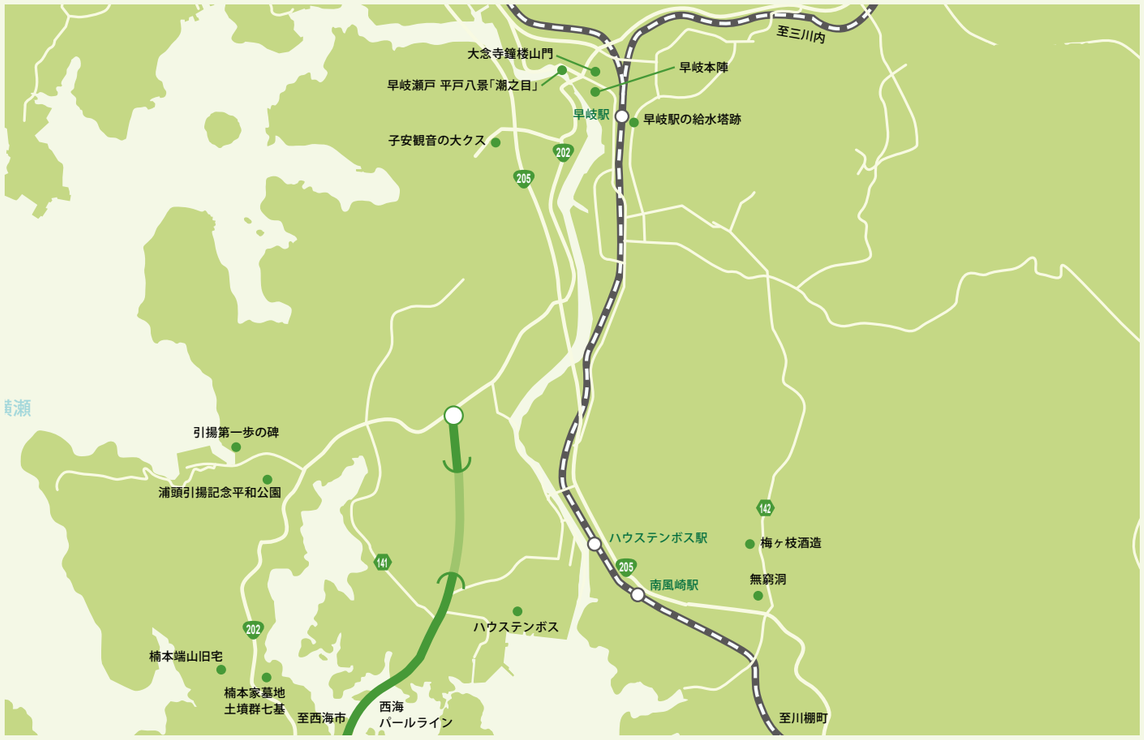
アクセス 車/西海パールライン有料道路 針尾ICより3分
バス/西肥「西海橋東口」徒歩1分
場　所 佐世保市針尾東町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）
0956-58-2004（長崎県立西海橋公園）

ガイドの引出し
豆知識

早岐の由来と速来津姫

奈良時代に書かれた肥前風土記に次の一節があります。「肥前国（ひぜんのくに）の彼杵郡の西北にあるこの瀬戸は、東に潮が落つれば、西にわきのぼり、潮のわく響は雷のようである。よって速来の瀬戸という」。つまり、潮の流れが速いことから「速来」と言われ「早岐」の地名になったとのことです。また、速来村の速来津姫（はやきつひめ）は大和朝廷の命令に従わず乱をおこし、そのため天皇の家来の神代直（かみしろのあたい）がこの地に来て乱を沈め、三つの美しい玉をとりあげ天皇に差し上げた、と書いてあります。美しい玉は天然真珠と推測され、速来津姫は「姫」という尊称が与えられていることから、この地方では相当の勢力を持っていたと思われます。

早岐・宮・ハウステンボスエリアマップ



ハウステンボス

基本説明
大村湾に面し、広大な場内に17世紀のヨーロッパの街並みを再現したハウステンボス。オランダ語で"森の家"という意味の名称が示すように「自然との共生」がテーマの一大ヨーロピアンリゾートです。場内はハーバーゾーンとテーマパークゾーンに分かれており、緑が多く自然豊かなハーバーゾーンには、海に面した「ハーバータウン」と「フォレストヴィラ」の2つのエリアがあり、テーマパークゾーンには、世界最大級のホラーエリアである「スリラーシティ」（注：「スリラーシティ」は2020年1月13日で終了。2020年3月20日からは、日本初の「花」と「光」をテーマにした「光のファンタジアシティ」という新エリアになって登場します。）、アトラクションが集結した「アトラクションタウン」、冒険と挑戦の地「アドベンチャーパーク」、音楽と買い物のエリア「アムステルダムシティ」、塔とレストランの街「タワーシティ」、季節ごとの花や緑に彩られた「アートガーデン」、花と風車のみち「フラワーロード」の7つのエリアがあります。
また、エリアにかかわらず、1年中楽しむことのできる"6つの王国"と銘打ったコンセプト展開をしています。「1年中、街に咲き誇る季節の花々『花の王国』」、「365夜、光きらめく夜景日本一の街『光の王国』」、「子どもも大人も楽しめる『ゲームの王国』」、「美しい音色が響く街『音楽とショーの王国』」、「より健やかに美しく『健康と美の王国』」、驚きと楽しさあふれる最先端の世界『ロボットの王国』の6つです。宿泊は4つの直営ホテルがあり、新しい滞在スタイルを提案しています。近年では、歌劇ザ・レビューハウステンボスの活躍や、スマートホテル構想としての「変なホテル」の展開など、ユニークな発想で話題を呼んでいます。

年間イベント

仮面舞踏会大カーニバル（1月～4月）
春の九州一花火大会（4月上旬）
水の王国（7月上旬～9月上旬）
秋の九州一花火大会（9月下旬）
光の王国（10月上旬～5月上旬）
ハロウィーン（9月上旬～10月31日）
カウントダウン（12月31日）

花のイベント

チューリップ（2月上旬～4月中旬）
桜（4月）
バラ（5月～6月）
アジサイ（6月初旬～7月初旬）
ユリ（6月中旬～7月中旬）
ひまわり（7月中旬～8月）
秋バラ（11月）
胡蝶蘭（12月中旬～2月下旬）

概要
開業：平成4（1992）年3月25日
※ハウステンボスの基盤となる「長崎オランダ村」のオープンは昭和58（1983）年7月
広さ：敷地面積は152万平方メートル
※東京ドーム約33個分、東京ディズニーランド＋ディズニーシーとほぼ同じ
名前の由来：ハウステンボスという名前はオランダ語で「森の家」という意味。オランダのハーグという都市にあるベアトリックス女王陛下（当時）がお住まいの宮殿「パレス ハウステンボス」を再現したことからこの名前が付けられた。
こだわり：街の中の石畳やレンガなど一つひとつの細部にまでこだわり、「古き良きヨーロッパの街並み」を再現している。景観の美しさを守るため、電柱は一切ない。

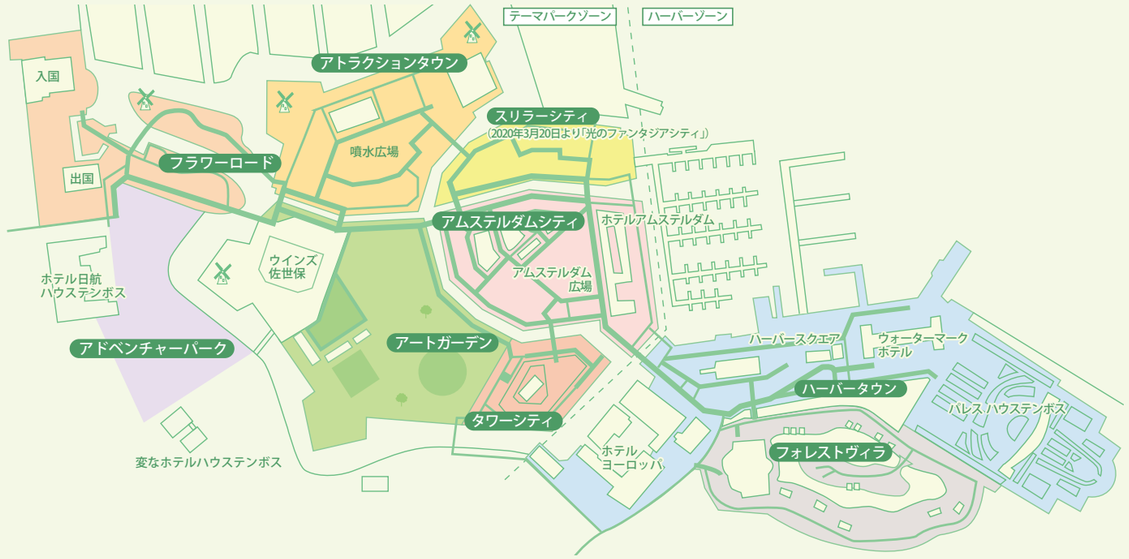
営業時間 **料　金** ※営業時間・入場料金はホームページにて確認
アクセス
【博多から】
JR：JR博多駅から特急「ハウステンボス」で約1時間45分
高速バス：博多駅交通センターから約1時間56分※1日3便
【長崎から】
JR：JR長崎駅から快速「シーサイドライナー」で約2時間
高速バス：長崎駅前から約1時間21分※土日祝のみで1日2便
【長崎空港から】
船：高速船で約50分　バス：約50分
【佐世保から】
JR：JR佐世保駅から（大村線）快速・普通列車で約20～35分
路線バス：西肥30～46分（ハウステンボス西門行き）
【車の場合】
西九州自動車道 佐世保大塔ICから15分
長崎自動車道 東彼杵ICから30分
駐車場 ●日帰りの場合…第1-4駐車場（5,000台）
●場内ホテル宿泊の場合…宿泊者専用駐車場
※駐車料金はホームページにて確認

ガイドの引出し
豆知識

運河について

場内に張り巡らされている運河は全長6km。大村湾から海水を引き込んで作られており、大村湾の干満の差0.8mを利用して、二つの水門の開閉で4日に一度水が入れ替わっています。

※運河の深さは外周運河が2.2m～3.3m、幅は20m～35m。
内周運河が1.5m～2.2m、幅は10m～20m



環境への取り組み

◇レンガ舗装
土を原料にして作られるレンガ。このレンガによって舗装された道は、空からの雨水を地下へ浸透させて自然の循環を促すとともに、河水や溝への負担を軽減し、集中豪雨などによる水害を未然に防いでいます。

◇石積みの水際
水際は水中と陸の微生物が共存し、浄化作用を行う大切な場所です。そのため護岸は、砕石と土で固めて自然な状態の生態系を守っています。また景観の面においても、水際とその周辺の環境がうまく調和するように努めています。

◇樹木の植栽
樹木の植栽計画を作成するにあたっては、敷地内の丘陵地にわずかに残されていた自然植生に近い樹林を、稀少な既存緑地として保存することにしました。その他の新規植栽地には、ヨーロッパ中部、オランダの雰囲気を伝えるとともに、保存することにした丘陵地の樹林と調和させることに注意を払って、開業までに40万本の植栽が行われました。計画地の外周を囲む緩衝緑地には、この地域の潜在自然植生である常緑樹のタブ、クス等の高木層、ヤブツバキ、アオキ等の低木層を植栽し、数十年後の「極相林」(植生遷移の安定した状態に達した林)を図り、また、市街地の街路樹には、ヨーロッパ中部の雰囲気を伝えながらもここの土地条件にも適応するアメリカフウやタイワンフウ、アキニレ、トチノキ、カツラなどが選定されました。市街地と外周緩衝緑地との中間にあって、市街地を取り囲む緑地は、常緑樹と落葉樹の混合林とし、落葉や花木の彩りによって季節感が楽しめるように配慮されています。

〈オープンからの成果〉

ハウステンボスはオープンから20余年経った今、こんなに緑溢れる空間を甦らせました。40年ほど前に工業用地として開発された埋め立て地は、極めて貧困な土壌で、そのまま植栽しても豊かな樹林を得るのは困難な土地でした。そこに土壌改良し運河を巡らせ40万本の樹木を植え生態系を育み続けた結果を見ることができます。

◇水門管理システム
ハウステンボスの運河にはオランダ式の水門を採用し、大村湾の干満の差を利用することで、消費電力を削減。この自然環境へ配慮した総合的な省エネルギーが高く評価され、1997年に「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しています。

◇運河や大村湾の環境を見守る
生命を宿し、ハウステンボスの街に潤いを与える運河や大村湾。その豊かな環境をいつまでも大切にしていくために、定期的な清掃を行っています。

〈大村湾に一滴の汚水も流さない〉

波静かな美しい大村湾に面しているハウステンボスは、この大村湾と共存しながら成り立つ施設です。大村湾が汚れてくればハウステンボスの街もその影響を受けてしまいます。そこでハウステンボスでは大村湾を汚さないために、排水を下水道施設でBOD(生物化学的酸素要求量)5ppm以下まで処理して「中水」として再利用しています。再利用以外に残った余剰水に対しても土壌浸透ユニットより土中へ浸透させ、土壌バクテリア等により浄化させた上で、自然流出させています。このようにハウステンボスでは公共水域に生活排水を直接放流しないシステムを採用しています。

◇生態系の回復
ハウステンボスは、街と水と緑の調和のとれた豊かな環境の創造を目指してきました。人工的に復元された自然の中で、運河や緑地に実際にどのような生態系が形成されていくのかということについて継続して調査を実施し、生態系の回復が確認されています。鳥類については1992年度、昆虫類については1993年度より生息調査しています。調査開始当初、鳥類は31種、昆虫類71種が確認されていますが、2001年度までには累計で鳥類61種、昆虫類151種が確認されています。

環境と自然を考えるコース 予約制・別途有料

環境設備見学

コ・ジェネレーションシステム
天然ガスが持っているエネルギーを有効に使うため発電機で「電気」を作るときに発生する「熱」を同時に使用して、冷暖房などに使うコ・ジェネレーションシステム。

共同溝
ハウステンボスの美しい街並みの地下には、全長3.2キロメートルの共同溝が巡らされ、電力・通信・熱供給・給排水などのパイプが、街の営みに欠かせないあらゆる機能の動脈となっています。それは景観の美しさを重視したからだけではなく、地面を掘らずに各種メンテナンスが行われる利便性や、パイプの劣化が防止できることもその理由です。

下水処理場
ハウステンボスでは場内の汚水をすべて下水処理場に集め高度処理をしており、この中水(リサイクル水)を、トイレの洗浄水、草花への散水用として再利用することで全使用量の半分以上を賄っています。さらに、余った中水は地中へと浸透させ、運河には1滴の排水も流さないようにしています。

ガイドの引出し
豆知識

2ミリ広い!?

ハウステンボスのグランドオープンまでわずか1年前の1991年3月、すでに施工が終わっていたパレスハウステンボス東ウイングのレンガの外壁をチェックしたオランダ側責任者が、レンガとレンガの間の目地の幅が本国のそれよりわずかに広いことを指摘。施工済みの面積は200平方メートル。これを取り壊し、やり直すとなると4000万円の費用が発生し、なおかつ工期的に間に合わない可能性もありました。やり直すか、そのまま続行するか。判断に迷い、結論が出るまでに時間がかかるようなケースです。でも、決断は早いものでした。ハウステンボスはやり直すことにしたのです。

「日本側は本気だ。」オランダ政府はあらためてそう感じ、ハウステンボスに寄せる信頼もさらにあついものになったといいます。

10 理に適い、情に適った東郷さんの佐世保港。

俵ヶ浦半島 高後崎・針尾島

小高い山々が連なり、懐に長く深い湾を抱えた俵ヶ浦半島。佐世保港はこの半島の懐奥深い位置にあります。明治期、入り江の一部を埋め立て佐世保鎮守府が開庁し、港を取り巻くように、日本の西海の守りを担う防衛の要が出現しました。100年を経過した今も、海軍さん時代の遺構を残しています。2016年4月、「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」に認定され、佐世保市にも多くの構成文化財が残されています。(詳しくはP49をご覧下さい。)

俵ヶ浦半島は佐世保市の南に突き出た半島で、この半島と向かい合う西彼杵半島が防波堤の役割を果たしているため、佐世保港は天然の良港となっています。北西には九十九島の島々を抱くように、複雑に入り組んだ海岸線が連なり、北東には明治22(1889)年に旧日本海軍の軍港として開港した佐世保港があります。現在は米海軍や海上自衛隊の施設が点在しているほか、明治期に築かれた旧日本陸軍の砲台や観測所などの歴史遺構が、今もなお姿を留め、軍港として発展してきた港まち佐世保の歴史を物語っています。

佐世保港は面積33㎢(横浜港の2倍、神戸港の4倍、長崎港の10倍)で、かつては連合艦隊が入港し、多くの海軍さんたちを送り出してきました。現在はアメリカ海軍と、海上自衛隊がその一部を占用し、停泊する艦船が佐世保らしい景色を作っています。司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』には、佐世保港から出港する連合艦隊のシーンが描かれています。

史跡・旧跡

旧佐世保鎮守府(海上自衛隊佐世保地方総監部) 日本遺産構成文化財

明治政府は、明治19(1886)年、第3海軍区の鎮守府を佐世保に設置することを決め、明治22(1889)年7月に佐世保鎮守府が開庁しました。明治23(1890)年4月26日には明治天皇の行幸を仰いで開庁式が挙行されました。庁舎はレンガ造り2階建てで、左右対称のデザインで屋根に角のように突き出た暖炉の煙突が建物のアクセントになっていました。日清・日露戦争を通じて艦隊を支える重要な基地として発展しましたが、昭和20(1945)年6月29日の空襲で庁舎をはじめ多くの建物が焼失しました。現在はその場所に海上自衛隊佐世保地方総監部が置かれていて、鎮守府時代の建物も現存しています。本庁舎裏の地下には旧海軍が終戦時まで使用した「防空指揮所」の遺構が今も残っています。当時のままの正門の前には、鎮守府開庁時に植えられたというクスノキがあり下から見上げると、その歴史を感じさせます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより2分
場　所 佐世保市平瀬町18
問い合わせ 0956-22-6630(佐世保観光情報センター)
※内部見学はできません

旧佐世保海軍工廠(佐世保重工業株式会社／通称:SSK) 日本遺産構成文化財

鎮守府開庁と同時に艦船の建造や修理を担う造船部として発足しました。主に軽巡洋艦や駆逐艦、潜水艦の建造と大型艦の改装を行いました。佐世保の各所から見える巨大なジャイアント・カンチレバー・クレーン(イギリス製の250トンクレーン、国登録有形文化財、日本遺産構成文化財)は、海軍工廠最大の固定式クレーンとして大正2(1913)年に竣工したもので、昭和10年代には航空母艦「加賀」、「赤城」、戦艦「霧島」などの大改装にも使われ、今でも現役で稼働しています。昭和20(1945)年、太平洋戦争終戦とともに海軍工廠は閉鎖されましたが、昭和21(1946)年、同施設を活用した佐世保船舶工業株式会社(通称:SSK)が創設され、戦後処理として艦艇の解体作業や復員輸送船の整備などが行われました。その後、昭和36(1961)年、佐世保重工業株式会社に社名が変更されました。最大の第4ドックは、かつて戦艦「武蔵」の艤装(様々な装備をつけること)が行われた場所で、長さ400m、幅57m、深さ15.6mもあり、40万トンタンカーまで建造することができます。また、昭和37(1962)年7月、当時世界最大のタンカー「日章丸」(出光興産)もこのドックで進水しました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより3分
場　所 佐世保市立神町
問い合わせ 0956-22-6630(佐世保観光情報センター)
※内部見学はできません

前畑火薬庫 前畑1号倉庫(旧第五水雷庫) 日本遺産構成文化財

明治22(1889)年の設置から終戦まで拡張を続けた火薬庫で、明治、大正、昭和の各時代の施設が極めて良好に残っています。現在は米海軍によって使用されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより5分
場　所 佐世保市前畑町
問い合わせ 0956-24-1111(佐世保市文化財課)
※内部見学はできません

立神係船池(修理艦船係留場) 日本遺産構成文化財

弓張岳の展望台からよく見える「立神係船池」。この工事は明治期における海軍最大の土木工事と言われています。明治38(1905)年～大正5(1916)年の11年を費やして完成した幅575.7m、奥行き363.6mの巨大係留池で、一万トン級の船なら同時に9隻つなぐことができる東洋一の施設と注目を浴びました。現在は米海軍とSSKが利用しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより5分
場　所 佐世保市立神町
問い合わせ 0956-22-6630(佐世保観光情報センター)
※内部見学はできません

ガイドの引出し
豆知識

海軍鎮守府設置の地に佐世保が選ばれた理由

横須賀、呉、舞鶴とならび、日本海軍が佐世保を軍港としたのは、佐世保湾がもつ以下のような特徴からだったようです。
①湾口が狭く港内が見えにくい(軍事機密を守るのに適していた。また艦船の出入りも見はりやすい)。
②湾口は狭いが湾内は広く水深も深い(大型船が入りやすい)。
③朝鮮半島や中国大陸に近く、南西諸島までを警備する上で便利。
④周囲を山に囲まれ天候の影響を受けにくい。
日本の西の護りを固めるため、軍港に適した港を探して調査にやってきたのは軍艦「第二丁卯(だいにていぼう)」。調査責任者は肝付兼行少佐で艦長は東郷平八郎少佐でした。

旧佐世保鎮守府武庫軍需部レンガ倉庫群

日本遺産構成文化財

米軍基地内をはじめ、海上自衛隊の施設や、SSKなどには多くの赤レンガの建物があり、佐世保独特の景観を作り出しています。これらの建物は、明治19(1886)年の鎮守府設置決定から大正・昭和期にかけて、軍の施設として国の費用を投じて建設されたものです。米軍内の倉庫群は、鎮守府の食糧、衣服や日用品を保管するため軍需部が使っていたもので、SSK東門脇の海上自衛隊敷地内およびSSK敷地内の倉庫群は、海軍工廠造兵部が武器、弾薬類の一時保管用として使用していたようです。北海道小樽市や、神奈川県横須賀市、京都府舞鶴市にもこのような赤レンガ倉庫群が残されていますが、佐世保に現存する建物群は、質・量ともに日本一を誇ります。しかし、そのほとんどが米海軍基地やSSK内にあるため、近くでの見学は難しい状況です。そんな中、立神音楽室は、旧佐世保鎮守府武庫のレンガ倉庫のひとつで、現在は、近くで見ることができます。また、映画『69』(平成16(2004)年東宝)やNHK朝の連続テレビ小説「てるてる家族」(平成15(2003)年)のロケ地としても使用されました。SSK構内の預兵器庫のみ国登録文化財となっています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより3分
場　所 佐世保市立神町、平瀬町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）※内部見学はできません

弓張岳砲台跡

日本遺産構成文化財

佐世保には明治時代に軍港を守るために築造された旧陸軍の砲台と、空からの攻撃を防ぐための旧海軍の防空砲台がありました。弓張岳に残る砲台跡は昭和13(1938)年から昭和19年(1944年)にかけて、旧海軍が佐世保軍港防衛のため造った防空砲台で、上空に飛来する米軍機めがけてここから高角砲が撃たれていました。昭和20(1945)年6月29日の佐世保空襲の際も応戦し、136発の砲弾が発射されたそうです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより20分
場　所 佐世保市小野町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

引揚第一歩の碑 針尾島

「引揚げ」とは、第二次世界大戦の終戦によって、日本の主権が及ばなくなった地域に残された日本人が、短期間に一斉に帰国しなければならなくなったことを言います。浦頭には昭和20(1945)年10月14日から昭和25(1950)年4月までに、軍人・軍属・一般法人あわせて、1,396,468人が上陸しました。ちなみに、軍人以外の一般の方々のことを「引揚者」と呼び、軍人として海外に派遣されていた方々の帰国を「復員」といいます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保大塔ICより15分
　　バス/西肥「浦頭」徒歩10分
場　所 佐世保市針尾北町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）
　　0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

赤崎貯油所旧地下重油槽

日本遺産構成文化財

軍港建設の一環で、赤崎岳下から船越の川ノ谷にかけて、燃料の貯蔵基地として整備が進められました。特に明治45(1912)年には、川ノ谷に佐世保で初めて重油タンクが造られ、これは日本初の鉄筋コンクリートの重油タンクでした。大正時代になると、空から分かりにくいように地下に多くの重油タンクが造られ、これも日本初の試みでした。これらの工事を担当したのは、真島健三郎(ましまけんざぶろう)という海軍の技術者で、彼は鉄筋コンクリートの研究に心血を注ぎ、それを使って様々な建物を造ることに成功しました。終戦の昭和20(1945)年、米陸軍により接収され、昭和46(1971)年、米海軍へ移管され、現在に至っています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより10分
場　所 佐世保市赤崎町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）※内部見学はできません

佐世保橋(通称：海軍橋)

明治19(1886)年、佐世保に海軍鎮守府を置くことが決まり、それまで飛び石で渡っていた佐世保川に、橋の建設が求められました。海軍と市街地の境界をなす橋として、鎮守府開庁1年後の明治23(1890)年6月に初代の橋が完成しましたが、木造の上に土をかぶせた脆弱な構造で、明治37(1904)年6月の洪水で流出。明治39(1906)年にはコンクリート橋に架け替えられました。当時、日本国内でも2番目という早い時期に完成したコンクリート橋梁で橋長は49.4mあり鉄筋コンクリート橋としては、当時、日本最長でした。その後、昭和14(1939)年に拡幅が行われ、昭和60(1985)年に現在の橋に架け替えられました。旧橋の欄干の一部が、橋の東側の浜田公園に復元保存されています。また昭和43(1968)年、原子力空母「エンタープライズ」入港の際、佐世保川河口の「平瀬橋」と共に「佐世保事件」があった場所としても知られています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより1分
場　所 佐世保市湊町、浜田町、元町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

ガイドの引出し
豆知識 佐世保橋(海軍橋)

現在の「佐世保橋」は、かつて「海軍橋」と呼ばれたこともあり、鎮守府と市街地を隔てる場所でもありました。橋を渡った先に鎮守府の門があり、そこから先が佐世保鎮守府の敷地で、一般市民は立ち入りが制限されていました。

旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館(佐世保市民文化ホール)

日本遺産構成文化財　登録有形文化財(国登録)

第一次世界大戦に参戦した佐世保鎮守府所属の艦艇の功績(地中海などでの活躍)をたたえ、九州・四国各県民の寄付金で建てられたものです。大正時代を代表する古典主義的で重厚なデザインが特徴で、鉄筋コンクリート(柱)とレンガ(壁)で造られています。旧海軍の様々な行事や式典などが執り行われるなど、内部はホール様式となっています。太平洋戦争後は、連合国軍に接収され、劇場・映画館として使用されましたが、昭和57(1982)年、佐世保市に譲渡され、市民文化ホールとなり演劇や音楽の練習及び発表の場となっています。平成9(1997)年、登録有形文化財に指定され、平成17(2005)年には第7回佐世保市景観デザイン賞に選ばれています。平成25(2013)年から、耐震のための構造補強とそれに伴う改修工事により、約2年間休館しほぼ創建当時の姿に復元されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより2分
　　バス/西肥「元町」徒歩1分
場　所 佐世保市平瀬町2
開館時間 9:00～22:00(17:00以降利用がない場合は17:00まで)
休館日 火曜日、12/29～1/3
問い合わせ 0956-25-8192 ※団体は要申し込み

佐世保要塞跡

日本遺産構成文化財

軍港を守るために陸軍による要塞建設が始められ、明治34(1901)年までに7ヵ所の砲台が完成し「佐世保要塞」と名付けられました。佐世保港の入り口にあたる俵ケ浦半島は特に重要視され、高後崎(こうござき)、小首(こくび)、丸出山(まるでやま)の3つの砲台が築かれていました。明治時代の砲台は、レンガや切石、コンクリートをバランス良く用いた丁寧な造りで、道には玉砂利まで敷かれていました。大変頑丈に造られていたため保存状態が良く、建設後110年以上経った現在でも、昔のままの姿で山の中に眠っています。

●**高後崎砲台跡**　佐世保要塞最初の砲台です。レンガ造りの半地下弾薬庫跡が埋もれたように眠っています。

●**小首砲台跡**　アーチ形のセメントで出入り口を囲ったレンガ造りの弾薬庫群があります。破壊されることなく、ツタにおおわれながらも当時の姿そのままを今に残しています。

●**丸出山砲台跡 観測所跡**　林の中に石垣で築かれた小高い丘があり、脇の石段を上がると、丘の上に鉄製の丸屋根の建物があります。南九十九島を望むこの建物は、砲戦指揮のための観測所でした。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより30分
場　所 佐世保市俵ケ浦町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

ガイドの引出し
豆知識 要塞が守ったもの

佐世保要塞は軍港を守るために造られました。要塞の機密保持のために「要塞地帯法」という法律が整備され、要塞の周辺では家屋の建設はもちろんのこと、漁業さえも厳しく制限されました。そのため、要塞に近かった九十九島沿岸ではほとんど開発が進まずに、手付かずの自然が残りました。そうして昭和30(1955)年には国立公園に指定されることになりました。軍港を守るために造られた佐世保要塞は、結果的に九十九島の美しい風景をも守ったのです。

干尽倉庫群

日本遺産構成文化財

かつて魚雷倉庫や弾丸庫として建てられた倉庫が9棟現存しており、今もなお現役の倉庫として活躍しています。大正期から昭和初期に建てられた4棟は特に規模が大きく、レンガや石などの違いで、それぞれ異なった迫力ある外観が魅力です。石造り風の外壁で間口が183mにも達する前畑1号倉庫は圧巻です。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより4分
場　所 佐世保市干尽町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）※内部見学はできません

亀ノ子島 俵ケ浦半島

九十九島の真珠養殖発祥の地です。大正9(1920)年に高島末五郎氏によって確立された真円真珠の養殖は、一時は世界一の生産量を誇りました。島までは200mほどの橋が架かっていますが、今は朽ちて渡ることはできません。大潮の干潮時のみ陸続きになり、歩いて渡ることができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより20分徒歩25分
場　所 佐世保市俵ケ浦町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

東山海軍墓地(東公園)

日本遺産構成文化財

佐世保に鎮守府が置かれてから太平洋戦争が終わるまでの約60年間に亡くなった海軍将兵およそ17万柱の霊が祀られています。敷地内には、大小400ほどのさまざまな形の墓石や慰霊碑が立ち並んでいます。「煙も見えず雲もなく」の歌で知られた勇敢な水兵、三浦虎次郎や、旅順口閉塞作戦で命を落とした杉野兵曹長、「美しき天然」の作曲者田中穂積軍楽長などの墓があります。太平洋戦争終結までは海軍管理の国有地でしたが、戦後は管理ができず、その後昭和34(1959)年に佐世保市の管理となり「東公園」として整備されました。公園内には海軍を象徴する「桜(ソメイヨシノ)」が多数植えられており、海上自衛隊の殉職者合祀されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより8分
　　バス/西肥「福石小学校上」徒歩1分
場　所 佐世保市東山町182-1
問い合わせ 0956-88-8397（一般社団法人佐世保東山海軍墓地保存会）

米海軍佐世保基地

米海軍佐世保基地がある区域は、明治22(1889)年の佐世保鎮守府開庁時に、倉庫施設や海兵団が置かれた区域で、終戦の昭和20(1945)年、連合国軍に接収されました。現在、米海軍の第7艦隊の一部が駐留する基地となっており、6,000人ほどの軍人軍属家族と、1,600人ほどの日本人従業員が勤務しています。

歴　史　昭和27年3月 ……米行政協定により米軍基地に指定
　　昭和51年7月1日…「米軍軍弾薬廠」に整理縮小
　　昭和55年7月1日…「米海軍基地」に復帰
〈通常の基地開放〉7月4日：独立記念日　※世界情勢によって変更有
※基地開放がある場合、7月4日に近い土、日曜日にあります。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより3分
場　所 佐世保市平瀬町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）
※内部見学はできません

高後崎番所跡 俵ケ浦半島

江戸時代、幕府の命令で平戸藩は藩内のあちこちに遠見番所(とおみばんしょ)を築きました。俵ケ浦半島の突端にも正徳4(1714)年に高後崎番所が置かれました。高後崎番所は、対岸にある大村藩の寄船番所(よりふねばんしょ)と共同して、外国船や密貿易への警戒を行っていました。異変があれば直ちに狼煙(のろし)を上げ、高島の番岳、小佐々の冷水岳を経て平戸藩庁に知らせる仕組みでした。今も海岸には石積みの堤防が残っています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより35分
場　所 佐世保市俵ケ浦町
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

ガイドの引出し
豆知識 「高後崎」と「向後崎」

俵ケ浦半島の突端の岬を「こうござき」と呼び、「高後崎」と「向後崎」の二通りの漢字を当てます。正しくは「高後崎」であり、地図にもそう記されています。「向後崎」は明治時代になってから海軍が使い始めた当て字で、軍艦が佐世保を出港し、外海に出る直前に後ろを振り向いて名残を惜しんだことから名付けられたとのことです。

史跡・旧跡

旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設 針尾島

日本遺産構成文化財　重要文化財（国指定）

大正11（1922）年、旧日本海軍の手によって4年の歳月と155万円（時価250億円）の巨額の費用を投じて建設されました。高さ約136m（1号塔・2号塔・3号塔全て）、周囲38m、塔の底面積115㎡（畳74畳分）の無線塔3本が300mの間隔をおいて正三角形に配置されています。
映画『山本五十六』でも描かれていた、昭和16（1941）年12月8日の開戦を告げる「ニイタカヤマノボレ1208」の暗号電文は、この無線塔でも中継されたとも言われています。終戦後は海上保安庁が管理し、平成9（1997）年にその役割を終えています。平成25（2013）年3月に、国重要文化財（建造物）に指定され、施設の一部公開を開始しました。現地では「針尾無線塔保存会」がガイドや管理を行っています。

アクセス 車/西海パールライン有料道路 針尾ICより10分
バス/西肥「高畑」徒歩20分
場　所 佐世保市針尾中町382
見学時間 9:00～12:00 13:00～16:00

ガイドの引出し
豆知識 針尾送信所

日露戦争後の無線施設整備により、船橋、鳳山（台湾）の無線電信所建設が計画されました。その後、中国方面との通信強化のため、佐世保無線電信所（針尾送信所）が追加されました。針尾送信所には新開発の高周波発電機式送信機が日本で初めて装備されましたが、これは芝浦製作所（現：㈱東芝）で作られたもので、近年、横浜市の㈱東芝京浜事業所に保存されていることが分かりました。

定休日 12/29～1/3
料　金 無料　個人見学⇒現地にて随時受付
団体見学（20人以上）⇒要事前連絡（20日前迄）
駐車場 大型バス駐車場有
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）
0956-58-2718（針尾無線塔保存会）

自然・公園

白浜海水浴場 俵ヶ浦半島

西海国立公園内にある白浜海水浴場は、白砂青松の自然豊かな環境で、海水浴場とキャンプ場が隣接しているため、特に5月から9月にかけてはバーベキューと磯遊びで多くの利用者が訪れます。戦時中には閉鎖されていましたが、戦後は再開されました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより30分
バス/西肥「俵ヶ浦郵便局前」徒歩15分
場　所 佐世保市俵ヶ浦町3248
●海水浴場
営業日 7月第2土曜日～8/20
時　間 平日 9:00～17:00　土、日祝日 9:00～18:00
●キャンプ場
営業日 4/10～10/31　※利用申込は4/1から受付
時　間 1泊 13:00～翌日11:00
日帰り 11:00～20:00（うち最長5時間）
バーベキュー棟（前半）11:00～15:00（後半）16:00～20:00
問い合わせ 0956-28-5771（海水浴場事務所）
0956-28-6006（キャンプ場事務所）

花の森公園 俵ヶ浦半島

俵ヶ浦半島のほぼ中央部に位置し、温暖な気候のため、桜や梅などの花木を鑑賞しながら散策を楽しめる公園です。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより25分
バス/西肥「つくも苑入口」徒歩10分
場　所 佐世保市俵ヶ浦町、野崎町、庵ノ浦町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

展海峰 俵ヶ浦半島

目の前に九十九島が180度のパノラマで広がる展望台のある園地です。その園地には、春（3月下旬～4月上旬）は菜の花、秋（10月上旬～10月中旬）はコスモスが咲き誇り、大勢の人で賑わいます。展望台の脇には「美しき天然」の作曲者である田中穂積の銅像が建っています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより20分
バス/西肥「展海峰入口」徒歩6分
場　所 佐世保市下船越町366
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

施設

海上自衛隊佐世保史料館（愛称：セイルタワー）

日本遺産構成文化財

旧日本海軍士官の集会所「佐世保水交社」跡地に、平成9（1997）年、その一部を修復して残し、建設された史料館です。海軍佐世保鎮守府開設当時から、現在の海上自衛隊にいたるまでの貴重な史料およそ4,400点が収蔵され、約1,300点が常設展示されています。建物は広大な海原と、屋根の上の造形で純白の帆をイメージ。八角屋根は、建設当時の水交社の時代のものです。
※佐世保水交社…海軍士官の懇親、外国士官の接待、艦隊乗組士官の宿泊のために建てられました。現在の建物は、大ホール、大食堂を備えていたため、戦後連合国軍が接収し将校クラブとして使用されましたが、昭和57（1982）年に日本に返還されました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより1分
バス/西肥「元町」徒歩2分
場　所 佐世保市上町8-1
入場料 無料　**開館時間** 9:30～17:00（入館16:30まで）
休館日 第3木曜日、12/28～1/4
問い合わせ 0956-22-3040

浦頭引揚記念平和公園・引揚記念資料館 針尾島

第二次世界大戦後、昭和25（1950）年頃まで、引揚船が入港していた港で満州や南方方面から約140万の人々が母国への一歩を印しました。恒久平和を願い、歴史的遺産として後世につたえるため、全国からの募金で昭和61（1986）年に建設された公園です。資料館には当時の着衣、日記、紙幣、リュックサック、引揚証明書・軍人手帳、収容所での詩集、DDT消毒器具などが展示されています。平成12（2000）年1月に田端義夫氏が歌った「かえり船」の歌碑が建立されました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保大塔ICより15分
バス/西肥「浦頭」徒歩15分
場　所 佐世保市針尾北町824
料　金 無料
開館時間 4月～10月9:00～18:00　11月～3月9:00～17:00
休館日 12/30～1/3
問い合わせ 0956-58-2561

体験

SASEBOクルーズバス「海風」

豪華クルーザーをイメージしたオリジナルの観光バスで、九十九島など佐世保の名所を巡り、佐世保の歴史や象徴的な景観を車窓から楽しめます。車内のゆったりと配置された座席シートは本革仕立ての豪華さです。佐世保の自然の景観と街なかの両方を、専属のアテンダーがご案内します。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより3分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩2分
発着場所 佐世保駅みなと口　海風のりば
発券場所 佐世保観光情報センター
料　金 大人（中学生以上）1,800円　小人 900円
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

海上自衛隊艦艇一般公開（倉島岸壁）

普段なかなか見ることのできない、海上自衛隊の艦艇が一般公開されます。佐世保を母港とする艦艇いずれか一隻の上甲板に乗船し、見学することができ、写真撮影もできます。倉島基地内にある売店では、グッズも販売されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより2分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩10分
場　所 海上自衛隊倉島岸壁 佐世保市干尽町9-1
問い合わせ 0956-23-7111（佐世保地方総監部）
※個人見学：日本国籍の日本在住者（顔写真付身分証明書必要）
団体見学：10日前までに事前申請が必要
「艦艇一般公開情報」を確認の上、見学してください。

日本遺産を巡る「海軍さんの散歩道」

普段は一般の立ち入りができない、旧日本海軍鎮守府が1944年に運用を開始した、海上自衛隊佐世保地方総監部敷地内の地下壕にある「防空指揮所」跡の見学をはじめ、2017年3月で退艦した護衛艦「くらま」内の食堂をイメージした「くらま食堂」での昼食など、海上自衛隊OBがご案内いたします。

徒歩ツアー
アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとIC前
鉄道/JR「佐世保駅」より路線バス7分
発着場所 旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館（市民文化ホール）
料　金 金曜日 3,000円（ガイド料・昼食含む）※「くらま食堂」での昼食付き
土・日・祝日 1,500円（ガイド料含む）
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）
※日本国籍の方限定。写真付きの公的な身分証明書が必要です。
開催除外日あり。

～海軍さんの港まち～SASEBO軍港クルーズ

新みなとターミナルを出発し、佐世保重工業（通称：SSK）、米海軍貯油施設、海上自衛隊教育隊、弾薬庫などの施設があるエリアを約1時間かけて佐世保港内を巡ります。日によって見られる船は違いますが、停泊する海上自衛隊や米海軍の艦船、海上保安庁の巡視艇などを、ガイドの解説付きで見ることができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより5分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩5分
発着場所 佐世保市新港町8-1（新みなとターミナル）
料　金 大人（中学生以上） 2,000円
小人（小学生） 1,000円
※未就学児は大人1名につき1名無料。2人目から小人料金。
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

半島を歩こう（俵ヶ浦トレイル）

■俵ヶ浦町 歴史遺産トレイル
俵ヶ浦半島の先端に位置する俵ヶ浦町。ここは、明治期に設置された砲台や観測所の跡が残っており江戸時代に海域の警護のために置かれた船番所や、中世の山城が残るエリアで、佐世保のルーツを辿る歴史ロマンの宝庫です。青い海や島々、豊かな農耕地が織りなすのどかな風景が広がります。

■庵浦町 お遍路トレイル
佐世保湾側の入り江に位置する庵浦町。ここには、松尾山西蓮寺日宇四国八十八ケ所巡礼（通称:お遍路さん）の札所が今も多く残されています。海あり山ありの自然豊かなまちで、傾斜地に形成された集落を歩くと、古き良き佇まいが息づいています。

■野崎町 ごちそうトレイル
俵ヶ浦半島の中央に位置する野崎町。新鮮な海産物や赤土が育む農産物、郷土料理の野崎寿司、かから餅など豊富な食材と食文化が今も根付き野崎特有の「食の風景」を支えています。佐世保湾沿いの道からは、対岸の針尾無線塔が見え、港に入出航する船に出あうこともあります。

■下船越町 水神山神トレイル
俵ヶ浦半島の代表的な観光スポット「展海峰」が位置する下船越町。豊富な食材と入り江の美しい景観に恵まれて豊かな暮らしが息づいています。水神様と山神様のお祭りは、今も住民の手によって大切に受け継がれ、海に浮かぶ水神様は、ここならではの景観をつくりだしています。展海峰からは時間帯や季節で変化する九十九島の絶景を楽しむことができます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより25分
場　所 佐世保市俵ヶ浦町、野崎町、庵ノ浦町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）
※専用マップ有り

民話・伝説 **蛇島**

昔々、佐世保にとても美しいお姫様がいました。殿様・但馬守（たじまのかみ）の娘です。ある日、相浦の殿様・松浦守（まつらのかみ）が烏帽子岳での狩りの帰りにお越しになり、但馬守は酒盛を開き、自慢の娘に舞を舞わせてもてなしました。松浦守は、姫の美しさに「嫁にほしい」と言い出しました。しかし姫にはすでに赤崎伊予守という許婚がいたので、但馬守は申し出を断りました。腹を立てた松浦守は、自国に帰るやいなや大軍を集めて佐世保の城に夜討ちをかけたのです。但馬守は勇敢に戦いましたが城は落とされ但馬守は討ち死にしてしまいました。「さて姫をもらうとしよう」と松浦守は姫を探しましたが見当たりません。そこで家来達にこう告げました。「姫を見つけたものには褒美をとらす、出世も約束する」。すると将冠岳の方へ逃げていく姫を見たという情報が入り、早速、兵を率いて将冠岳を登りました。その山の途中に大きな岩穴があり、中から一匹の白い大蛇が火のような真っ赤な舌を出しながら現れ、ものすごい速さで山を下りると海に入り、海を泳いで赤崎の前の小島にたどりついたのです。姫の行方はとうとうわからず、白い大蛇を見た者は一人残らず気が狂って死んでしまったことから、白い大蛇が泳ぎついた小島を「蛇島」と呼び、誰一人近づかなくなったとさ。

俵ヶ浦半島・高後崎・針尾島エリアマップ

民話・伝説　一里島

ある秋の夜のこと。月の光をあびて島たちがのんびり話をしていると、大将の松浦島が言いました。「どうや、今夜は町へ行って、久しぶりに酒ば飲もうじゃなかや」するとそばにいた桂島が言いました。「そりゃよか考えばい」少し離れたところにいた美人の金重島も、髪を櫛でとかしながら「私もつれていって」と言いました。こうして、松浦島を先頭に佐世保湾へ入っていった島達は久しぶりに町へ来て、酒を飲み、歌って踊って大騒ぎをしていました。やがて夜が明けはじめ、松浦島が言いました。「おーい、夜の明くっぞ。はよ並べ。帰るぞ」みんなは大急ぎで帰る用意をしました。島達は、夜が明けるまえに元の場所へ帰らないと、二度と帰れなくなってしまうのです。ところが一番若い一里島は、酔いつぶれてしまい、仲間達が起こしても全然起きません。「可哀そかばってん、しかたなか。一里島はおいて行こう」仲間の島達はあきらめて帰って行ってしまいました。その時から、佐世保湾に一里島が一つ残され、相浦に百あった島は、九十九島と呼ばれるようになったということです。

11 近代日本の生き証人、港まち佐世保。

佐世保市街

明治期以降は近代的な海軍都市として発展し、戦後はアメリカ文化に触発されながら独自の文化を育み、ハイカラな港町として賑わった佐世保。佐世保バーガーにレモンステーキ、外国人バー、ジャズフェスティバルなど、異文化のエキスが混在する面白さがそのまま街の魅力となっています。また、明治から大正にかけて整備された様々な施設や都市基盤が、今もなおその面影を残したり、現役で活躍するなど、近代化の足跡をたどることができます。

史跡・旧跡

カトリック三浦町教会

明治32（1899）年に佐世保教会という名称で谷郷町に設立され、昭和6（1931）年に現在の教会が完成しました。第二次世界大戦中は軍の命令により、空襲の目標にならないようにコールタールで黒く塗った歴史もありますが、今では平和都市佐世保のシンボルとなっています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより8分
鉄道/JR「佐世保駅」より徒歩5分
場　所 佐世保市三浦町4-25
見学時間 9:00〜17:00（但し、ミサ冠婚葬祭時には不可の場合もあります）
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

下本山岩陰遺跡　史跡（県指定）

相浦川流域における縄文時代前期（約6000年前）の拠点的遺跡です。相浦川の浸食でできた岩陰を住居としており、石器・土器とともに多くの釣り針やモリなどの漁労具や装飾品、埋葬人骨も出土しています。当時の海と山の幸に依存した暮らしが見て取れる遺跡です。

アクセス 車/西九州自動車道 相浦中里ICより8分
バス/西肥「本山」徒歩10分
場　所 佐世保市下本山町147-4
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

佐世保市岩下洞穴　史跡（県指定）

埋葬人骨29体ほか、多数の石器や土器が発掘された、縄文時代早期（約8000年前）の拠点的遺跡です。洞穴内を住む場所と埋葬の場所に使い分けていたなど、当時の人々の埋葬や生活を知る上で重要な遺跡となっています。

アクセス 車/西九州自動車道 相浦中里ICより15分
バス/西肥「天久保」徒歩8分
場　所 佐世保市松瀬町1385-5
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

民話・伝説　めがね岩

昔々、石盛岳のあたりに大きな鬼が住んでいました。ある日、この鬼は石盛岳を枕にして、知見寺の丘の石にひじをかけ、前山に足を乗せて気持ち良さそうに昼寝をしていました。綱のように太い鬼の髪は、柚木谷から相浦谷にうねりちぢれ伸び、野ネズミや野ウサギがその中で楽しく遊んでいました。蛇はうねった髪の上をするすると這い、小鳥たちは鬼の髪を花で飾り、太い髪であやとりをしていました。それでも鬼は目をさましません。そこで、一羽のいたずらな小鳥が、トンネルのように大きな鬼の鼻の穴へ入って、鼻の中をつつきました。すると、今まで気持ち良くねむっていた鬼はびっくりするほど大きなくしゃみをし、髪の中にいた動物たちは大地震が来たかとあわてて逃げ出しました。目を覚ました鬼が、大きく背伸びをすると、左手を烏帽子岳に、右手は相浦の愛宕山にまで届きました。さらに、両足をぐうっと伸ばしたから、前山がたまらない。石盛岳から前山までもある大きな鬼の太い両足でぽっかりと二つ、大きな穴をあけてしまいました。それが「めがね」のように見えるので、堺木にあるこの岩を「めがね岩」と呼ぶようになりました。

福石観音清巌寺／福石山の羅漢窟　平戸八景　名勝（国指定）

真言宗智山派福石山清岩寺（しんごんしゅう ちさんは ふくいしやま せいがんじ）・福石観音です。奈良時代末期の717年、名僧「行基（ぎょうき）」が全国遊行の途中で佐世保に立ち寄ったとき、海から引き揚げた柳の大木で仏像を彫って福石山に安置したという伝説があります。それが九州七観音の一つに数えられている福石観音の始まりであるとも言われています。その後、行基の遺跡を訪ねた弘法大師/空海が清岩寺を建立し、裏山の洞穴に五百羅漢を安置したと伝えられています。江戸時代から平戸八景の一つとして知られ、眼鏡岩・巌屋宮（現在の須佐神社）とならび、佐世保名所の一つに挙げられました。毎年8月8日から10日まで行われる「四万六千日祭」（通称:せんにちさい/この3日間に参詣すると、四万六千日参詣したのと同じ功徳があるとされる）は、大勢の人で賑わいます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより5分
バス/西肥「福石観音前」徒歩1分
場　所 佐世保市福石町24-5
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

眼鏡石　平戸八景

西蓮寺の境内にある奇岩で、高さ10m、横幅20m、厚さ6mの岩に、直径5mと8mの穴があいています。その姿はまるで眼鏡のようであることから眼鏡岩と呼ばれています。数千年前に隆起し、風化などの侵食作用で穴があいたと考えられています。弘法大師/空海が唐へ渡航する際、この地に立ち寄り、「この地は仏法結縁の地である」と岩面に梵字（神仏を一字で表す文字）と千手観音像を刻んだと伝えられており、今でもかすかにその痕跡が残っています。また、平戸八景のひとつに数えられ、背伸びをした鬼の足が岩を蹴破ったとの民話も残されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより15分
バス/西肥「堺木」徒歩8分
場　所 佐世保市瀬戸越町1266-1
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

泉福寺洞窟　史跡（国指定）

後期旧石器時代から平安時代まで長期間利用された洞穴遺跡。出土した5万点を超える遺物のうち、約1万6千年前に作られた世界最古級の「豆粒文土器（とうりゅうもんどき）」をはじめ、旧石器時代末から縄文時代草創期にかけての土器・石器、約2,000点が重要文化財に指定され、島瀬美術センターに保管・展示されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより15分
鉄道/松浦鉄道「泉福寺駅」徒歩10分
場　所 佐世保市瀬戸越町1-1571
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

史跡・旧跡

須佐神社／巌屋宮（すさ／いわやぐう）

平戸八景　名勝（国指定）

須佐神社境内にある間口約5.4mの洞窟です。平戸八景の一つであり、中心市街地にあるとは思えないような別天地です。洞内は神域となっており、通常は中を見ることはできません。穴妙見（あなみょうけん）とも呼ばれています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより10分
鉄道/松浦鉄道「中佐世保駅」徒歩10分
場　所 佐世保市高梨町1-9
問い合わせ 0956-24-1111（佐世保市文化財課）

自然・公園

佐世保公園

軍港設置以前は、江戸時代の新田開発による塩田と湿地で、鎮守府開庁以降、旧日本海軍練兵場となり、戦後は一時、米海軍の施設となった佐世保川沿いの公園です。広大な芝生広場とクスノキの巨木群からなる水と緑の潤い豊かな憩いの空間です。佐世保川に架けられた「アルバカーキ橋」で対岸と結ばれています。平成24（2012）年にはアスレチックや滑り台などの大型遊具3基を備えた「きららパーク」が完成しました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより5分
バス/西肥「島瀬町」徒歩5分
場　所 佐世保市平瀬町、湊町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

ガイドの目線

佐世保の夜を楽しむ3つのBAR

佐世保には、港まちのディープな世界を楽しめる3つのBARがあります。

【アメリカンな気分で　外国人バー】
米海軍基地が佐世保に置かれた頃にオープンした外国人向けのバー。英語が飛び交う空間はまるで外国にいるかのよう。ドル払いが可能で、注文ごとに支払うキャッシュオンデリバリーシステム。もちろん円も使えます。

【お酒片手に生演奏を　JAZZZバー】
昭和20年～30年代初頭、ジャズの聖地と言われ、全国から200人以上のJAZZ MANが集まっていたという佐世保。今も様々なジャンルの音楽活動が活発に行われており、JAZZバーでは地元ミュージシャンによる生演奏が楽しめます。

【隠れが的なお店で優雅に　ワインバー】
九州で一番、シュバリエ（ワインの騎士）と呼ばれる称号を持つ人が多いと言われる街佐世保。九州のワイン文化は佐世保から始まったとも言われており、魅力的なワインバーが揃っています。

「SASEBOナイトツアー」
佐世保ならではの夜の雰囲気と、バー文化をご紹介しながら、最初のオーダーまでエスコートします。
・成人のみ対象3,000円／1人（1ドリンク付、ガイド料、保険料含む）
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

施設

佐世保朝市

戦前、佐世保川沿いに並んでいた露店が始まりとされる朝市。終戦後は桟橋から駅までの道沿いに露店の朝市が立ち並び賑わっていましたが、その後、昭和46（1971）年に旧青果市場跡に移転しました。現在、朝市は、早朝3時頃から8時頃まで開かれ、敷地内にはとれたての鮮魚や野菜、果物、花など40店が並びます。第2・4土曜日（6時半～）には、一般の方も参加できる「せり市」が開催されています。正月恒例の「鏡開き」「ぜんざい会」は市民にも親しまれています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより5分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩10分
場　所 佐世保市万津町73
休　み 日曜日、年始
問い合わせ 0956-22-9890（佐世保朝市事務所AM9：00まで）

東漸寺の大クス（とうぜんじ）

天然記念物（県指定）

幹周り7.4m、樹高約20mの規模がある推定樹齢500年を超える楠の大木で、周囲の環境もよく樹形も整っています。東漸寺は宗家松浦家に由来し、北側の墓地境内には第13代松浦盛（さかり）の墓もあります。

アクセス 車/西九州自動車道 相浦中里ICより5分
バス/西肥「中里」徒歩10分
場　所 佐世保市中里町250
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

中央公園（名切公園）（なきり）

昭和43（1968）年までは米海軍の住宅地となっていましたが、その後ソフトボール場、水遊び場、噴水など、市民憩いの場として利用されている公園です。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保中央ICより5分
バス/西肥「松浦町中央公園口」徒歩3分
場　所 佐世保市宮地町136-7
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

ガイドの引出し

豆知識

光り輝く街なかイベント「きらきらフェスティバル」

11月中旬からクリスマスまでの期間は、佐世保の街がイルミネーションに輝く「きらきらフェスティバル（通称きらフェス）」が開催されます（平成8（1996）年より開催）。
期間中、島瀬美術センターの壁面には巨大な電飾アートが登場、毎年違った電飾デザインは市民の冬の楽しみのひとつとなっています。島瀬公園、さるくシティ4〇3アーケードなどがメイン会場となり、点灯式、「きらきらチャリティ大パーティー」、「市民で歌う歓びの歌」など様々なイベントが開催されます。

問い合わせ 0956-24-4411
（きらきらフェスティバル実行委員会）

戸尾市場街・とんねる横丁（とのお）

日本遺産構成文化財

戸尾市場街は大正時代から佐世保市民の台所として親しまれています。その一角は、「戦時中の防空壕」と「戦後の街路整備で新たに掘られた横穴」を利用した商店が並び、「とんねる横丁」と呼ばれています。戸尾市場街は、佐世保の食文化を支える人情あふれるスポットです。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより10分
バス/西肥「戸尾町」徒歩1分
場　所 佐世保市戸尾町
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

サンクル

佐世保市中心部の栄・常盤地区再開発事業で建設された全4棟の複合ビルで、平成26（2014）年10月に完成しました。「サンクル」の愛称で呼ばれ、飲食店やスーパー、医療・福祉施設、マンション、中央公民館、子ども発達センターなどが入居しています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより5分
バス/西肥「松浦町中央公園口」徒歩3分
場　所 佐世保市栄町、常盤町
問い合わせ 0956-23-9416（佐世保三ヶ町商店街振興組合）

施設

えきマチ1丁目佐世保

佐世保駅にあるJR九州が運営している複合商業ビルで、平成14（2002）年に「フレスタSASEBO」として開業し、平成26（2014）年11月1日に「えきマチ1丁目佐世保」としてリニューアルオープンしました。待ち時間に立ち寄れる駅構内のおみやげ店やスーパーをはじめ、飲食店やカフェ、ショップなどが揃い、ゆっくりとショッピングも楽しめます。週末や祝日は1階屋外のパティオ（中庭）にて、アマチュアミュージシャンを中心としたイベントなどが開催されています。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより5分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩1分
場　所 佐世保市三浦町21-1　**問い合わせ** 0956-24-6523

させぼ五番街（ごばんがい）

ウォーターフロントの新しい大型複合商業施設として平成25（2013）年11月29日にオープンしました。県内初出店の21店を含め約80店のテナントの他に、屋内外には休憩やイベントなどができる多目的広場も設けられています。また、佐世保市内の美しい景観形成に寄与した物件を表彰する「第1回させぼ景観グッドケアコンテスト」では、初代グランプリに選ばれました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより3分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩2分
場　所 佐世保市新港町2-1
問い合わせ 0956-37-3555（させぼ五番街オペレーションセンター）

万津6区（よろず）

佐世保朝市や老舗の店舗等が位置する万津町では、近年、カフェや雑貨店など新たな店舗出店が増えています。若手店主が中心となり、万津町一帯を三ヶ町商店街、四ヶ町商店街、させぼ五番街に続く新たな街として発展することを目指して「万津6区（よろずろっく）」と名付け、「懐かしさと新しさが交差する6つ目のまち」をコンセプトに共通ロゴやホームページの製作、共通コンセプトでの新商品の開発など、地域や地域内の個店の活性化に向けた新たな取組みが実施されています。

さるくシティ4〇3アーケード（よんまるさん）

「4〇3」は、四ヶ町アーケード（4）、佐世保玉屋（〇）、三ヶ町アーケード（3）の総称。四ヶ町から三ヶ町にかけて7つの町をまたぐ約1kmのアーケードで、一直線のアーケードとしては日本一級の長さを誇ります。秋のYOSAKOIさせぼ祭り、冬のきらきらフェスティバル、お正月の初売りをはじめ、1年を通して様々なイベントの主会場になっています。イベントの絶えない街は、いつしか「日本一元気な商店街」と呼ばれるようになりました。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより8分
車/西九州自動車道 佐世保中央ICより3分
問い合わせ 0956-22-6630（佐世保観光情報センター）

佐世保観光情報センター

国道側からJR佐世保駅構内に入ると、みなと口側にガラス張りの部屋が見えます。ここが年間約5万人もの観光客が利用する「佐世保観光情報センター」です。年中無休で、観光客のニーズに応じたさまざまな情報を提供してくれます。市内観光スポットのパンフレットなども揃っているので、佐世保観光の前にぜひ立ち寄りたいところです。また、「SASEBOクルーズバス"海風"」や「～海軍さんの港まち～SASEBO軍港クルーズ」日本遺産を巡る「海軍さんの散歩道」の窓口であり、佐世保限定グッズや三川内焼の購入もできます。

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより3分
鉄道/JR「佐世保駅」構内
場　所 佐世保市三浦町21-1（JR「佐世保駅」構内）
営業時間 9：00～18：00（年中無休）
問い合わせ 0956-22-6630

アクセス 車/西九州自動車道 佐世保みなとICより6分
鉄道/JR「佐世保駅」徒歩8分
場　所 佐世保市万津町

佐世保市街エリアマップ

特産品・名産品・グルメ

佐世保バーガー

港街佐世保にハンバーガーがやってきたのは、昭和25（1950）年頃のこと。当時、アメリカ海軍から直接レシピを聞いて作り始めたのがはじまりで、佐世保は日本における「ハンバーガー伝来の地」といわれています。当時のハンバーガーは、パンに直接肉を挟むタイプの食べ方だったようですが、日本人の口に合うように佐世保流にアレンジされ、「佐世保バーガー」ができました。現在では店ごとに趣向を凝らしたハンバーガーが、市民の味として定着しています。佐世保バーガーの定義は「手づくりでメイドイン佐世保のハンバーガー」。
ちなみにNHK朝の連続テレビ小説「てるてる家族」（平成15（2003）年）の中でも取り上げられました。

海軍さんの入港ぜんざい

旧日本海軍時代、入港前夜の船の中で、入港のお祝いと乗組員たちの疲れを癒す目的で出されていたのがぜんざいです。あずきを甘く煮たぜんざいは、砂糖が貴重だった当時、とても贅沢な料理だったそうです。無事、港に帰りつける喜びが隠し味となってさぞかし美味しかったことでしょう。そんなロマン溢れる佐世保の海軍料理です。現在の海上自衛隊でも、入港前夜に出されています。

九十九島せんぺい／九十九島せんぺい本舗

形は、縁起物である海亀のこうらにヒントを得た六角形。表には「九十九島」の文字。裏は、散りばめたピーナッツが美しい九十九島の大小の島影を表現しています。自分だけのオリジナル文字を入れた「オーダーメイドせんぺい」を注文することができます。

カース・ケーク／タンテ・アニー

ハウステンボスのお土産品としても人気のチーズケーキ。ハウステンボス場内や、JR佐世保駅構内の売店で購入することができます。

ぽると／佐世保ぽると総本舗

柚子風味のようかんをクッキーでサンドしたお菓子です。小さめの「まごコロぽると」や、直径約12㎝の「特大ぽると」もあります。

軍艦シュークリーム／蜂の家

佐世保人ならみんな知っているボリュームたっぷりのシュークリーム。その10個分を一つにしたものが、軍艦シュークリーム。重さは約2kg。事前に予約が必要ですが、お土産にいかがでしょう。

佐世保 入船／御菓子司 松月堂

創業明治38（1905）年。佐世保のまちなかで愛され続ける佐世保で最も古い歴史を持つ、伝統ある和菓子の名店。佐世保港にちなんで作られた銘菓「入船」は、40年来のロングセラー商品で、棒状のカステラをカラメル状の砂糖でコーティングしてあり、手土産などの定番商品となっています。

かんころ餅

宇久島など五島列島の名物。さつま芋を薄切りにし、茹でて寒風で乾燥させたものと良質のもち米でつきあげたお餅です。JR佐世保構内の売店や、戸尾市場街でも購入することができます。

レモンステーキ

佐世保で生まれたメニューのひとつ。アメリカ海軍の影響で、流行したステーキを日本人の口に合うようにと誕生したのが「レモンステーキ」です。この料理は薄切りのステーキ肉に、醤油ベースの特製ソースを絡ませ、熱々の鉄板の上でレモンをかけていただく、アメリカムード漂う佐世保らしいメニューです。日本のすき焼きをも思わせ、ごはんに合う味つけが特徴です。

海軍さんのビーフシチュー

日露戦争時の旧日本海軍連合艦隊司令長官として知られ佐世保鎮守府の第7代司令長官も務めた東郷平八郎が、イギリス留学中に惚れ込んだビーフシチュー。佐世保ゆかりのメニューとして、平成15（2003）年、当時の海軍料理レシピ「海軍割烹術参考書」（明治41（1908）年）をもとに再現されました。市内飲食店でそれぞれオリジナルの味が楽しめます。当時、ビーフシチューを作ろうとして肉じゃがが生まれたのは有名な話です。

自衛隊カレー

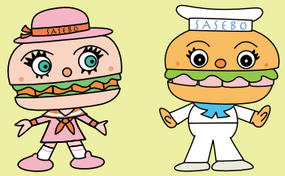
海軍カレーは、イギリスの海軍から影響を受けた旧日本海軍が軍用食として取り入れたのがはじまりです。現在でも海上自衛隊では、航海中に曜日の感覚を取り戻すため、金曜日の昼食にカレーが出されています。佐世保市では2013年から毎年12月に、護衛艦カレーNo.1を決める「GC1グランプリ」という大会が開かれており、グランプリに輝いたカレーはレトルトカレーとして商品化され、海上自衛隊佐世保史料館、佐世保観光情報センター等で販売しています。

ガイドの引出し
豆知識

佐世保バーガーのイメージキャラクターはアンパンマンの兄弟

佐世保バーガーのイメージキャラクターとして定着している「佐世保バーガーボーイ」は、あの「それいけ！アンパンマン」の作者である やなせたかし先生が手がけたもの。佐世保らしいセーラー服姿が特徴です。そのガールフレンド「させぼのボコちゃん」も作っていただきました。

2人とも歌とダンスと
佐世保バーガーづくりが得意です



させぼのボコちゃん　　佐世保バーガーボーイ

©やなせたかし・SASEBO

世界文化遺産

●世界文化遺産とは

世界文化遺産（World Heritage Site）は、1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づいて世界文化遺産リストに登録された、文化財、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つ物件のことで、移動が不可能な不動産が対象となっています。世界遺産には文化遺産、自然遺産と両方の価値を兼ね備えた複合遺産の3つの種類があり、種類を強調する場合は「世界○○遺産」（世界文化遺産など）と呼びます。

●「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

2018年7月、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は世界文化遺産に登録されました。
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、江戸時代に仏教徒を装いながら密かにキリスト教を信仰した「潜伏キリシタン」が育んだ、宗教に関する文化的伝統を物語る顕著な物証です。潜伏キリシタンという文化的伝統が生まれたきっかけから、文化的伝統の形成・維持、新たな信仰の局面の到来、そして伝統の終焉までを物語る12の構成資産から成っています。

黒島の集落

黒島の集落は、潜伏キリシタンたちが牧場跡の開拓のために移住することで信仰と生活を守り継いだという、「潜伏キリシタンという文化的伝統の維持」を証明する資産のひとつです。信仰の隠れ蓑とした興禅寺、国重要文化的景観にも選定されている牧場跡を開拓した土地利用の在り方（黒島の文化的景観）、信仰組織の秘かな継承を物語る指導者屋敷跡（信仰復活の地）、文化的伝統の終焉と信仰の復活を物語る黒島天主堂（初代黒島天主堂跡）など多くの見どころがあります。

野崎島の集落跡（旧野首教会）

江戸時代後期、野崎島中央部の野首には五島藩の要請で大村藩の外海から五島に渡った潜伏キリシタンが再移住し、南部の舟森には、集落が形成されました。
1865年の信徒発見の翌年、野首の信者が大浦天主堂を訪ね、一部は翌年に洗礼を受けましたが、当時は禁教下で、野首と舟森の50数人全員が平戸に護送され、拷問を受けました。
1883年、野首の17戸の信者はキビナゴ漁などで資金を蓄え、1908年、教会建築の名工、鉄川与助の設計施工で堂々たるレンガ造りの教会が完成しました。しかし、戦後は過疎化が進み、1971年に最後の信者が島を離れ、一時期野首集落は荒れ果てた状態でしたが、その後、旧野首教会を小値賀町が改修し、2011年には「小値賀諸島の文化的景観」として国の重要文化的景観に選定されています。

日本遺産

●日本遺産とは

「日本遺産」は、平成27年度から始まった事業で、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

●佐世保の日本遺産

●鎮守府　横須賀・呉・佐世保・舞鶴
～日本近代化の躍動を体感できるまち～

日本が近代国家として歩み始めた明治期、横須賀、呉に続いて、島々が複雑に浮かぶ海、小高い山々に囲まれた湾口などの地形が、天然の要塞として理想的であった佐世保に、明治22（1889）年鎮守府が開庁されました。明治から大正期にかけて、艦艇等を造る海軍工廠（軍需工場）など様々な施設が造られ、水道・鉄道などのインフラも整備され、その多くは100年経った現在もまちに溶け込んで現存しています。
佐世保は閑静な農漁村でしたが、軍港を中心に都市基盤が整備され、明治19年、約4000人だった佐世保の人口が、明治35年には10倍以上の約5万人にも膨れ上がります。特に鉄筋コンクリート造りの技術が発展し、その技術の粋を集めた建造物が、日本に現存する唯一の長波通信施設「旧佐世保無線電信所（針尾無線塔）」です。このほか、「旧佐世保鎮守府凱旋記念館（佐世保市民文化ホール）」など、数々の建造物にも往時のコンクリート技術が活用されています。 また、同時に西洋の文化も流れこみ、明治時代の海軍の料理書「海軍割烹術参考書」には、カレーやビーフシチューなど、メニューが並び、多彩な食文化や音楽などからも、異国情緒あふれる港町・佐世保ならではの魅力に触れることができます。
2016年4月、佐世保市と同じく「鎮守府」が置かれた横須賀、近代日本の躍動を体感できる旧軍港四市のストーリーが「日本遺産」に認定されました。佐世保市では、国指定重要文化財の旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設など、合計28の構成文化財（平成31年4月現在）が認定されています。

●日本磁器のふるさと　肥前
～百花繚乱のやきもの散歩～

およそ400年前の、豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）のとき、朝鮮半島から陶工を連れ戻った、陶工の一人が、有田の泉山磁石場で磁器の材料となる陶石を発見したことが、日本における磁器の生産および肥前窯業のはじまりです。その後、各地で技術を競い合いながら、個性豊かな磁器がつくられていきます。
慶長3（1598）年、平戸藩主の命を受けた朝鮮陶工の巨関が平戸・中野で窯入れをしたのが「三川内焼」の始まりでした。その後、巨関は三川内にたどり着き、巨関の志を受け継いだ息子の三之丞は、藩命により三川内三皿山（江永皿山、木原皿山、三川内皿山）に御用窯を開き、三川内焼の特徴ともいえる「白磁」の器づくりに成功し、三川内焼の歴史が幕を開けました。三川内焼は、白磁に藍色で唐子を描いた「唐子絵」をはじめ、「卵殻手（らんかくで）」、「菊花細工」「透かし彫り」など、御用窯の名にふさわしい豪華なやきものが国内外で人気を博しています。
2016年4月、佐世保の「三川内焼」は、「日本磁器のふるさと 肥前」の構成文化財のひとつとして、「日本遺産」に認定されました。400年以上の歴史を誇り、かつて平戸藩の御用窯として繁栄した佐世保市唯一の国指定伝統工芸品です。その白磁の美しさ、緻密な透かし彫り、繊細な染付けがヨーロッパにおいて高い評価を受けており、現在も多くの皆様に愛されています。
エリア：長崎県（佐世保市・平戸市・波佐見町）
　　佐賀県（唐津市・伊万里市・武雄市・嬉野市・有田町）

平戸領地方八奇勝（平戸八景）

高巌

江迎川沿いにある高さ約30mの砂岩岩壁。以前はこの真下を平戸往還が通っていました。風化や振動等で崩落している箇所があり、古松が枯れるなどして平戸領地方八奇勝図に描かれた画と少し異なりますが、青空に屏風のように巨岩が峻立している風景は今も変わらず残っています。（江迎町小川内）

潜龍水

名勝（国指定）

江迎川上流にある滝。文政12（1829）年、平戸藩主・松浦熙は領内を巡視した際、この滝の素晴らしさに心を打たれ「潜龍ノ滝」と命名しました。高さ約20m、滝つぼの深さは約6m、男滝と女滝の二つに分かれています。滝つぼから下流へ流れる二筋の滝は、それぞれ「布引（ぬのびき）の滝」「不動の滝」と名前がついています。熙公はこの滝を神として祀り、荘厳な神域として上流で不浄のものを洗うことを禁じました。また、滝の入口の先に建てられている鳥居から滝つぼまでは、神域として土足で立ち入ることを禁じていました。潜龍水までの道のりに残されている石額や銘文は、書に秀でた熙公の自署であるとされています。中でも「龍門」の文字は傑作の出来であると伝えられています。（江迎町田ノ元、吉井町草ノ尾）

眼鏡石

眼鏡に似た形状から命名された奇岩。高さ約10m、幅約20m、厚さ約6mの砂岩の1枚岩に直径約8mと約5mの巨大な穴が2つ並んでいます。数十万年前は海底にあったものが隆起し、波の作用や風化により貫通したと考えられています。大きな鬼が目を覚まし、背伸びをした時に足で岩を蹴破ったとの伝説もあります。（西蓮寺眼鏡岩観音堂そば：瀬戸越町）

福石山

名勝（国指定）

福石山の羅漢窟は、福石観音境内の西端・中腹にあります。間口約60m、高さ約4m、奥行き約5mで、三日月型の形状です。9世紀の頃、弘法大師が福石観音を訪れた際、行基を追慕して五百羅漢を安置したという伝説が残っています。その後、天明8（1788）年に平戸藩主・松浦静山によって再建されましたが、太平洋戦争後、羅漢窟は一時的な住宅として利用され、五百羅漢は消失したり、頭・手・足が欠損するなどして現在に至っています。（福石町、若葉町）

潮之目

早岐瀬戸で最も狭い幅約10mの瀬戸。潮の干満によって激流を作り、「速来（はやき）」=「はいき」という地名の由来になりました。以前、木製橋がありましたが、昭和11（1936）年に開閉橋が架橋。その後、昭和29（1954）年の基幹道の整備に伴い、開閉橋に平行して拡幅された橋が新たに架橋されたため、開閉橋は撤去されました。（早岐2丁目・3丁目、有福町）

石橋

全長約30m、幅約5m、高さ約20mの2本の天然石橋。平戸領地方八奇勝図では、橋の上を歩く人の様子が描かれていますが、現在は歩くことはできません。周辺は国指定天然記念物のシダ植物群落が植生し、多くの種類の暖地性シダ類が植生する場所として有名です。秋には紅葉の名所としてもにぎわいます。（御橋観音寺境内：吉井町直谷）

大悲観

名勝（国指定）

大悲観公園にある高さ20mの砂岩の浸食残丘。「大悲観」の文字は文政13（1830）年に松浦熙公が揮毫し、それを拡大して掘り込ませたもの。「平戸藩史考」には、熙公が岩の向こうの景色を夢に見て、それを確かめようと岩に登ろうとしたが、家臣たちに制止されたため代わりに文字を彫らせたというエピソードが記されています。（小佐々町小坂）

巌屋宮

神殿は天然の砂岩製洞窟になっており、間口約5.4m、奥行約10.8m。御座所の真下は深い井戸になっており、その清水は境内の水神社に湧き、現在も他県から霊水を求める参拝者があります。以前は天然洞窟の神体・神殿が露頭していましたが、昭和38（1963）年に本堂が建立され、神体などは見えなくなりました。市民からは「穴妙見」という名でも親しまれています。（須佐神社境内：高梨町）

ガイドの引出し 豆知識

平戸藩のお殿様が選んだ平戸八景が佐世保に！

軍港の街として発展した明治・大正にかけて、全国から佐世保に来る人々の観光地だったのが「鵜渡越」「福石観音」「眼鏡岩」「八幡神社」などでした。この中の「福石観音」「眼鏡岩」は平戸八景に選ばれており、市内中心部には「巌屋宮」など平戸藩ゆかりの風景が数多く存在しています。

この平戸八景（平戸領地方八奇勝）は、松浦家の35代領主「松浦熙（まつらひろむ）公」が領内の名勝地を選定したもので、京の画家「澤渡廣繁（さわたりひろしげ）」に作らせた「平戸領地方八奇勝図」が史料として佐世保市の島瀬美術センターに残っています。

平戸八景として知られる景勝地「平戸領地方八奇勝」のうち「潜龍水（せんりゅうすい）」「大悲観（だいひかん）」「福石山（ふくいしやま）」の3カ所が平成26（2014）年に国指定の名勝へ指定されました。残りの5カ所も名勝指定を目指しています。

温泉情報（日帰り利用）

北部

天空の宿 山暖簾／させぼ世知原温泉 くにみの湯

「周辺環境との調和」をテーマにデザインされた風景明媚な天然温泉（循環濾過式、一部原泉かけ流し）で、肌によく芯から温まる美肌の湯との評判。メニューは露天風呂、岩風呂、檜風呂、サウナ、貸切風呂 泉質：ナトリウム-炭酸水素塩泉 効能：神経痛、筋肉通、関節痛、疲労回復、病後回復、健康増進

営業時間 10:30～21:30（最終受付21:00） 料 金 大人660円 小人330円 収容人数 男女とも30人
場 所 佐世保市世知原町上野原316 問い合わせ 0956-76-2900

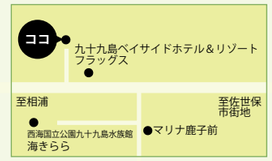
鹿町温泉 やすらぎ館

ぬるぬるとした手触りで肌の脂肪分や分泌物を良く落とすことから「美人の湯」とも呼ばれている、かけ流しの温泉。大浴場、普通浴室のほか、流水プールを備えた「健康浴室」（水着着用）も利用できる。泉質：ナトリウム炭酸水素塩泉（重曹泉）効能：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、冷え性、慢性消化器病、痔疾、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病

営業時間 10:00～21:00 毎週木曜日（祝日の場合は営業します） 料 金 大人660円（高校生以上） 子供330円（3才～中学生）
場 所 佐世保市鹿町町土肥ノ浦169-2 問い合わせ 0956-66-2617

中央部

九十九島シーサイドテラス ホテル＆スパ 花みずき／九十九島温泉



イオン含有量が多く、少し赤みがかったお湯は、神経痛や肌によいのはもちろんのこと、飲めば便秘、貧血予防にも効果があります。泉質：ナトリウム・カルシウム・マグネシウム・塩化物泉 効能：神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・うちみ・くじき・冷え性・やけど

営業時間 10:00～23:00（最終受付22:00） 料 金 大人1,000円（中学生以上） 小人700円（3才～小学生） シルバー900円（65歳以上）
場 所 佐世保市鹿子前町1129 問い合わせ 0956-28-5151

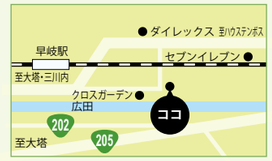
弓張の丘ホテル／弓張温泉「彩海」

泉質は美肌の湯と呼ばれることもある「ナトリウム炭酸水素塩水」です。肌の不用な角質をとったり、毛穴の汚れをとったりする効果があります。女性湯には、佐世保初のシルキーイオンバスを設置。超音波が作りだす超微細な泡は、大量のマイナスイオンを放出するとともに、お肌の潤いを蘇らせます。

営業時間 6:00～10:30・12:30～20:00 料 金 大人700円（中学生以上） 小人400円（3才～小学生）
場 所 佐世保市鵜渡越町510 問い合わせ 0956-26-0800

南部

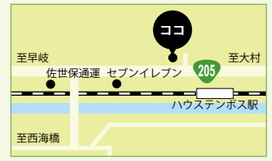
ザ・パラダイスガーデンサセボ／うずしお温泉



露天風呂、全身浴、サウナ等が揃っており、スポーツや食事の後にゆっくり利用できます。ゲームコーナーやカラオケルームもあるので、1日中楽しめます。マッサージもおすすめ。泉質：ナトリウム・炭酸水素塩泉 効能：切り傷・やけど・慢性皮膚病・筋肉痛・関節痛・慢性消化器病・冷え性・疲労回復

営業時間 12:00～24:00（最終受付23:30） 料 金 大人800円（中学生以上） 小人400円（6才～11才/小学生） 幼児250円（3才～5才）
収容人数 男女合わせて250人 場 所 佐世保市崎岡町853-12 問い合わせ 0956-39-4800

ホテルローレライ／天然温泉「ばってんの湯」



上質の泉質と行き届いた設備を誇る天然温泉センター。大浴場の他に、家族やグループ連れに嬉しい個室目天風呂練、また、身体の不自由な方のためのリフト付き家族風呂を完備。泉質：ナトリウム・塩化物泉 効能：きりきず・やけど・慢性皮膚病・虚弱児童・慢性婦人病

営業時間 6:00～23:00（最終受付22:00） 料 金 大人700円（中学生以上） 小人400円（小学生）
収容人数 男女とも50人ずつ（大浴場）家族風呂4棟、身障者用1部屋
場 所 佐世保市南風崎町448 問い合わせ 0956-59-3939

大江戸温泉物語 西海橋コラソンホテル／西海橋温泉 スパ・シエスタ

天然温泉（加水加湿・循環濾過式）の湧き出るスパリゾート温泉メニューは露天風呂にサウナ、大理石風呂 泉質：ナトリウム・マグネシウム・塩化物温泉 効能：リウマチ・神経痛・胃腸障害・打ち身・骨折・病後回復・筋肉痛・関節痛・不妊・冷え性

営業時間 11:00～21:00（最終受付20:00）※日によって時間変更あり
料 金 大人1000円（中学生以上） 小人500円（小学生） 幼児300円（4才～小学生以下） 3才以下無料
収容人数 男女とも70人 場 所 佐世保市針尾東町2523-1 問い合わせ 0956-58-7001

ホテルオークラＪＲハウステンボス／天然温泉 琴乃湯

ハウステンボスでただひとつ、天然温泉が湧き出る大浴場「グランスパ」。ゆったりと手足を伸ばすと心も体もすっかりリフレッシュできます。泉質：ナトリウム・カルシウム・塩化物泉 効能：疲労回復・神経痛・冷え性

営業時間 6:00～9:30（最終受付9:00）・13:30～24:00（最終受付23:30） 料 金 大人1,600円（中学生以上） 小人800円（小学生）
収容人数 男42人、女50人 場 所 佐世保市ハウステンボス町10 問い合わせ 0956-58-7111

ハウステンボス天然温泉 黄金と水素の湯

黄金のバスタブに入ることができる「黄金の湯」や高濃度水素風呂「水素の湯」をはじめ、5つのお風呂やサウナ、岩盤浴などが利用できます。泉質：ナトリウム・カルシウム一塩化物温泉 効能：筋肉・関節の痛み・冷え症・疲労回復・健康増進

営業時間 月～木・日10:00～23:00（最終受付22:00）金・土・祝前日11:00～24:00（最終受付23:00） 料 金 大人600円（12才以上） 小人400円（4才～12才未満）
場 所 佐世保市ハウステンボス町6-1 問い合わせ 0956-27-4126

宿泊インフォメーション（市外局番 0956）

佐世保旅館ホテル協同組合 **0956-22-7910**

	名　　称	住　所	電話番号	タイプ
北部	**潮幸の宿 はなー**	船越町190	**28-5533**	和洋室タイプ
	九十九島ベイサイドホテル＆リゾート フラッグス	鹿子前町740	**28-2111**	和洋室タイプ
	九十九島シーサイドテラス ホテル＆スパ 花みずき	鹿子前町1129	**28-5151**	和室タイプ
	サンパーク吉井	吉井町吉元453	**64-4060**	和洋室タイプ
	天空の宿 山暖簾	世知原町上野原316	**76-2900**	和洋室タイプ
	ビジネスホテル富士屋	江迎町長坂155	**65-2016**	洋室タイプ
	民宿 海の幸	鹿町町長串388-27	**77-5110**	和室タイプ
	ホテルAZ長崎鹿町店	鹿町町深江潟3-1	**65-3001**	洋室タイプ
中央部	**OYOさせぼパレスホテル**	谷郷町4-14	**22-1310**	和洋室タイプ
	弓張の丘ホテル	鵜渡越町510	**26-0800**	洋室タイプ
	佐世保ワシントンホテル	潮見町12-7	**32-8011**	洋室タイプ
	佐世保ターミナルホテル	白南風町7-4	**22-3300**	和洋室タイプ
	ホテルリソル佐世保	白南風町8-17	**24-9269**	洋室タイプ
	佐世保グリーンホテル	三浦町4-1	**25-6261**	洋室タイプ
	ホテルビブロス	高天町5-3	**22-7717**	洋室タイプ
	レオプラザホテル佐世保	三浦町4-28	**22-4141**	和洋室タイプ
	佐世保第一ホテル	三浦町4-4	**22-7486**	和洋室タイプ
	東横イン佐世保駅前	三浦町1-4	**42-1045**	洋室タイプ
	富士国際ホテル	常盤町8-8	**24-5931**	洋室タイプ
	クインテッサホテル佐世保	湊町5-24	**24-0200**	和洋室タイプ
	ホテルロータスハウス	光月町8-17	**24-5555**	洋室タイプ
	ビジネス金子ホテル	戸尾町8-23	**24-5440**	和洋室タイプ
	サンウエストホテル佐世保	本島町1-15	**26-0505**	洋室タイプ
	セントラルホテル佐世保	上京町3-2	**25-0001**	和洋室タイプ
	千登世旅館	塩浜町2-1	**24-9000**	和室タイプ
	グランドファーストイン佐世保	塩浜町7-1	**22-8281**	和洋室タイプ
	旅館 九十九荘	祇園町8-3	**22-2397**	和室タイプ
	ビジネスホテル松竹	勝富町8-10	**24-4622**	洋室タイプ
	サウナサン	塩浜町6-15	**23-3000**	カプセル
南部	**ハウステンボスオフィシャルホテルズ** ホテルヨーロッパ　ホテルアムステルダム　フォレストヴィラ　変なホテル	ハウステンボス町7-7	総合案内ナビダイヤル **0570-064-110**	和洋室タイプ
	ウォーターマークホテル長崎	ハウステンボス町7-9	**27-0505**	洋室タイプ
	大江戸温泉物語 西海橋コラソンホテル	針尾東町2523-1	**58-7001**	洋室タイプ
	ファーストイン早岐	早岐1丁目1-2	**39-2111**	和洋室タイプ
	ザ パラダイスガーデン サセボ	崎岡町853-12	**39-4800**	和洋室タイプ
	ホテルローレライ	南風崎町449	**59-3939**	和洋室タイプ
	ビジネスホテル 潮音荘	有福町11-1	**58-3932**	和室タイプ
	ホテル日航ハウステンボス	ハウステンボス町6	**27-3000**	洋室タイプ
	ホテルオークラJRハウステンボス	ハウステンボス町10	**58-7111**	和洋室タイプ
島しょ部	**シーサイドホテル藤蔵**	宇久町平237-1	**0959-57-3838**	和室タイプ
	井原旅館	宇久町平2605-8	**0959-57-3171**	和室タイプ
	藤屋旅館	宇久町平3031-11	**0959-57-2018**	和室タイプ
	丸金荘	宇久町平3099	**0959-57-2149**	和室タイプ
	恵荘	宇久町野方854	**0959-57-2013**	和室タイプ
	港荘	宇久町平2480-1	**090-2096-3468**	和室タイプ
	漁師旅館　中村屋	宇久町平3031-19	**0959-57-3288**	和室タイプ
	民宿 つるさき	黒島町3803-1	**56-2038**	和室タイプ
	山した旅館	黒島町3175	**56-2016**	和室タイプ
	喜久屋旅館	黒島町3769	**56-2002**	和洋室タイプ
	民宿　愛宕	小値賀町前方郷3684-3	**0959-56-2491**	和洋室タイプ
	オヂカノオト	小値賀町笛吹郷1720	**0959-56-3090**	洋室タイプ
	島宿　御縁	小値賀町笛吹郷1363	**0959-56-2588**	和洋室タイプ
	小西旅館	小値賀町笛吹郷2789	**0959-56-3145**	和室タイプ
	民宿　鈴の屋	小値賀町笛吹郷1620	**0959-56-2762**	和洋室タイプ
	民宿　田登美	小値賀町笛吹郷1828	**0959-56-2087**	和室タイプ
	民宿　ちとせ	小値賀町笛吹郷1856-1	**0959-56-2797**	和室タイプ
	民宿　千代	小値賀町笛吹郷1358-6	**0959-56-2867**	和室タイプ
	民宿　はかたや	小値賀町笛吹郷1421-2	**0959-56-2181**	和室タイプ
	旅館　丸ま	小値賀町笛吹郷1659	**0959-56-2017**	和洋室タイプ

黒　島　民　泊（予約のお問い合わせ先）　民泊　古民家とーぼし　（黒島町3045）　**TEL080-1724-7269**

宇 久 島 民 泊（予約のお問い合わせ先）　宇久島グリーン・ツーリズム振興会事務局　宇久町観光協会　**TEL0959-57-3935**

小値賀島民泊・古民家ステイ（予約のお問い合わせ先）　NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会　**TEL0959-52-2646**

交通インフォメーション（市外局番 0956）

＊バス	
西肥バス（路線バス）　6:00〜21:00	**23-2121**
西肥バス（高速バス予約センター）　8:00〜18:00	**25-8900**

＊鉄道	
ＪＲ佐世保駅（みどりの窓口）　5:45〜20:45	**22-7115**
MR松浦鉄道佐世保駅　9:00〜18:00	**25-2229**

＊飛行機	
長崎空港（館内施設案内）　8:10〜21:50	**0957-52-5555**
長崎空港へのアクセス　長崎空港乗合ジャンボタクシー予約サイトhttp://www.jumbotaxi.info　（携帯）http://www.jumbotaxi.info/m	
電話によるお問い合わせ先：佐世保観光タクシー **33-8185**　ラッキー自動車 **24-7713**　シルバータクシー **28-1879**　（受付時間 9:00〜17:00）	

＊船	
安田産業汽船　ハウステンボス〜長崎空港	**27-0163**（ハウステンボスマリンターミナル） **0957-54-4740**（大村予約センター）
西海沿岸商船　佐世保〜西海市大島方面【松島・瀬戸・池島・神の浦・大島・面高】	**24-1004**
崎戸商船　佐世保〜西海市崎戸・上五島方面【崎戸・江島・平島・友住（上五島）】	**25-6118**
瀬川汽船　佐世保〜西海市西海町方面【川内・畑下・小郡・横瀬東・横瀬西・寄船】	**0959-32-1770**
津吉商船　佐世保〜相浦〜平戸市方面【前津吉】	**0950-27-0025**
黒島旅客線㈲　相浦〜高島〜黒島	**56-2516**（9:00〜12:00・13:00〜18:00）
九州商船　佐世保〜上五島方面【宇久平・小値賀・有川】	佐世保港：**22-6161** 予約センター：**095-822-9153**

●フェリーくろしま

	黒島 発	高島 着発	相浦 着	相浦 発	高島 着発	黒島 着
1便	6:40	7:05 7:10	7:30	10:00	10:20 10:25	10:50
2便	11:10	11:35 11:40	12:00	13:00	13:20 13:25	13:50
3便	15:30	15:55 16:00	16:20	17:00	17:20 17:25	17:50

※1月1日運休
※GW（4/29〜5/8）、お盆（8/13〜8/16）、年末・年始（12/29〜1/5）は別時刻表になります。
※車輌積載は予約が必要（1ヶ月前より受付）

●フェリーいのり

佐世保	宇久平	小値賀	宇久平	佐世保
	6:55	7:35 7:40	→	10:20
10:40	13:10 13:20	14:00 14:10	→	16:50
17:10	→	19:50 19:55	20:35	

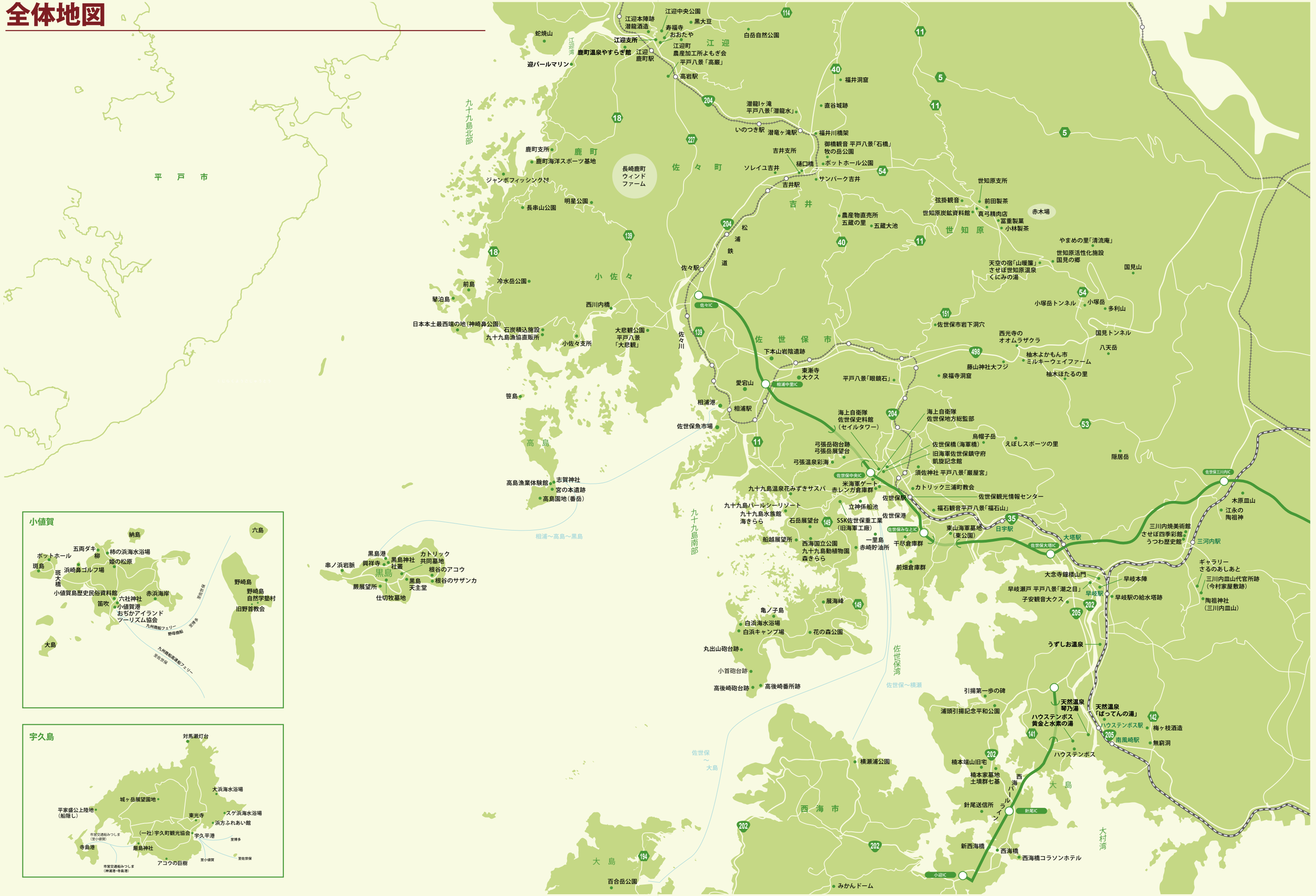
●高速船シークイーン

佐世保	宇久平	小値賀	有川	小値賀	宇久平	佐世保
			6:25	7:00 7:05	7:25 7:30	8:50
9:20	→	→	→	10:45 10:50	11:10 11:15	12:35
13:00	→	→	14:20 14:25	→	→	15:45
16:10	17:30 17:35	17:55 18:00	18:35			

※年に数回、フェリー、高速船ともドック入りがあり、通常時刻表からドック時時刻表に変更になります。また、フェリーはお盆前後も別時刻表になります。

＊タクシー			
ＯＫタクシー	**24-5963**	西部タクシー	**40-8228**
キングタクシー	**22-4136**	セブンタクシー	**24-7711**
国際タクシー	**31-5931**	天神タクシー	**22-6101**
佐世保観光タクシー	**33-8181**	天満タクシー	**23-2161**
佐世保タクシー	**27-3636**	長崎第一交通	**48-7191**
三光第一交通	**31-7373**	元町タクシー	**22-6101**
城山タクシー	**24-5044**	ラッキー自動車	**24-7711**
シルバータクシー	**28-3383**	佐世保個人タクシー協同組合	**32-1221**
しんわタクシー	**24-7711**	佐世保市タクシー協会	**22-2714**

全体地図



平戸市
九十九島北部
江迎
鹿町
佐々町
吉井
世知原
小佐々
佐世保市
高島
黒島
大島
西海市
大村湾
佐世保湾
九十九島南部
江迎中央公園
江迎本陣跡
潜龍酒造
寿福寺
おおたや
黒大豆
白岳自然公園
蛇焼山
江迎支所
江迎町
農産加工所よもぎ会
平戸八景「高巌」
鹿町温泉やすらぎ館
江迎鹿町駅
迎パールマリン
高岩駅
福井洞窟
潜龍Iヶ滝
平戸八景「潜龍水」
直谷城跡
いのつき駅
潜竜ヶ滝駅
福井川橋架
御橋観音 平戸八景「石橋」
牧の岳公園
吉井支所
樋口橋
ポットホール公園
ソレイユ吉井
サンパーク吉井
吉井駅
鹿町支所
鹿町海洋スポーツ基地
長崎鹿町ウィンドファーム
ジャンボフィッシング村
明星公園
長串山公園
世知原支所
弦掛観音
前田製茶
世知原炭鉱資料館
真弓精肉店
富重製菓
小林製茶
赤木場
農産物直売所
五蔵の里
五蔵大池
松浦鉄道
やまめの里「清流庵」
世知原活性化施設
国見の郷
天空の宿「山暖簾」
させぼ世知原温泉
くにみの湯
国見山
佐々駅
冷水岳公園
前島
鼕泊島
西川内橋
小塚岳トンネル
小塚岳
多利山
日本本土最西端の地（神崎鼻公園）
石炭積込施設
九十九島漁協直販所
小佐々支所
大悲観公園
平戸八景「大悲観」
佐々川
佐々IC
佐世保市岩下洞穴
西光寺のオオムラザクラ
国見トンネル
八天岳
下本山岩陰遺跡
柚木よかもん市
ミルキーウェイファーム
藤山神社大フジ
柚木ほたるの里
東漸寺大クス
平戸八景「眼鏡石」
泉福寺洞窟
愛宕山
相浦中里IC
笹島
相浦港
相浦駅
海上自衛隊佐世保史料館（セイルタワー）
海上自衛隊佐世保地方総監部
佐世保魚市場
烏帽子岳
えぼしスポーツの里
弓張岳砲台跡
弓張岳展望台
佐世保橋（海軍橋）
旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館
弓張温泉彩海
隠居岳
佐世保中央IC
須佐神社 平戸八景「巌屋宮」
高島漁業体験館
志賀神社
宮の本遺跡
高島園地（番岳）
米海軍ゲート
赤レンガ倉庫群
カトリック三浦町教会
九十九島温泉花みずきサスパ
佐世保駅
佐世保観光情報センター
九十九島パールシーリゾート
立神係船池
福石観音平戸八景「福石山」
九十九島水族館
海きらら
石岳展望台
SSK佐世保重工業（旧海軍工廠）
佐世保港
佐世保みなとIC
東山海軍墓地（東公園）
日宇駅
佐世保三川内IC
木原皿山
江永の陶祖神
三川内焼美術館
させぼ四季彩館
うつわ歴史館
三河内駅
相浦～高島～黒島
船越展望所
西海国立公園
九十九島動植物園
森きらら
一里島
赤崎貯油所
干尽倉庫群
大塔駅
佐世保大塔IC
前畑倉庫群
ギャラリーさるのあしあと
三川内皿山代官所跡（今村家屋敷跡）
大念寺鐘楼山門
早岐本陣
早岐瀬戸 平戸八景「潮之目」
早岐駅
早岐駅の給水塔跡
子安観音大クス
陶祖神社（三川内皿山）
串ノ浜岩脈
黒島港
興祥寺
黒島神社
社叢
カトリック共同墓地
根谷のアコウ
根谷のサザンカ
黒島天主堂
黒島
蕨展望所
仕切牧墓地
展海峰
亀ノ子島
白浜海水浴場
白浜キャンプ場
花の森公園
丸出山砲台跡
うずしお温泉
小首砲台跡
高後崎砲台跡
高後崎番所跡
佐世保～横瀬
引揚第一歩の碑
浦頭引揚記念平和公園
天然温泉琴乃湯
天然温泉「ぱってんの湯」
ハウステンボス黄金と水素の湯
ハウステンボス駅
梅ヶ枝酒造
南風崎駅
無窮洞
ハウステンボス
佐世保～大島
横瀬浦公園
楠本端山旧宅
楠本家墓地土墳群七基
西海パールライン
針尾送信所
針尾IC
新西海橋
西海橋
西海橋コラソンホテル
小迎IC
百合岳公園
みかんドーム
小値賀
納島
六島
五両ダキ
柳
柿の浜海水浴場
ポットホール
姫の松原
斑島
浜崎鼻ゴルフ場
斑大橋
小値賀島歴史民俗資料館
赤浜海岸
笛吹
六社神社
小値賀港
おぢかアイランドツーリズム協会
野崎島
野崎島自然学塾村
旧野首教会
大島
九州商船フェリー
野母商船
九州商船高速船フェリー
至佐世保
至博多
宇久島
対馬瀬灯台
大浜海水浴場
城ヶ岳展望園地
平家盛公上陸地（船隠し）
スゲ浜海水浴場
東光寺
浜方ふれあい館
（一社）宇久町観光協会
宇久平港
市営交通船みつしま（至小値賀）
寺島港
厳島神社
アコウの巨樹
至佐世保

INDEX

ア

赤木場の山桜　世知原町 26
赤崎貯油所旧地下重油槽 40
赤土焼き物体験 6
赤浜海岸 5
アクアショップきらら 13
アコウの巨樹 8
愛宕祭り　愛宕市　相浦 21
愛宕山　相浦 19
石岳展望台 11
板山大根　世知原町 28
入り江で迎える町の駅　おおたや 23
巌屋宮（須佐神社） 46・50
宇久町観光協会 9
うつわ歴史館 32
鵜渡越展望台 12
梅ヶ枝酒造 34
浦頭引揚記念平和公園・引揚記念資料館 42
えきマチ1丁目佐世保 47
絵付け体験 33
江永の陶姐神　江永皿山 32
江迎千灯籠まつり 23
江迎中央公園 22
江迎町農産加工所　よもぎ会 23
江迎本陣跡 22
江迎本陣の螺鈿細工「沈水舎」附由来書一通 22
大浜海水浴場 8
おぢかアイランドツーリズム協会 6
小値賀町歴史民俗資料館 5
御橋観音　吉井町 24・50
御橋観音春祭り　吉井町 28
温泉情報 51

カ

ガイド付き島歩き　黒島 17
カース・ケーク／タンテ・アニー 48
貝アクセサリーづくり 9
海軍さんの入港ぜんざい 48
海軍さんのビーフシチュー 48
〜海軍さんの港まち〜SASEBO軍港クルーズ 43
海上自衛隊艦艇一般公開（倉島岸壁） 43
海上自衛隊佐世保史料館（愛称：セイルタワー） 42
柿の浜海水浴場 5
活版印刷体験 6
カトリック共同墓地 18
カトリック三浦町教会 45
釜山神社　三川内皿山 31
亀ノ子島 41
かんころ餅づくり体験 9
かんころ餅 48
祇園祭（八坂神社夏祭） 9
北松浦の収穫儀礼（お蔵入れ）　吉井町 28
ギャラリー&カフェ 風の高原　江迎町 29
漁船クルージング 17
旧佐世保海軍工廠（佐世保重工業株式会社／通称：SSK） 39
旧佐世保鎮守府（海上自衛隊佐世保地方総監部） 39
旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館（佐世保市民文化ホール） 40
旧佐世保鎮守府武庫軍需部レンガ倉庫群 40
旧佐世保無線電信所（針尾送信所）施設 42
旧野首教会 5
旧松浦炭坑事務所（世知原炭鉱資料館）　世知原町 25
串ノ浜岩脈 16
九十九島 10
九十九島いりこ 21
九十九島海賊遊覧船みらい 13
九十九島かき 15
九十九島漁協直販所こさざ　小佐々 20
九十九島せんべい／九十九島せんべい本舗 48
九十九島とらふぐ 15
九十九島パールシーリゾート 12
九十九島八景 11
九十九島遊覧船 13
九十九島遊覧船パールクィーン 13
九十九島リラクルーズ 13
鯨恵比寿 8
楠本端山旧宅と楠本家墓地土墳群七基 34
国見山とアカガシの原生林　世知原町 26
黒島ウェルカムハウス 17
黒嶋神社 16
黒嶋神社社叢 16
黒島天主堂 16
黒島豆腐作り体験 17
黒島の集落 49
黒大豆農業体験・黒大豆オーナー制度 23
軍艦シュークリーム／蜂の家 48
高後崎番所跡 41
交通インフォメーション 53
興禅寺 16
五蔵岳森林公園（五蔵大池）　吉井町 26
子安観音の大クス 35
古民家ステイ 6
五両ダキ 5

サ

西海国立公園 10
西海国立公園　九十九島水族館（愛称：海きらら） 12
西海国立公園　九十九島動植物園（愛称：森きらら） 14
西海国立公園　九十九島ビジターセンター 14
西海橋 35
西光寺のオオムラザクラ　柚木町 26
魚さばき体験 9
佐々川の石橋群　世知原町・吉井町 25
佐々川の釣り 28
佐世保朝市 46
佐世保　入船／御菓子司　松月堂 48
佐世保魚市場株式会社　相浦 20
佐世保観光情報センター 47
SASEBOクルーズバス「海風」 43
佐世保公園 46
させぼ五番街 47
佐世保市岩下洞穴 45
させぼ四季彩館（させぼ物産みかわち振興センター） 32
させぼ世知原温泉くにみの湯　世知原町 27・51
佐世保バーガー 48
佐世保橋 40
佐世保要塞跡 41
さるくシティ4◯3アーケード 47
さるなし狩り農業体験「おにづきマタタビの里」 23
サンクル 46
シーカヤック 13
自衛隊カレー 48
潮之目 50
志賀神社　高島 19
鹿町温泉　やすらぎ館　鹿町 21・51
鹿町海洋スポーツ基地　鹿町 21
仕切牧墓地 18
下本山岩陰遺跡 45
ジャンボフィッシング村　鹿町 21
宿泊インフォメーション 52
寿福寺 22
城ヶ岳展望園地 8
白岳自然公園　江迎町 26
白浜海水浴場 42
新西海橋 35
透かし彫り体験 33
スゲ浜海水浴場 8
すぼかまぼこ 7
世界文化遺産 49
世界で最も美しい湾クラブ 10
石炭積込施設（ホッパー／ポケット）小佐々 19
世知原活性化施設「国見の郷」世知原町 27
世知原里山体験 28
世知原じげもん市　世知原町 28
世知原茶　世知原町 28
せちばるやまめの里「清流庵」世知原町 29
世知原・吉井サイクリングロード 28
泉福寺洞窟 45
潜龍ヶ滝／潜龍水 20・50
潜龍酒造 23
ソレイユ吉井（吉井活性化センター）吉井町 27

タ

大念寺の鐘楼山門 34
鯛の塩釜焼き 21
大悲観公園　小佐々 20・50
泰平や 33
平家盛公御上陸地（船隠し） 8
髙巌 50
高島園地（番岳）高島 19
高島園地（デイキャンプ場）高島 19
高島漁業体験館　高島 20
高島ちくわ 21
高島番岳展望台 11
立神係船池（修理艦船係留場） 39
茶もなか／冨重製菓　世知原町 29
中央公園（名切公園） 46
鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 49
対馬瀬灯台 8
弦掛観音　世知原町 24
展海峰展望台 11
展海峰 42
天空の宿　山暖簾　世知原町 27・51
電動自転車レンタサイクル 17
東漸寺の大クス 46
陶祖神社　三川内皿山 32
東光寺 8
特製揚げサンド／真弓精肉店　世知原町 29
戸尾市場街・とんねる横丁 46
トンパイ塀（モウロ塀）馬車道　三川内皿山 31

ナ

直谷城跡　吉井町 24
長崎鹿町ウィンドファーム　鹿町 20
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 49
名切砲台跡 18
長串山公園　鹿町 20
長串山公園展望所 11
長串山つつじまつり　鹿町 21
西川内橋（通称：太鼓橋）小佐々 19
日本遺産 49
日本遺産を巡る「海軍さんの散歩道」 43
日本磁器のふるさと　肥前 49
日本本土最西端の地（神崎鼻公園）小佐々 20
根谷のアコウ 16
根谷のサザンカ 16
農産物直売所「五蔵の里」吉井町 27
野崎島ガイドツアー 6
野崎島自然学塾村 6
野崎島の集落跡（旧野首教会） 49

ハ

早岐駅の給水塔跡 35
早岐茶市 36
早岐本陣 35
ハウステンボス 37
花の森公園 42
浜方ふれあい館 9
浜崎鼻ゴルフ場 6
春・秋のうず潮まつり 36
半島を歩こう（俵ヶ浦トレイル） 43
東山海軍墓地（東公園） 41
引揚第一歩の碑 40
樋口橋　吉井町 24
干尽倉庫群 41
姫の松原 5
冷水岳公園　小佐々 20
冷水岳展望台 11
冷水岳ふるさと物産館　小佐々 21
ヒヨヒヨ祭り（竜神祭） 9
平戸往還の石畳 35
平戸領地方八奇勝（平戸八景） 50
福石観音清巌寺／福石山の羅漢窟 45・50
福井洞窟　吉井町 24
ふくれまんじゅう作り体験 17
藤山神社の大フジ　小舟町 26
船越展望所 11
ふるさと産業まつり＆ふれあい広場 7
ふるさとよしい市　吉井町 28
米海軍佐世保基地 41
「ヘルシー肉の王様」江迎産しし肉 23
ボットホール公園　吉井町 25
ぼると／佐世保ぼると総本舗 48

マ

前畑火薬庫　前畑1号倉庫（旧第五水雷庫） 39
牧の岳公園　吉井町 25
三川内皿山歩き 33
三川内皿山代官所跡（今村家屋敷跡）三川内皿山 31
みかわち陶器市 32
三川内東窯・西窯跡　三川内皿山 31
三川内焼窯元はまぜんまつり 32
三川内焼の歴史 30
三川内焼美術館（三川内焼伝統産業会館） 32
宮の本遺跡　高島 19
明星公園（明星憩いの広場）鹿町 20
ミルキーウェイファーム　柚木町 27
民泊体験 6
迎パールマリン　鹿町 20
無窮洞（旧宮村国民学校地下教室） 34
無人島上陸とエサやり体験クルーズ 13
眼鏡石 45・50

ヤ

山下家のもと蔵 22
柚木ホタルの里　柚木町 26
柚木よかもん市　柚木町 27
弓張岳展望台 11
弓張岳砲台跡 40
吉井いちご　吉井町 29
吉井のアーチ橋梁群　吉井川橋梁・吉田橋梁・福井川橋梁 25
吉井メロン　吉井町 29
葭之本窯跡　木原皿山 32
ヨットセーリング 13
万津6区 47

ラ

落花生 7
レモンステーキ 48
六社神社大祭 7

ワ

蕨展望所 17

○ **佐世保市文化財課提供**
版画「平戸領地方八奇勝」
写真　陸軍小首砲台跡・凱旋記念館・針尾送信所

○ **参考図書**
佐世保図書館発行　ふるさと昔ばなし

「海風の国」佐世保・小値賀　観光ガイド・テキストブック

非売品無断転用禁止

発行・編集：公益財団法人 佐世保観光コンベンション協会
発　行　日：令和元年12月20日